長岡高等工業學校一覽

自昭和十年
至昭和十一年

292
82

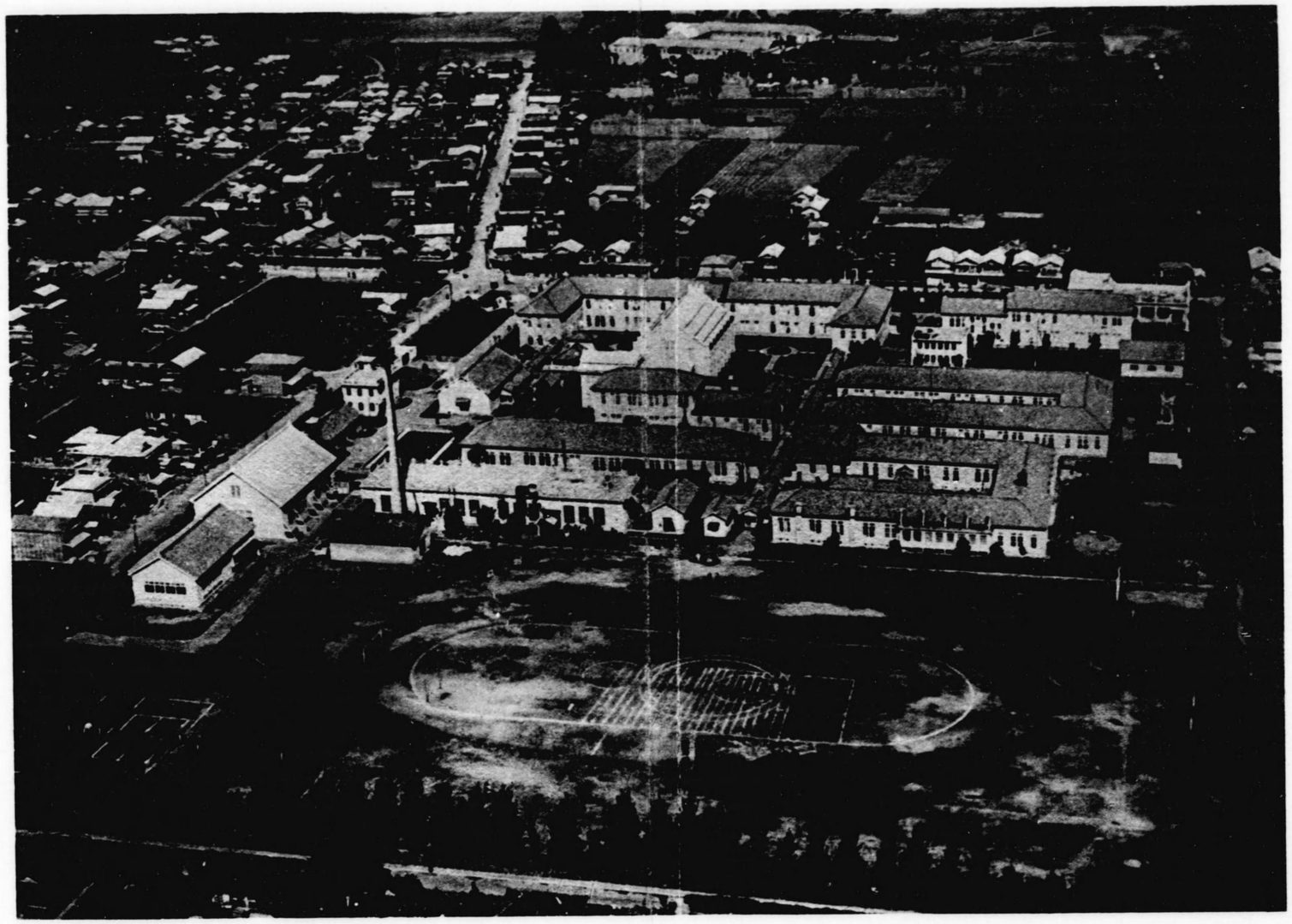
292-82

長岡高等工業學校一覽

自昭和十年
至昭和十一年

發行所寄贈本

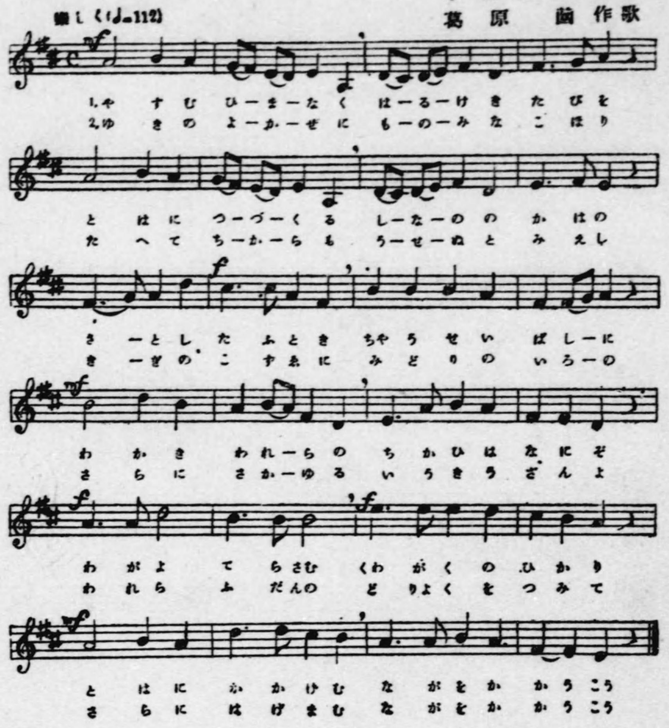
交付所寄贈本



長岡高等工業學校全景

校　歌（甲）

小松耕輔作曲
葛原齒作歌



（一）

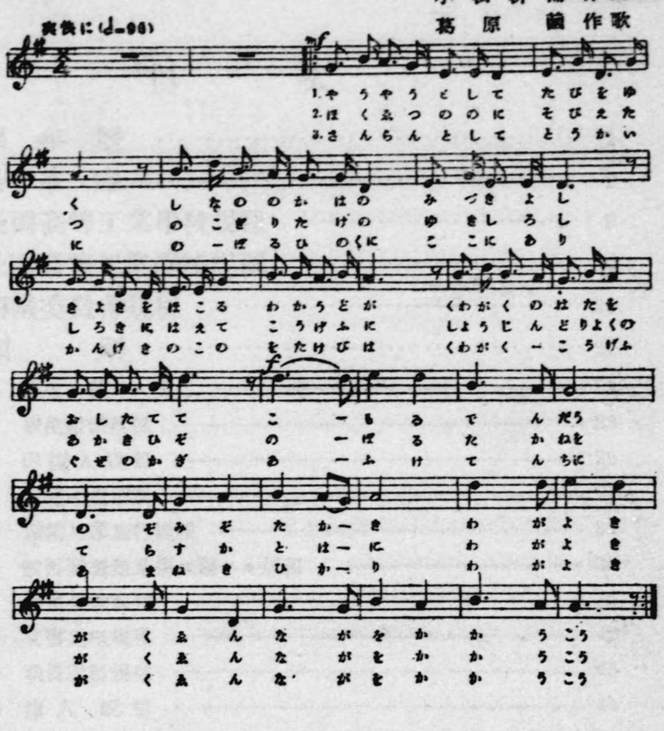
休むひまなく遙けき旅を
とはにつづくる信濃の川の
啓示たふとき長生橋に
わかき我等の誓ひはなにぞ
わが世照らさむ科學の光
とはにかゞげむ長岡高工

（二）

雪の夜風にものみな凍り
たえて力もうせぬと見えし
木々の梢に綠の色の
さらにさかゆる悠久山よ
われら不斷の努力をつみて
さらにはげまむ長岡高工

校　歌（乙）

小松耕輔作曲
葛原齒作歌



（一）

洋々として旅をゆく　信濃の川の水清し
淸きを誇る若人が　科學の旅を押したて
こもる殿堂希望ぞ高き
わがよき學園長岡高工

（二）

北越の野に聳え立つ　銀嶽の雪白し
白きに映えて工業に　精進努力のあかき灯ぞ
登る高峰を照らすかとはに
わがよき學園長岡高工

（三）

燦爛として東海に　のぼる日の國旗にあり
感激の子の雄たけびは　科學工業救世の鍵
仰げ天地に響ねき光
わがよき學園長岡高工

292-82.

目　次

Ⅰ 學 年 曆 …… 1
Ⅱ 沿 革 略 …… 2
Ⅲ 長岡高等工業學校規程 …… 9
Ⅲ 長岡高等工業學校規則 …… 10
Ⅴ 商議委員會規程 …… 20
Ⅵ 細　　則 …… 21
1 學生ニ關スル規程 …… 21
2 學生服裝規程 …… 23
3 保證人規程 …… 25
4 成績考査細則 …… 27
5 定期見學旅行規程 …… 34
6 校外實習並見學ニ關スル規程 …… 35
7 校務分掌規程 …… 36
8 文書處理規程 …… 42
9 職員服務規程 …… 43
10 傭 人 規 程 …… 44
11 科學工業博物館職員規程 …… 50
12 物品會計細則 …… 51
13 試驗、分析、鑑定及加工規程 …… 54
14 圖書館規程 …… 55
15 非 常 心 得 …… 59
16 宿 直 規 程 …… 61
17 校友會規則 …… 63
Ⅶ 職　　員 …… 65
1 商議員氏名 …… 65
2 職員氏名、職員受持一覽 …… 65
3 舊職員氏名 …… 72

Ⅷ 學　　生 …… 73

1 學生氏名 …… 73
2 卒業者·修業者·選科修了者氏名 …… 85
3 學級人員一覽表 …… 116
4 入學志願者及入學許可者數 …… 116
5 昭和十年度入學者諸調（出身學校別、卒業年次、本籍別） 118-2
6 學生出身校別 …… 121
7 學生出身道府縣別 …… 122-2
8 學生年齡別 …… 123
9 卒業者修業者數 …… 123
10 卒業者資格 …… 124

Ⅸ 關係法令 …… 125

1 文部省直轄諸學校一覽進達方 …… 125
2 文部省直轄諸學校官制 …… 125
3 文部省直轄諸學校職員定員令 …… 128
4 文部省直轄諸學校長職務規程 …… 128
5 專門學校令 …… 129
6 實業學校令 …… 129
7 實業學校教員養成規程 …… 130
8 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程 …… 132
9 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學ニ關スル件 …… 133
10 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル
他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル件 …… 133
11 文官分限令 …… 133
12 官吏服務紀律 …… 133
13 文官懲戒令 …… 133
14 各官廳執務時間 …… 133
15 官吏職務外ノ演說及敎述許可並其取締方 …… 134
16 四大節ニ賀表及言上書奉呈方 …… 134

17 敎員免許令 …… 134
18 文部省直轄諸學校修身敎育ニ關スル注意 …… 134
19 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續 …… 134
20 學生生徒兒童身體檢查規程 …… 134
21 學校清潔方法 …… 134
22 學校傳染病豫防規程 …… 135
23 學生生徒喫煙禁止 …… 135
24 文部省直轄諸學校學生生徒喫煙取締ニ關スル注意 …… 135
25 學校生徒飮酒取締ニ關スル注意 …… 136
26 敎育上時弊矯正ニ關スル心得 …… 136
27 文部省直轄諸學校講演會記念會運動會等監督方 …… 137
28 文部省直轄諸學校學生時弊矯正ニ關スル心得 …… 138
29 學校ノ紛擾ニ關係シタル職員及生徒處分方 …… 138
30 陸軍現役將校配屬令 …… 138
31 兵役法ニ依ル在學徵集延期ニ關スル件 …… 139
32 陸軍補充令ニ依ル幹部候補者ノ資格ニ關スル件 …… 139
33 勤務演習召集演習召集及簡閱點呼ノ免除ニ付餘人ヲ以テ
代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ニ關スル件 …… 139

附　　錄

學校日誌 …… 141
設備ノ大要 …… 145
主ナル機械、器具類 …… 154
圖書冊數及購入費調 …… 166
建物配置圖、敷地並建物明細調 …… 166
長岡高等工業學校校友會々則 …… 167
長岡高工會々則 …… 169
悠久會規約 …… 170
氏名索引（職員、學生、卒業生、修業生等） …… 173

學年曆

（詳細ハ別冊年中行事參照）

前學期（自四月一日 至十月十五日）

四月一日	學年始、前學期始、春季休業始
四月三日	神武天皇祭
四月七日	春季休業終
四月廿九日	天長節
七月十一日	夏季休業始
八月卅一日	夏期休業終
秋分日	秋季皇靈祭
十月上旬	定期試驗
十月十日	本校創立記念日
十月十五日	前學期終

後學期（自十月十六日 至三月三十一日）

十月十六日	後學期始
十月十七日	神嘗祭
十一月三日	明治節
十一月廿三日	新嘗祭
十二月廿五日	大正天皇祭、冬季休業始
一月一日	四方拜
一月三日	元始祭
一月七日	冬季休業終
二月十一日	紀元節
春分日	春季皇靈祭
三月	定期試驗、入學試驗
三月卅一日	後學期終、學年終

I 沿革略

大正十二年（紀元2583年）

十二月十日　勅令第五〇一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ本校ノ設置ヲ公布セラル

十二月十日　勅令第五〇二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員ヲ次ノ通リ加フル旨公布セラル

校長	一人
教授	五人
助教授	一人
書記	四人

十二月十一日　東京高等工業學校教授福田雅造校長ニ任命セラル

十二月十四日　文部省告示第四五五號ヲ以テ本校ノ事務所ヲ文部省假事務所内ニ設置ノ旨公示セラル

大正十三年（紀元2584年）

一月九日　文部省告示第一號ヲ以テ本校ノ位置ヲ新潟縣長岡市四郎丸ニ定メ大正十三年四月ヨリ授業開始ノ旨公示セラル

二月廿三日　文部省令第七號ヲ以テ本校規程ヲ公示セラレ同日本校規則制定ノ件許可セラル

二月廿三日　文部省告示第六二號ヲ以テ本校事務所ヲ三月十日新潟縣長岡市四郎丸ニ移轉ノ旨公示セラル

三月十八日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京物理學校ニ於テ行フ

三月廿六日　入學許可者氏名ヲ發表ス

四月十二日　第一回入學式ヲ擧行ス

五月十六日　勅令第一二號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「五人」ヲ「九人」ニ助教授「一人」ヲ「五人」ニ改正ノ旨公布セラル

九月一日　本校々舍第一、第二期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ引ク

十一月十一日　本校規則中一部改正ノ件許可セラル（入學資格ニ關スル件）

大正十四年（紀元2585年）

三月十八日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、岡山縣立工業學校ニ於テ行フ

三月十九日　本校規則中一部改正ノ件許可セラル（授業料ニ關スル件）

三月廿四日　入學許可者氏名發表ス

四月一日　勅令第八一號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項助教授「五人」ヲ「四人」ニ改正ノ旨公布セラル

四月十一日　第二回入學式ヲ擧行ス

六月三日　勅令第二一六號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「九人」ヲ「十六人」ニ助教授「四人」ヲ「七人」ニ書記「四人」ヲ「五人」ニ改正ノ旨公布セラル

九月三日　本校規則中一部改正ノ件許可セラル（學科課程中時間割變更ニ關スル件）

九月十二日　海軍省令第一一號ヲ以テ海軍造船造機造兵生徒規則第一條ノ指定學校中ニ本校ヲ加ヘラル

十二月廿五日　遞信省告示第二〇三三號ヲ以テ「電氣事業主任技術者資格檢定規則第四條第四項ノ學校及其ノ卒業者ノ資格」ニ本校ヲ追加セラル

大正十五年（紀元2586年）

一月十四日　本校々舍第三、第四期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

三月廿三日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、

北海道帝國大學ニ於テ行フ

三月三十日　入學許可者氏名發表ス

四月 十 日　第三回入學式ヲ擧行ス

七月 五 日　勅令第二四九號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「十六人」ヲ「二十人」ニ助教授「七人」ヲ「九人」ニ書記「五人」ヲ「六人」ニ改正ノ旨公布セラル

九月廿二日　本校商議員會規程制定セラル

十一月 一 日　教育ニ關スル勅語謄本ヲ拜戴ス

十一月二十日　新築校舍落成ニツキ開校式ヲ擧行ス當日文部大臣代理トシテ木村書記官來校セラル翌廿一、廿二兩日學校ヲ開放シテ一般公衆ノ觀覽ニ供ス

十一月廿九日　試驗分析、鑑定及加工規程制定ノ件許可セラル

十二月廿一日　科學工業博物館職員規程制定ス

十二月廿五日　大正天皇崩御昭和ト改元

昭 和 二 年（紀元2587年）

一月廿六日　本校々舍第五期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

三月十五日　第一回卒業證書授與式ヲ擧行ス

三月廿三日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、大阪高等工業學校、北海道帝國大學ニ於テ行フ

三月三十日　入學許可者氏名發表ス

四月 八 日　文部省告示第一八四號ヲ以テ教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名中ニ本校ヲ加ヘラル

四月 九 日　第四回入學式ヲ擧行ス

四月二十日　本校規則一部改正ノ件許可セラル（前學期後學期ノ區分休業日中ニ記念日設置ノ件）

十二月廿七日　勅令第三六二號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中職員定員令改正セラレ本校ニ助手二名ヲ加ヘラル

昭 和 三 年（紀元2588年）

三月十五日　第二回卒業證書授與式ヲ擧行ス

三月廿五日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、京都高等工藝學校、北海道帝國大學ニ於テ行フ

三月卅一日　入學許可者氏名發表ス

四月 九 日　第五回入學式ヲ擧行ス

四月二十日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ化學工業展覽會ヲ開催ス

九月廿四日——十二月七日　文部省ヨリ成人講座開設ヲ委囑セラレ毎週月、水、金開講ス聽講人員三四四名、內證書授與セシモノ二五七名アリ

七月 十 日　天皇　皇后　兩陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス

十月廿九日　勅令第二五六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正セラレ生徒監ヲ生徒主事ニ改メ新ニ生徒主事補ヲ加ヘラル

十一月 十 日　御即位ノ禮ヲ行ハセラルヽニ付福田校長ハ御大典ノ諸儀ニ參列シ職員生徒一同ハ奉祝式ヲ擧行ス

昭 和 四 年（紀元2589年）

三月 八 日　文部省令第四號ヲ以テ本校規則中一部改正ノ件公布セラル（學科課程ノ件）

三月十五日　第三回卒業證書授與式ヲ擧行ス

三月十九日　本校規則中一部改正ス（授業料ノ件三月十五日付文部次官通牒ニ依ル）

三月廿四日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、大阪高等工業學校ニ於テ行フ

三月卅一日　入學許可者氏名發表ス

三月卅一日　集會所建築工事落成ス

四月 八 日　第六回入學式ヲ擧行ス

四月廿五日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ電氣展覽

會ヲ開催ス

十月廿一日——十一月廿二日　文部省ヨリ成人講座開設ヲ委嘱セラレ毎週月、水、金開講ス聽講人員二八〇名、內證書授與セシモノ一六八名アリ

昭和五年（紀元2590年）

三月十五日　第四回卒業證書授與式ヲ擧行ス

三月廿四日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　入學許可者氏名發表ス

四月八日　第七回入學式ヲ擧行ス

四月廿五日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ機械展覽會ヲ開催ス

昭和六年（紀元2591年）

一月一日　本校所在地長岡市四郎丸町ハ町名變更ニ依リ長岡市學校町三丁目トナル

二月十七日　本校規則中一部改正ス（學資支辨困難ナル者ニハ授業料ヲ減免シ得ル項ヲ加フ）

二月廿九日　定期見學旅行規程及校外實習並ニ見學ニ關スル規程制定ス

三月十五日　第五回卒業證書授與式ヲ擧行ス

三月廿四日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　入學許可者氏名發表ス

四月八日　第八回入學式ヲ擧行ス

四月廿五日——五月四日　附設科學工業博物館ニ於テ理學展覽會ヲ開催ス

十一月十四日　印刷室落成ニツキ移轉ス

昭和七年（紀元2592年）

三月十五日　第六回卒業證書授與式ヲ擧行ス

三月廿四日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　入學許可者氏名發表ス

四月八日　第九回入學式ヲ擧行ス

五月十四日——二十二日　附設科學工業博物館ニ於テ化學文化展覽會ヲ開催ス

十月廿二日　機械工學科仕上工場落成ス

十二月廿七日　勅令第三九五號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項助教授ノ欄「九人」ヲ「八人」ニ助手ノ欄「二人」ヲ「一人」ニ改正ノ旨公布セラル

昭和八年（紀元2593年）

三月十五日　第七回卒業證書授與式ヲ擧行ス

三月廿四日　ヨリ入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　入學許可者氏名發表ス

四月八日　第十回入學式ヲ擧行ス

四月廿八日——五月七日　附設科學工業博物館ニ於テ電氣展覽會ヲ開催ス

十月三十日　物理工作室落成ス

十一月三十日　成績考査細則中一部改正ス（再考査ニ關スル件追加）

昭和九年（紀元2594年）

二月二日　第二師團長東久邇宮稔彥王殿下本校ヘ御台臨御視察遊サル

三月十五日　第八回卒業證書授與式ヲ擧行ス

三月廿四日——廿六日　入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪外國語學校ニ於テ行フ

三月卅一日　入學許可者氏名發表ス

四月 九 日　第十一回入學學式ヲ擧行ス

五月 五 日　開校十周年記念式ヲ擧行ス、當日文部大臣代理トシテ田中文部省實業學務局商工教育課長來校セラル翌六日、七日兩日學校ヲ開放シテ一般公衆ノ觀覽ニ供ス

五月 六 日　物故者慰靈祭ヲ擧行ス

五月 九 日　職員學生一同國幣中社彌彦神社ニ參拜校運ノ隆昌ヲ祈願ス

五月六日——十五日　科學工業博物館ニ於テ發明展覽會ヲ開催ス

十二月 八 日　內燃機關實驗室新築落成ス

昭 和 十 年（紀元2595年）

三月十五日　第九回卒業證書授與式ヲ擧行ス

三月廿四日——廿六日　入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪外國語學校ニ於テ行フ

三月卅一日　入學許可者氏名發表ス

Ⅰ 長岡高等工業學校規程

（大正十三年二月廿三日文部省令第七號）

改　正（大正十四年三四號・昭和四年四號）

長岡高等工業學校規程左ノ通定ム

長岡高等工業學校規程

第 一 條　本校ノ修業年限ハ三年トス

第 二 條　本校ノ學科ハ電氣工學科、機械工學科、應用化學科トス

第 三 條　各學科ノ學科目及其ノ程度左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ各學科目ノ每週敎授時數ハ其ノ學科目ノ總敎授時數ヲ短縮セサル範圍內ニ於テ臨時之ヲ變更シ又ハ休業期間其ノ他ニ於テ實驗實習ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトヲ得

（學科目等省略）（規則ト同樣）

第 四 條　本校卒業者若ハ同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ既修學科若ハ他ノ學科中之ニ關聯セル學科目ニツキ研究セントスル者アルトキハ研究生トシテ二年以內在學セシムルコトヲ得

第 五 條　本校各學科中ノ一學科目若ハ數學科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ三年以內在學セシムルコトヲ得

第 六 條　本校各學科ノ學科目中ノ講義ヲ聽講セントスル者ハ聽講生トシテ聽講セシムルコトヲ得

第 七 條　本校ニ別科ヲ置クコトヲ得

別科ニ關スル規程ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年文部省令第四號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ新舊學科課程ヲ斟酌シテ學校長之ヲ定ム

規　則 (大正十三年二月制定)

改正 {大正十三年十一月・同十四年三月・同十四年九月 / 昭和二年四月・同四年三月・同六年二月}

第一章　總　則

第一條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ心身健全ニシテ高等ノ工業的技術ニ通スル社會須要ノ人材ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條　本校ニ次ノ學科ヲ置ク

電氣工學科
機械工學科
應用化學科

第三條　各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條　本校ニハ研究生、選科生、聽講生及別科ヲ置クコトアルヘシ

研究生、選科生及聽講生ニ關シテハ別ニ規定アル場合ヲ除ク外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

別科ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第五條　本則施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第二章　學科課程

第六條　各學科ノ學科目及其ノ程度次ノ如シ

電氣工學科

學科目 ＼ 學年	第一學年 每週教授時數		第二學年 每週教授時數		第三學年 每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
體操	3	3	3	3	3	3
英語及獨逸語	4.5	4.5	4.5	4.5	3	3
數學	6	4.5	3	3	1.5	1.5
力學及物理學	3	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5
物理學實驗			3	3		
化學	3	1.5				
化學實驗	3	3				
經營經濟及法制					1.5	3
工場管理					1.5	1.5
材料力學			3	1.5		
機械工作法	1.5	1.5				
水力及水力機			1.5	1.5		
熱機關			1.5	1.5		
電氣理論	3	3			1.5	1.5
電氣磁氣測定	1.5	1.5				
電氣機械及設計			3	3	3	3
電氣材料及器具			1.5	1.5		
發電所及變電所					3	1.5
送電及配電					3	1.5
電燈及照明			1.5			
電氣鐵道				4.5		
電信及電話					1.5	1.5
電氣化學及電池					1.5	1.5
讀書攻究	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
特別講義						
設計及製圖	7.5	3	3	4.5	4.5	6
實驗實習		6	6	3	6	6
合計	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0

備考　第一學年ニ於ケル讀書攻究ハ前學期ニハ原動機概說ヲ後學期ニハ金屬材料ヲ課ス。

機械工學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
體操	3	3	3	3	3	3
英語及獨逸語	4.5	4.5	4.5	4.5	3	3
數學	6	4.5	3	3	1.5	1.5
力學及物理學	3	4.5	3	3	1.5	1.5
物理學實驗			3	3		
化學	3	1.5				
化學實驗	3	3				
經營經濟及法制					1.5	3
工場管理					1.5	1.5
材料力學			3	3		
金屬材料	1.5	1.5				
機械工作法	1.5	1.5				
水力及水力機			1.5	1.5	1.5	1.5
機構學	1.5	1.5				
熱力學				1.5		
汽罐			1.5			
蒸氣機關及タービン			1.5	1.5		
內燃機關					3	1.5
機械設計			1.5	1.5	1.5	1.5
實驗工學				1.5		
電氣工學					3	1.5
讀書攻究	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
特別講義						
設計及製圖	9	4.5	4.5	3	9	7.5
實驗實習		6	6	6	6	9
合計	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0

備考　第一學年ニ於ケル讀書攻究ハ前學期ニハ原動機概說ヲ後學期ニハ各種機械概說ヲ課ス。

應用化學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
體操	3	3	3	3	3	3
英語及獨逸語	4.5	4.5	4.5	4.5	3	3
數學	4.5	4.5	1.5	1.5		
物理學	3	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5
物理學實驗			3	3		
經營經濟及法制					1.5	3
工場管理					1.5	1.5
機械工學通論		3	1.5	1.5		
機械製圖			3	3	3	
電氣工學					3	1.5
無機化學	4.5	3				
有機化學	3	4.5				
物理化學			3	3		
應用電氣化學					3	1.5
製造化學第一部			1.5	3		
製造化學第二部			3	1.5		
製造化學第三部			1.5	3		
製造化學第四部					1.5	3
製造化學特論第一部					1.5	1.5
製造化學特論第二部					1.5	1.5
讀書攻究	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
特別講義						
實驗實習	13.5	9	9	7.5	12	15
合計	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0

備考　第一學年ニ於ケル讀書攻究ハ前學期ニハ原動機概說ヲ後學期ニハ鑛物學ヲ課ス。

各學科目ノ每週教授時數ハ其ノ學科目ノ總教授時數ヲ短縮セサル範圍ニ於テ臨時之ヲ變更スルコトアルヘシ、必要ニ應シ休業期間其ノ他便宜ノ時ニ於テ臨時講義又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

第三章　學年、學期及休業日

第七條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第八條　學年ヲ分チテ次ノ二學期トス

前學期　四月一日ヨリ十月十五日マテ

後學期　十月十六日ヨリ翌年三月三十一日マテ

第九條　休業日ハ次ノ如シ

祝日、大祭日

日曜日

本校記念日　十月十日

春季休業日　四月一日ヨリ四月七日マテ

夏季休業日　七月十一日ヨリ八月三十一日マテ

冬季休業日　十二月二十五日ヨリ一月七日マテ

第四章　入學、在學、退學

第十條　入學ノ期ハ學年ノ始トス

第十一條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固ナル男子ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當シ且ツ入學檢定ニ合格セルモノタルヘシ

1. 中學校ヲ卒業シタル者
2. 實業學校ヲ卒業シタルモノ、但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年、若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者
3. 前條ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

4. 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

第十二條　中學校又ハ實業學校在學者ニシテ當該學校長ヨリ該學年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタル者ハ其ノ詮明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

前項入學志願者ニシテ其ノ學校ヲ卒業シ能ハサル者ニハ入學ヲ許可セス

第十三條　入學志願者ニ對シテハ其ノ心身ニツキ入學檢定ヲ行フ、入學檢定ハ學力試驗、身體檢查及人物能力檢查ノ三トス、但シ學力試驗ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

學力試驗ハ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

其ノ試驗學科目ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條　入學志願者ハ第二條ニ揭ケタル學科中ニツキ志望學科ヲ定メ入學願書ニ寫眞及入學檢定料ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

第十五條　入學ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日迄ニ保證人連署ノ在學證書ニ戶籍抄本ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

保證人ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條　本校退學者ニシテ再入學ヲ願出ツルトキハ收容ノ餘裕アル場合ニ限リ詮議ノ上原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十七條　學生ハ別ニ定ムル所ノ服制ニ依ルヘシ

第十八條　疾病其他已ムヲ得サル事由ニ依リ久シキニ亘リ修業シ能ハスト思料スルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得

休學中ノ者其ノ期間ヲ經過シタルトキハ速ニ原級ニ復歸スヘシ

休學中ノ者ニシテ其ノ事由消滅シタルトキハ復校ヲ願出テ又ハ許可ヲ得テ一學科目若ハ數學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得

第十九條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニヨリ退學セントスルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ許可ヲ受クヘシ

第二十條　學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ學校ニ入リ又ハ各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

第二十一條　次ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ學籍ヲ除ク、但シ第二號ハ休學ノ者ニハ之ヲ適用セス

1. 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
2. 二ケ年間同級ニ停リテ尚ホ進級セサル者
3. 學力劣等若ハ身體虚弱ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
4. 正當ノ事由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者
5. 授業料其他ノ料金ノ納付ヲ怠リ督促ヲ受クルモ尚ホ之ヲ納付セサル者

第五章　表彰及懲戒

第二十二條　品性、學業及健康上他ノ學生ノ模範トナルヘキ者ハ學年ノ終リニ於テ表彰スルコトアルヘシ

第二十三條　學校ノ內外ヲ問ハス學生タルノ本分ニ背戻セリト認ムヘキ行爲アル者ハ戒飭ヲ加ヘ又ハ停學、放校ニ處ス

第六章　修業及卒業

第二十四條　各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業成績等ヲ考査シテ之ヲ定ム

第二十五條　前條ノ考査ニ合格セル者ハ之ヲ進級セシメ不合格ノ者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム

第二十六條　已ムヲ得サル事由ニ依リ試驗ニ缺席シタル者所定ノ期間內ニ追試驗ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第二十七條　各學年ノ課程ヲ修了シタルモノニハ卒業證書ヲ授與ス

第二十八條　第三學年ノ終末ニ於ケル成績考査ニ合格セサル者ニハ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ前項修業證書受領者ニシテ別ニ定ムル成績考査ニ關スル細則ニ據リ後日願出タルトキハ再考査ヲ行ヒ卒業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第二十九條　成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章　研究生

第三十條　本校卒業者若ハ之ト同等以上ノ學力經驗アリト認メラレタル者ニシテ既修學科若ハ他ノ學科中之ニ關聯セル學科目ニツキ研究セントスル者アルトキハ詮議ノ上研究生トシテ二年以內在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十一條　研究生ハ學年ノ中途ニ於テモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十二條　研究生ハ許可ヲ受ケ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第三十三條　研究生其ノ研究事項ヲ了リタルトキハ研究報告書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第三十四條　學校長ハ研究成績ヲ考査シ必要アルトキハ研究證明書ヲ交付ス

第八章　選科生

第三十五條　本校所定ノ一學科目若ハ數學科目ヲ選擇履修セントスル者ニハ收容ノ餘裕アルトキニ限リ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十六條　選科生ノ在學期間ハ三年以內トス

第三十七條　選科生ハ學年ノ中途ニテモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十八條　選科生トシテ入學ヲ願出ツルコトヲ得ルモノハ次ノ各號ノ一ニ該當スル者タルヲ要ス

1. 三年以上引續キ志望學科目ニ關スル工業ニ從事セル者
2. 實業學校卒業者
3. 中學校卒業者
4. 本校別科卒業者

第三十九條　選科生ハ許可ヲ受ケ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第四十條　選科生學修ヲ終リタルトキハ成績ヲ考査シ修了證書ヲ授與ス

第九章　聽講生

第四十一條　本校各學年ノ學科目中ノ講義ヲ聽講セントスル者アルトキハ詮議ノ上隨時聽講生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十二條　聽講生ハ聽講料ヲ納付シ聽講券ノ交付ヲ受クヘシ

第四十三條　聽講生ハ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第十章　入學檢定料、授業料　聽講料及實驗實習費

第四十四條　入學檢定料ハ金五圓トス

第四十五條　授業料及聽講料ハ次ノ通リトス

本科生及研究生ハ一學年八拾圓

選科生ハ一學年一學科目ニツキ金拾圓

聽講生ハ一學科目一年ニツキ金拾圓

第四十六條　本科生及研究生ノ授業料ハ次ノ二期ニ分チ每學期始業日ヨリ一週間以內ニ納付スヘシ

前　學　期	金四拾圓
後　學　期	金四拾圓

選科生ノ授業料ハ每年始業日ヨリ一週間以內ニ納付スヘシ、但シ學年ノ中途ニ於テ入學許可セラレタル者ハ其ノ年度ノ授業料ハ入學許可ヲ受ケタル日ヨリ一週間以內ニ納付スヘシ

聽講生ノ聽講料ハ聽講券ノ交付ヲ受クル際之ヲ納付スヘシ

第四十七條　生徒ニシテ學資ノ支辨困難ナル者ニハ學校長ノ見込ニ依リ授業料ヲ減免スルコトアルヘシ、但シ授業料ノ減免ハ學年每ニ之ヲ定ム若シ學年ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次ノ徵收期分

ヨリ減免ス

第四十八條　授業料ノ減免ハ其ノ必要ナル事情止ミタリト認メタル場合又ハ減免ヲ受クル者學業ヲ怠リ若ハ不都合ノ行爲アリタルトキハ之ヲ止ム

第四十九條　研究生及選科生ノ授業料ハ學校長ノ見込ニヨリ其ノ一部若ハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第五十條　次ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリハ授業料ヲ徵收セス

1. 休學中ノ者
2. 大正四年三月文部省令第七號實業教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教諭ニ從事セントスル者ニシテ學校長ノ見込ニ依リ特ニ授業料ヲ免除セラレタル者

第五十一條　本科生及研究生ニシテ學年ノ中途ヨリ入學セル者、休學事故止ミ出席セル者又ハ授業料ノ減免ヲ止メタレタル者ニツキテハ八月分ヲ除キ一ケ月八圓ノ割ヲ以テ學期ノ餘月ニ對スル授業料ヲ指定ノ期日ニ一時ニ納付セシム

第五十二條　各學期始業前退學若ハ休學ヲ願出ツル者ノ授業料ハ之ヲ徵收セス、第五十條第二號ノ出願者ニ對シテハ其ノ決定ニ至ルマテ其ノ期ノ授業料徵收ヲ猶豫ス

第五十三條　研究生及選科生ノ實驗、實習ニ要スル費用ハ其ノ全部若ハ一部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第五十四條　既納ノ入學檢定料、授業料、聽講料及實驗實習ニ要スル費用ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

附　則

第五十五條　第四十七條、第四十八條、第五十一條中授業料減免ニ關スル規程ハ昭和六年四月一日ヨリ實施ス

Ⅴ 商議委員會規程

第 一 條 文部省直轄諸學校官制第十九條ニ依リ長岡高等工業學校ニ商議委員會ヲ置ク

第 二 條 商議委員ハ六名以上トシ次ノ人員中ヨリ之ヲ命ス

1. 文部々內高等官　　二名以上
2. 長 岡 市 長
3. 長岡商工會議所會頭
4. 教育又ハ實業ニ關シ知識經歷アルモノ　三名以上 / 七名以內

第 三 條 商議委員會ハ學校長之ヲ開キ文部大臣ノ諮問スル事項又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムル事項ヲ審議スルモノトス、但シ商議委員ニ於テ意見アルトキハ之ヲ議案トナスコトヲ得

第 四 條 商議委員會ノ議事ニ關スル規程ハ委員會ニ於テ之ヲ定ム

第 五 條 商議委員會ノ決議ハ學校長之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

Ⅵ 細　　則

1. 學生ニ關スル規程（大正十三年四月制定 昭和二年五月改正）

第 一 條 學生ハ本校教育ノ趣旨ヲ體シ其本分ヲ全ウセンコトヲ期スヘシ

第 二 條 各學級ニ學級總代二名ヲ置キ其學級ヲ代表セシム學級總代ハ其學級生ノ互選ニヨル候補者中ヨリ學校長之ヲ任命シ任期ハ一ケ年トス、但シ第一學年ニアリテハ入學ノ當初ハ學校長之ヲ選任シ六月前記ノ手續ニヨリ之ヲ選定ス

學生ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ總代タルヲ得ス

1. 學業成績不良ニヨル原級者
2. 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
3. 受罰中ノ者
4. 出席率 D. E. F ノ者
5. 其他役員トシテ不適當ト認メラレタルモノ

第 三 條 學校長ノ許可ナクシテ團體ヲ組織スルヲ得ス

第 四 條 次ノ場合ニハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

1. 集會ヲ催サントスルトキ
2. 揭示又ハ貼紙ヲナサントスルトキ
3. 新聞雜誌等ニ寄稿セントスルトキ
4. 書畫印刷物ノ頒布ヲナサントスルトキ

第 五 條 諸會合ノ爲メ校舍ノ一部ヲ使用セントスル場合ハ其都度（ナルヘク前日マテニ）庶務課ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

第 六 條 校內ニアリテハ所定ノ場所以外ニ於テ飮食又ハ喫煙スヘカラス

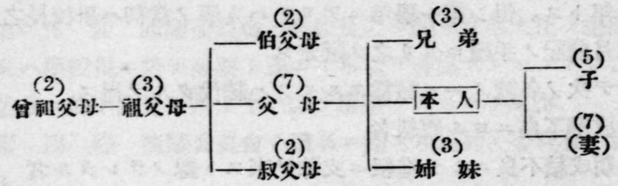
第 七 條 次ノ場合ニハ直ニ學生課ニ届出ツヘシ

1. 遲刻、缺課又ハ缺席シタルトキ（病氣缺席一週間以上ニ及フトキハ醫師ノ診斷書添附）

2. 宿所ヲ變更シタルトキ
3. 金錢物品ヲ紛失又ハ拾得シタルトキ
4. 校舍ヲ損傷シ又ハ器具ヲ毀損亡失シタルトキ

第 八 條 願書、届書ハ特ニ規程アルモノヽ外ハ總テ學校長宛ニ認メ學生課ニ差出シ其指揮ヲ受クヘシ
願書、届書ノ樣式又ハ用紙ハ學生課ニ備付アレハ必要ニ應シ該課ニ請求スヘシ

學生忌引表



本表ニ於ケル父母トハ實父母、養父母、繼父母ノ意ニシテ配偶者ノ父母ハ五日トス

2. 學生服裝規程 (大正十三年四月制定 昭和二年五月改正)

第 一 條 本校學生ノ服制次ノ如シ

1. 制帽

地質	黒	絨
型	海軍型(略圖參照)	
帽章	雪模樣ノ中心ニ高工ノ二字ヲ打出ス(略圖參照)	
眼庇	黒	革
紐	黒	革

2. 制服 (冬衣ハ十月一日ヨリ 夏衣ハ六月一日ヨリ 着用)

上衣

地質	冬衣	黒又ハ紺(サージ ヘル)
	夏衣	鼠色(セル、ポーラ)
型	背廣折襟型(略圖參照)	
胸釦及袖釦	(略圖參照)	

チヨツキ

地質	冬上衣ニ同ジ(夏ハ用ヒス)	
型	普通	

ズボン

地質	夏冬衣共上ニ同シ	
型	長ズボン	

其他

カラー	ダブル
ネクタイ	黒色無地
ワイシヤツ	白色無地

3. 外套

地質	適宜
型	マント又ハオーバーコート

4. 靴

地質	黒	革
型	編ミ上ゲ又ハ深ゴム	

5. 略　帽

地　質　麥　稈

型　一文字形黑リボン(略圖參照)

帽　章　帽章ハリボン結目ニ附ス

6. 作業服

電氣、機械工場用

地　質　鼠色霜降小倉

型　上　衣　(略圖參照)
　　ズボン　長ズボン

化學實驗用

地　質　白綾小倉

型　(略圖參照)

教　練　用

地　質　茶褐色雲齊織

型　ズボン　長ズボン

第　二　條　登校ノ際ハ必ラス制服制帽ヲ着用シ靴ヲ穿ツモノトス之レニ依ルコトヲ得サルモノハ其都度學生課ニ届出ツヘシ

第　三　條　儀式ノ際ハ正裝スヘシ

正裝トハ制服ヲ着ケ上衣ノ釦ヲ掛ケ制帽ヲ冠リ且ツ黑革靴ヲ穿ツモノトス

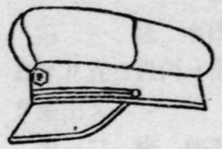
第　四　條　教室內ニアリテハ授業ヲ受クル際ハ制服ヲ着用シ實習、化學實驗又ハ教練ニ際シテハ作業服ヲ着用スルヲ本則トス但シ何等ノ場合ヲ問ハス和服ニテ作業服ニ代用スルコトヲ許サス

第　五　條　夏期ト雖體操教練時ニハ略帽ノ着用ヲ禁ス

第　六　條　新入學生ハ入學後一ケ月以內ニ本規程ノ服裝ヲ調フヘシ但シ制帽ニ限リ一週間以內トス

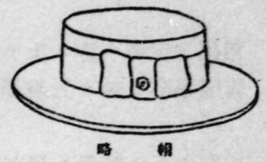
附　則

入學前使用セル被服ニシテ本校所定ノ服制ニ適合セシメ得ヘキモノハ之ヲ着用スルコトヲ得、但シ一應學生課ニ承合スヘシ



制　帽

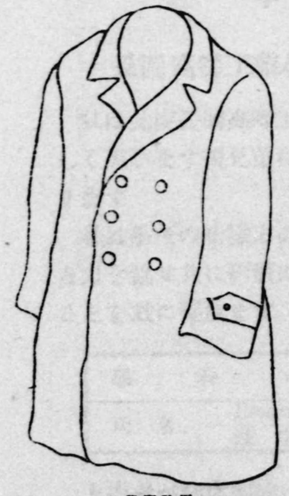
徽　章



略　帽

釦

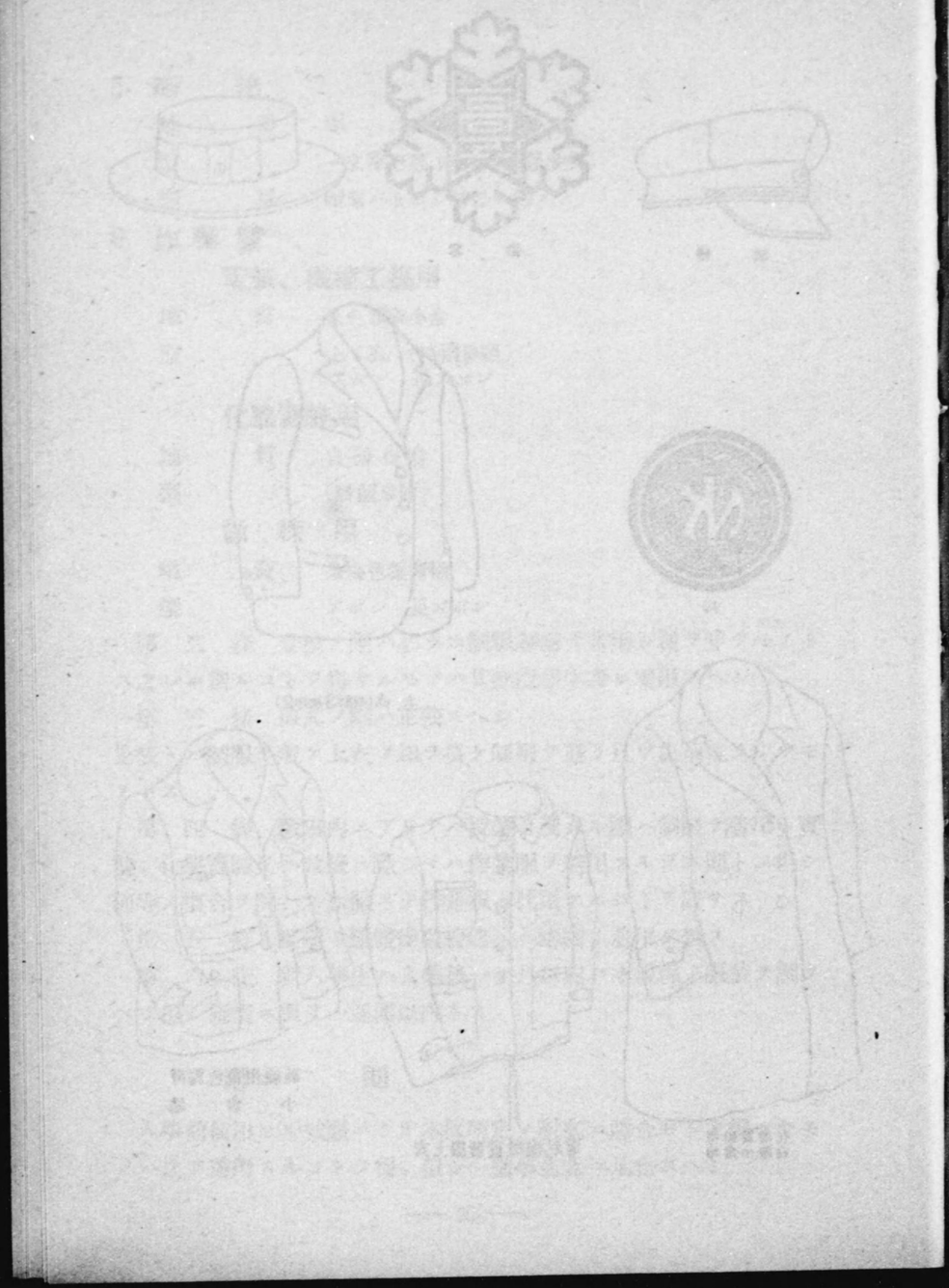
上　衣(前釦3袖釦2)



化學實驗用
白綾小倉地

電氣機械實習服上衣

教練用鼠色霜降
小　倉　地



3. 保 證 人 規 程

第 一 條　本校ヨリ入學許可ノ通知ヲ受ケタル者ハ規定ノ出校日ヨリ五日以內ニ保證人ヲ定メ連署ヲ以テ別紙樣式ニ依リ在學證書ヲ差出スヘシ

第 二 條　保證人ハ學生ノ近親者若ハ學校長ノ承認シタル成年者ニシテ學生ニ關スル一切ノ責任ヲ負フモノタルヘシ但シ保證人中ニハ男子ノ在ルコトヲ要ス

第 三 條　保證書中記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル場合ハ直ニ屆出テ又保證人ノ變更ヲ要スル場合ハ新ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第 四 條　必要ニ應シ學校長ハ別ニ保證人代理ヲ立テシムルコトアルヘシ

（樣　式）

在　學　證　書

長岡高等工業學校長　殿

私は此度長岡高等工業學校に入學を許されましたことを大變に嬉しく思ひます親兄弟はもとより親族知人まで私の爲めに祝福して居ります

私は學校の皆樣方の御敎導により勉學修養心身の涵養に努め學友と力を協せ共に研鑽につとめ立派に入學の目的を達する樣努力することを玆に誓ひます

學　科　名			
氏　名	Rômazi 漢　字		印

上の者が此度御校に入學を許されましたことは私共の衷心から悦ぶ次第で御座います

就きましては御校の皆様方が當人を鞭韃教育し當人が心身健全で高等の工業的技術に通ずる社會須要の人となる樣御敎導の程御願ひ申上ます、私共も今後當人を充分督勵しまして勉學修養入學の初一念を貫徹させ以て學校の敎育目的に副ふ樣一同擧つて御校に協力致します

申す迄もなく當人と學校との間に起る凡ての事柄につきましては私共が責任を負ふて御引受致します

昭和　年　月　日

代表保證人	原籍	Rômazi		
		漢字		
	住所	Rômazi		
		漢字		
	氏名	Rômazi		印
		漢字		
	職業 學生トノ續柄			

其ノ他ノ保證人	學生トノ續柄	氏名	學生トノ續柄	氏名

注意

I　保證人としては單に形式的に一人が捺印されるよりも父母兄姉などが學生の成業を希望さるる意味を以つて家族親戚が保證人として玆に多く署名さるることを學校は望みます

II　本文をよく讀んで各自署名して下さい、但し Rômazi の所は學生に書かせてもよろしい

III　文字は總てペン書きのこと

4. 成績考査細則（大正十三年十月制定／昭和二年四月改正／同八年十一月改正）

第一章　總則

第一條　學生ノ成績ハ本校規則及本細則ニヨリ之ヲ考査ス

第二條　學生ノ成績ハ學期成績及學年成績ニヨリ之ヲ考査ス

第三條　學期成績ハ各學科目ノ評點並ニ其總平均點ヲ以テス

第四條　各學科目ノ學期成績ハ該學期間ノ試驗點並ニ平常點ヲ各受持敎官ニ於テ適當ニ平均シ且ツ出席狀況ヲ考慮シテ之ヲ評點ス但シ體操、製圖、實驗實習ノ學期成績ハ平常點ト出席狀況トノミニヨリ之ヲ評點スルコトヲ得

第五條　學年成績ハ各學科目學年評點並ニ其ノ總平均點ヲ以テス、各學科目學年評點ハ其ノ學科目ノ前後兩學期成績ノ平均點ヲ以テス

第六條　各學科目ノ評點ハ100ヲ滿點トシテ正ノ整數ヲ以テ之ヲ表ハス評點ノ平均ニ於テハ小數第一位迄ヲトリ之ヲ四捨五入ス

第七條　成績ハ次ノ評語ヲ以テ之ヲ表ハス

A（100——85）　B（84——60）　C（59——50）

D（49——40）　E（39——30）　F（29——0）

第八條　學科目ノ性質ニヨリ一學科目ヲ分チテ數學科目ト看做シ又ハ數學科目ヲ併セテ一學科目ト見做シテ之ヲ評點スルコトアルヘシ

第九條　出席率ハ次ノ評語ヲ以テ之ヲ表ハス

A　皆出席又ハ缺席時數カ授業總時數ノ $^{2}/_{100}$ ヲ超エサルモノ

B　缺席時數カ授業時數ノ $^{2}/_{100}$ ヲ超エ $^{10}/_{100}$ ヲ超エサルモノ

C　同　$^{10}/_{100}$ 同　$^{20}/_{100}$ 同

D　同　$^{20}/_{100}$ 同　$^{30}/_{100}$ 同

E　同　$^{30}/_{100}$ 同　$^{40}/_{100}$ 同

F　同　$^{40}/_{100}$ ヲ超エタルモノ

第十條　試驗ハ定期及隨時ノ二種トス

定期試驗ハ筆記試驗トシ每學期末期日ヲ定メテ一回之ヲ行フ但シ隨時試驗ヲ數回行フモノハ學校長ノ許可ヲ得テ定期試驗ヲ行ハサルコトヲ得

隨時試驗ハ每學期一回以上之ヲ行フ但シ特別ノ事情アルモノハ學校長ノ許可ヲ得テ之ヲ行ハサルコトヲ得

隨時試驗ノ時期並ニ其ノ取扱ハ各受持敎官ノ隨意トス但シ都合ニヨリテハ七月及十二月ニ於ケル授業終了日ト其ノ前日トノ二日以內ニ纏メテ之ヲ行フコトヲ得

第十一條　定期試驗ニ應セサリシ學科目ノ成績ハ零點トス但シ受驗不能ノ理由學校長ニ於テ之ヲ正當ナリト認メタル者ハ追試驗ヲ受クルコトヲ得

後學期定期試驗ニ缺席シ追試驗ヲ受クルモ合格ノ見込ナキ者ニ對シテハ追試驗ヲ行ハスシテ之ヲ原級ニ留ム

第十二條　前學期末ニ於テハ期日ヲ定メテ受持敎官ヨリ學期成績ヲ敎務課ニ報告シ該課ニテ整理ノ上之ヲ發表ス

第十三條　學年末ニ於テハ期日ヲ定メテ受持敎官ヨリ後學期成績ヲ敎務課ニ報告シ該課ニテ學年成績ヲ整理シ敎官會議ノ議ニ附シ學校長ノ裁定ヲ經テ後敎務課ヨリ之ヲ發表ス

第二章　合格、不合格及修業

第十四條　學年成績ニ於テ各學科目ノ評點C以上總平均點B以上ノモノハ學業成績合格トス

第十五條　次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ進級又ハ卒業セシメス但シ詮議ノ上特ニ進級又ハ卒業セシムルコトアルヘシ

1. 學業成績不合格ノモノ
2. 出席率 D. E. F ノモノ
3. 素行良カラサルモノ

第十六條　學業成績不合格ノモノニ對シテハ特ニ詮議ノ上再試

驗ヲ行フコトアルヘシ

再試驗ヲ行フヘキモノハ總平均點B以上ニシテEノモノ一學科目又ハDノモノ二學科目以內ノ者ニツキ敎官會議ノ議ヲ經テ之ヲ決定ス體操、製圖、實驗實習ニ對シテハ再試驗ヲ行ハス但シ是等ノ學科目中特ニ試驗ニヨリテ評點セシトキハ前二項ヲ適用ス

第十七條　第三學年學年成績ニ於テ各學科目C以上ニシテ總平均點Cノモノニハ本人ノ希望ニヨリ詮議ノ上修業證書ヲ與フルコトヲ得

第三章　追試驗

第十八條　定期試驗ニ應スルコト能ハサル者ハ試驗前ニ其ノ事由ヲ詳記シ追試驗ヲ願出ツヘシ不慮ノ事故發生ノタメ右ノ願出ヲナシ得サリシモノハ試驗後三日以內ニ本人若ハ保證人又ハ友人ヨリ之ヲ願出ツヘシコノ期限內ニ願出サルモノハ追試驗ヲ受クルコトヲ得ス

不受驗ノ事由病氣ニ係ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ附スルヲ要ス

第十九條　追試驗ハ當該試驗執行後三十日以內ニ之ヲ行フ但シ學校長ニ於テ特別ノ事情ヲ認メタルトキハ右ノ期限外ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第二十條　追試驗ノ成績ハ得點ノ $\frac{80}{100}$ ヲ以テ評點トス但シ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ減點セス

1. 徵兵關係ニヨルモノ
2. 忌引ニヨルモノ
3. 特別ノ事情ヲ學校長ニ於テ承認シタルモノ

第四章　再試驗

第二十一條　再試驗ハ學年成績 D. E ノ學科目ニ對シ前學年間ニ於テ履修セシ全部ニ亘リ一度ニ之ヲ行フモノトシ筆記、口述何レノ試驗ニヨルモ妨ケス

第二十二條　再試驗ハ毎年四月上旬之ヲ行フ但シ學校長ニ於テ特別ノ事情アリト認メタルモノハ右ノ期限外ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第二十三條　再試驗ニヨル學業成績合格者ノ再試驗學科目ノ成績ハCナル評語ヲ以テ之ヲ表ハス

第二十四條　再試驗ハ其學科目ニ對スル前學年ニ於ケル受持教官之ヲ行フモノトス其ノ教官不在又ハ止ムヲ得サル事情アルトキハ學校長ヨリ適當ナル教官ニ命シテ之ヲ行ハシム

第五章　原級者

第二十五條　原級者カ課程ヲ再修スルニ當リ前年度ニ於テB以上ヲ得タル學科目ニ對シテハ受持教官ノ意見ニヨリ學校長ノ許可ヲ得テ本人ノ出席ヲ免除スルコトヲ得此場合當該學科目ノ評點ハ前年度ノモノヲ以テス但シ本人ノ希望ニヨリ試驗ヲ受ケタル場合ハ前後比較シテ高キモノヲ採ル

上記ノ出席免除者ハ他ノ學科目ニ出席セシムルカ、圖書館實驗實習場其ノ他適當ナル場所ニ於テ特別ノ研究クハ自習ヲナサシメ又ハ宿題、論文ヲ課シ或ハ其ノ他ノ方法ニヨリ之ヲ指導ス

第六章　再考查

第二十六條　規則第二十八條ニ依ル再考查施行期限ハ修業證書授與ノ日ヨリ滿三ケ年トス

第二十七條　再考查ノ時期ハ毎年十月及三月ノ二期トシ、同一學科目ノ受驗ハ一期一回トス

第二十八條　再考查ハ最終ノ學年成績C ノ學科目ニツキ之ヲ行フ但シ體操、製圖、實驗實習ノ考查ハ之ヲ免除スルコトアルヘシ

第二十九條　前條ニ示ス全學科目ハ二期以上ニ亘リ分割シテ再考查ヲ受クルコトヲ得但シ一學科目ヲ分割スルヲ得ス

第三十條　再考查ヲ受ケントスル者ハ少クトモ考查期一ケ月前ニ願書ヲ提出シ受驗スヘキ學科目ニツキ指示ヲ受クヘシ

第三十一條　再考查ヲ受ケタル學科目ノ成績カ悉クB以上トナリ且ツ之ヲ最終ノ學年成績ニ代入シテ總平均點B以上トナリタルトキハ合格トス但シ成績Bニ達セサル學科目ハ三回迄再考查ヲ受クルコトヲ得

第三十二條　兵役ニ服シタル者ニ就テハ第二十六條ノ再考查施行期限ヲ延期シ又第二十七條ノ再考查時期ヲ變更スルコトアルヘシ

第三十三條　再考查ニ合格シタル者ニハ其學年度ノ三月ニ於テ卒業ヲ確認シ卒業證書ヲ授與ス但シ性行不良ト認ムル者ハ此限ニアラス

第七章　補　則

第三十四條　前學期成績並ニ學年成績ノ發表ニ當リテハ各學科目ノ成績及其ノ總平均點ヲ評語ヲ以テ表シ且ツ席次ヲ附シタル成績表ヲ學年別ニ作製シ之ヲ學生ト代表保證人トニ交附發表シ全般ニハ公表セス

第三十五條　席次ハ上位ヨリ五人宛ヲ一組トシ次ノ記號ヲ以テ之ヲ示ス但シ最後ノ組ノ人數二人以內ノトキハ其ノ上位ノ組ニ合セ七人組又ハ六人組ヲ作ルモノトス

1 ～ 5
40 — 3

コヽニ 1~5 トハ一番ヨリ五番アテノ席次ニアルノ意ニシテ 40—3 トハ四十人中試驗ヲ受ケサルモノ三名アリトノ意ナリ

第三十六條　評點ハ之ヲ發表セサルモノトス但シ上級官廳並ニ父兄保證人等ヨリ問合セアリテ教務課ニ於テ發表ノ必要アリト認ムル場合ハ學校長ノ承認ヲ經テ之ヲ爲スコトヲ得

印

卒業證書

校印

府縣族籍
氏　名
年　月　日生

右者本校所定ノ電氣工學科 機械工學科 應用化學科 課程ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

昭和　年　月　日

長岡高等工業學校長位勳　氏　名　印

電機二化第　號

印

修業證書

校印

府縣族籍
氏　名
年　月　日生

右者本校所定ノ電氣工學科 機械工學科 應用化學科 課程ヲ履修セリ仍テ之ヲ證ス

昭和　年　月　日

長岡高等工業學校長位勳　氏　名　印

電機二化第　號

修了證書

學科目

府縣族籍
氏　名
年　月　日生

右者選科生トシテ本校所定ノ頭書ノ學科目ヲ學修セリ仍テ之ヲ證ス

昭和　年　月　日

印

長岡高等工業學校長位勳　氏　名　印

電機二化第　號

5. 定期見學旅行規程 （昭和六年二月制定）

第 一 條　本校ハ各科第二學年ノ終リニ於テ工場見學旅行ヲ行フ、其期間ハ十日以內トス

第 二 條　各科長ハ見學旅行計畫書ヲ二月十五日迄ニ敎務課ニ提出スルモノトス

第 三 條　見學旅行計畫書ニハ見學生徒氏名日程（各工場參觀時刻ヲ含ム）見學先名稱、場所、見學許否交涉先並ニ旅費概算ヲ記載スルモノトス

第 四 條　見學旅行計畫ハ學校長ノ許可ヲ受クルモノトス

第 五 條　敎務課ハ右計畫書ニヨリ見學先ニ交涉スルモノトス

第 六 條　學生課ハ生徒主事ノ指揮ヲ受ケテ見學旅行ノ趣旨、日程及概算旅費ヲ代表保證人ニ通告スルモノトス

第 七 條　指導敎官ハ旅行終了後直ニ其旨敎務課ヲ經テ學校長ニ報告スルモノトス

敎務課ハ右報告ニヨリ見學先ヘ禮狀ヲ發送ス

第 八 條　指導敎官ハ引率スル生徒ニ對シ旅行日程書及旅費概算書ヲ渡スモノトス

第 九 條　指導敎官ハ見學スル工場ノ事業ノ種類設備等ニ關スル概況ヲ生徒ニ知ラシメ（成ル可ク印刷スルコト）見學工場ニ關スル概念ヲ與フルモノトス

第 十 條　指導敎官ハ工場見學ノ際注意スヘキ要點ヲ說示シ出來得レハ問題ヲ提出シテ報告書中ニ其所見ヲ記入セシムルモノトス

第十一條　指導敎官ハ引率生徒ト行動ヲ共ニシ別ニ定ムル工場見學心得ヲ遵守セシムル樣注意スルモノトス

第十二條　指導敎官ハ見學報告書ヲ取リ纏メ之ヲ科長ニ提出スルモノトス

6. 校外實習並ニ見學ニ關スル規程 （昭和六年二月制定）

第 一 條　本校ハ休業中生徒ヲシテ校外工場ノ實習並ニ見學ヲナサシム

第 二 條　前條ノ實習ハ第三學年生ニ夏季休業中各二週間以上行ハシムルヲ本旨トシ事情ニヨリ第二學年生ニモ實習セシム

第 三 條　各科長ハ夏季校外實習ヲナサントスル生徒ノ氏名實習希望先（工場名及所在）實習日數ヲ調査シ五月二十日迄ニ敎務課ニ報告スルモノトス

第 四 條　敎務課ハ前條ノ報告ニヨリ日程其他ノ事項ニ付實習希望先ニ交涉シ其結果ヲ科長ニ通報スルモノトス

第 五 條　各科長ハ實習生ノ實習項目又ハ研究項目ノ決定及見學工場等ニ關シ指導スルモノトス

第 六 條　科長ハ實習生ヲシテ實習又ハ研究報告書ヲ提出セシメ之ヲ一括シテ概評ヲ附シ敎務課ヲ經テ學校長ニ供閱スルモノトス

第 七 條　敎務課ハ校外工場實習又ハ工場見學ヲナサントスルモノニ對シ依頼狀ヲ交附シ終了後ハ之レヲ同課ニ返附セシム

該依頼狀ハ卒業ノ際本人ニ返附スルモノトス

第 八 條　鐵道機關車實習ハ左記ノ條件ニ據リテ之レヲ許シ其期間ハ五日以內トス

1. 機關車實習ハ機械工學科第三學年生ニ限ルコト
2. 一人一回ヲ許可スルコト
3. 右許可申請ハ夏季休業前學期末ニ於ケル授業休止ノ期間及冬季休業中ニ限リ之ヲ行フコト

科長ハ實習希望者ノ氏名實習時期便乘區間等ヲ敎務課ニ報告シ敎務課ハ機關車實習許可ノ手續ヲナス

7. 校務分掌規程 {大正十三年四月制定 / 同 十三年十一月改正 / 同 十四年三月同}

第一章

第一條　各科ニ科長ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第二條　次ノ各學科目ニ擔任教官二名以上アルトキハ代表者一名ヲ主任トシ其ノ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス但シ電氣工學、機械工學、化學ニ關スル諸學科目ノ代表者ハ夫々電氣工學科長、機械工學科長及應用化學科長ヲ以テ之ニ充ツ

A　修　　身
B　體　　操
C　英語及獨逸語
D　數　　學
E　力學及物理學及物理學實驗
F　經營經濟及法制
G　工場管理
H　電氣工學ニ關スル諸學科目
I　機械工學ニ關スル諸學科目
J　化學ニ關スル諸學科目

第三條　學校長ヲ補佐シ校務ヲ整理スル爲メ必要アルトキハ幹事一名ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第四條　一般事務ヲ分掌スル爲メ次ノ六課ヲ置ク

庶務課　會計課　教務課
學生課　圖書課　調査計畫課

各課ニ主任ヲ置キ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス
學生課ノ事務ハ生徒主事之ヲ管理ス

第五條　學校長ノ諮詢ニ應ヘ又ハ校務ヲ審議シ統一ヲ圖ル爲メ次ノ會議ヲ開クコトアルヘシ

商議委員會

評議員會　幹事、生徒主事、各科長、學科目主任中ヨリ委員ヲ命シ學校長之ヲ召集ス

職員會　審議ノ內容ニヨリ關係職員ノミヲ召集スルコトアルヘシ

第六條　學校衛生ヲ掌理スル爲メ學校醫ヲ置ク
學校衛生ニ關シ意見ヲ具申シ又ハ諮詢ニ應ヘ其他重要ナル學校衛生事務ニ參與セシムル爲メ必要ニ應シ衛生顧問ヲ置ク

第七條　事務分掌ノ如何ニ關セス必要ニ應シ別ニ委員ヲ設ケ之ヲ處理スルコトアルヘシ

第二章　事務分掌

第一節　總　則

第八條　校務ハ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ之ヲ施行スルコトヲ得ス但シ重要事項ニアラスシテ常例ニ係ルモノ又ハ特ニ學校長ヨリ委任セラレタルモノハ此ノ限リニアラス

第九條　事務ニシテ他課ニ關聯スルモノハ關聯各課ニ合議スルヲ要ス

第十條　各課所定ノ事務ノ外必要ニ應シ臨時事務ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條　各課ノ事務ニシテ繁忙ノ際ハ他課員ノ助力ヲ乞フコトヲ得

第十二條　本校ノ事務ニシテ所屬不明ノモノアリタル場合ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ其所屬ヲ定ム

第十三條　本校ノ事務中例規ニ關スル事項ハ必ス庶務課ニ回議スヘシ

第十四條　次ノ事項ハ各課ニ於テ分掌スヘシ

1. 其ノ課ニ屬スル細則制定改廢ニ關スルコト
2. 年中行事ヲ作製スルコト
3. 其ノ課記錄ニ關スル事項

4. 其ノ課所屬ノ文書起案並文書帳簿整理保存ニ關スル事項
5. 其ノ課員ノ事務分掌
6. 前各號以外ノ其ノ課ニ屬スル一般事務

第二節　事務分掌

第十五條　科長ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ
1. 其ノ學科ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
2. 其ノ學科工場ニ關スル事項
3. 機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項
4. 卒業者就職ニ關スル事項

第十六條　學科目主任ノ擔任スヘキ事務ノ要項次ノ如シ
1. 其ノ學科目ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
2. 教授要目ニ關スル事項
3. 授業分擔ニ關スル事項
4. 機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項

第十七條　各教官ノ擔任スヘキ教育事務要項次ノ如シ
1. 生徒ノ操行勤惰成績等ニ關スル事項
2. 其ノ他生徒教養ニ關スル一切ノ事項（生徒ノ訓育ニ關シテハ生徒主事ト協力スルコト）

第十八條　生徒主事ノ擔任スヘキ事務要項次ノ如シ
1. 學生訓育ノ統一ニ關スル事項
2. 學生課ノ事務管理
3. 其他學生訓育ニ關スル一切ノ事項

第十九條　庶務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ
1. 御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
2. 學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
3. 校旗ニ關スル事項
4. 職員以下ノ進退身分及服務ニ關スル事項但シ傭人ノ進退ハ學校長ノ特ニ命シタル委員ノ詮議ニ依ラシムルコトアルヘシ
5. 文書ニ關スル事項

6. 諸規程内規ニ關スル事項
7. 校報ニ關スル事項
8. 儀式ニ關スル事項
9. 諸會議ニ關スル事項但シ議事ノ内容ニヨリ各課ニ分屬セシム
10. 統計、年報、一覽及官報報告等ニ關スル事項
11. 寄贈願處理ニ關スル事項
12. 參觀人ニ關スル事項但シ視察事項ニツキ各課ニ分屬セシム
13. 在外研究員ニ關スル事項
14. 諸證明書ニ關スル事項
15. 諸記錄ニ關スル事項
16. 宿直ニ關スル事項
17. 警備並非常手配等ニ關スル事項
18. 他課ニ屬セサル一切ノ事項

庶務課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ庶務課報告ヲ作製シ供閲ニ附スヘシ

第二十條　會計課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ
1. 歳入歳出豫算、決算及出納ニ關スル事項
2. 資金ニ關スル事項
3. 國有財産ノ管理及營繕ニ關スル事項
4. 物品ノ購買及修理ニ關スル事項
5. 不用物品ノ處分ニ關スル事項
6. 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
7. 給水、瓦斯、煖房、電燈及電話ニ關スル事項
8. 人夫ノ傭入ニ關スル事項
9. 校地校舍ノ清掃保全ニ關スル事項
10. 寄贈金品ニ關スル事項

支出官印ハ學校長又ハ其委任者之ヲ保管ス

第二十一條　教務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ
1. 學科課程並教授要目ニ關スル事項
2. 教官ノ授業分擔及授業時間割ニ關スル事項
3. 教室及教具ノ設備ニ關スル事項

4. 教科書、參考書並教授用印刷物ニ關スル事項
5. 授業及休業ニ關スル事項
6. 學生ノ學籍及兵役ニ關スル事項
7. 學生ノ學業成績並進級及卒業ニ關スル事項
8. 學生募集並入學ニ關スル事項
9. 試驗問題及答案ニ關スル事項
10. 成績證明及在學證明ニ關スル事項
11. 修學旅行及研究派遣ニ關スル事項
12. 校外實習ニ關スル事項
13. 講習會等ニ關スル事項
14. 卒業者ニ關スル事項

教務課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ教務課報告ヲ作製シ供閲ニ附スヘシ

第二十二條　學生課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 學生ノ訓育並風紀取締ニ關スル事項
2. 學生心得及服制ニ關スル事項
3. 學生ノ勤怠賞罰ニ關スル事項
4. 學生乘車船割引券並學生身分證明ニ關スル事項
5. 體育並衛生ニ關スル事項
6. 學生ノ集會ニ關スル事項
7. 學生ノ貸費給費ニ關スル事項
8. 學生ノ退學及休學ニ關スル事項
9. 學生ノ諸願伺及届書ニ關スル事項
10. 學級總代ニ關スル事項
11. 拾得物及遺失物等ニ關スル事項
12. 學生ノ宿所ニ關スル事項
13. 其他學生ニ關スル一切ノ事項

學生課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ學生課報告ヲ作製シ供閲ニ附スヘシ

第二十三條　圖書課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ

1. 購入圖書ノ審査並檢査ニ關スル事項
2. 圖書ノ保管整理出納ニ關スル事項

3. 圖書臺帳並目錄ニ關スル事項
4. 書庫閲覽室ニ關スル事項
5. 圖書閲覽及貸付ニ關スル事項
6. 寄贈圖書ニ關スル事項
7. 圖書印ノ保管ニ關スル事項

圖書課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ圖書課報告ヲ作製シ供閲ニ附スヘシ

第二十四條　調査計畫課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ

1. 各課ノ事務連絡、統一、進歩ノ爲必要ナル處置
2. 調査、研究資料ノ蒐集整理ニ關スル事項
3. 調査、研究、計畫等ノ發表報告ニ關スル事項
4. 新事業ノ計畫ニ關スル事項

調査計畫課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ調査計畫課報告ヲ作製シ供閲ニ附スヘシ

第二十五條　學校醫ノ掌理スル事務ノ事項次ノ如シ

1. 學校醫ノ職務ニ關シテハ「學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程」第二條乃至第十條ヲ準用ス但シ本規程ニ別段ノ定メアルモノハ此限リニアラス
2. 學校醫ハ每週一回教授時間內ニ出校シ衛生事務ヲ視察スヘシ其他學校長ヨリ請求アリタルトキハ臨時出頭執務スヘシ
3. 學校醫ハ入學志願者ノ身體檢査ヲナスヘシ
4. 學校醫ハ學校長ノ要求アリタル場合ハ職員學生傭人等ノ病症ニ對シ之ヲ診察シ又ハ診斷書ヲ作製スヘシ

第二十六條　各課備付重要帳簿ハ時々學校長ノ檢閲ヲ受クヘシ

8. 文書處理規程（大正十三年四月制定）

第一條　學校宛又ハ學校長宛ノ公文書ハ庶務課ニ於テ接受開封シ文書番號簿ニ登錄シ收受ノ番號及年月日ヲ記入ノ上直ニ各部局ニ配付スヘシ

第二條　收受シタル文書ハ各部局ニ於テ審議調査ノ上處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第三條　回議書ハ一定ノ紙ヲ用フヘシ但シ事ノ輕易ナルモノハ回議書ニ依ラス本書ノ餘白ニ文案ヲ朱記シ決裁ヲ受クルコトヲ得

第四條　他課ニ關聯スル文書ハ其ノ課ニ合議又ハ回覽スヘシ

第五條　決裁ヲ要セサル文書ハ學校長ノ閱覽ニ供スヘシ

第六條　學校長ニ提出ヲ要スル文書ハ庶務課ヲ經由スヘシ

第七條　發送ヲ要スル決裁濟ノ文書ハ淨寫校合シ其ノ回議書ヲ添ヘ庶務課ニ送付スヘシ

第八條　凡テ發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ於テ文書番號簿ノ番號ヲ付シテ發送ノ手續ヲナシ回議書ニ施行月日及番號ヲ記入シテ主務課ニ返付スヘシ

第九條　同一事件ノ往復文書ハ必ス合綴シ始終同一番號ヲ用フヘシ

第十條　機密ニ屬スル文書ノ取扱ハ本規程ニ依ラサルコトアルヘシ

第十一條　發送又ハ收受ノ文書中指令又ハ回答等ヲ要セサルモノハ庶務課ニ於テ文書番號簿ニ「發切」又ハ「受切」ト記シテ其ノ區別ヲ明カニスヘシ

第十二條　處分濟ノ文書ハ各主務課ニ於テ之ヲ類別シ名類毎ニ年月日ノ順ヲ追ヒ之ヲ編綴保存スヘシ但シ文書保存期限ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

9. 職員服務規程（大正十三年四月制定）

第一條　本校ノ執務時間ハ官廳執務時間ニ依ル但シ敎官及之ニ準スル者ニツイテハ學校長別ニ之ヲ定ム

第二條　病氣其他ノ事故ニ依リ遲刻又ハ缺勤セントスルモノハ出勤時刻前ニ其旨届出ツヘシ尙缺勤七日以上ニ渉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

父母ノ祭日ニ休暇ヲセントスルモノハ其前日迄ニ届出ツヘシ

第三條　賜暇ヲ受ケントスルモノハ事由日時ヲ詳記シ旅行セントスルモノハ事由日限及行先地ヲ具シ豫メ許可ヲ受クヘシ

第四條　出張ヲ命セラレタルモノハ出發及歸校ノ際其旨届出ツヘシ

第五條　新任者ハ本校所定ノ用紙ニ履歷書並現住所及原籍届ヲ庶務課ニ差出スヘシ

現住所並原籍ニ變更ヲ生シタル場合亦同シ

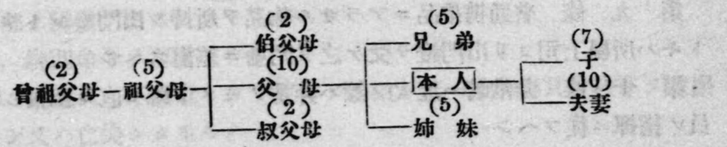
第六條　官廳其他ヨリ本校ヲ經由セスシテ直接ニ辭令ヲ受ケタルトキ其他履歷ニ關スル變動アルトキハ其都度學校長ニ届出ツヘシ

第七條　他ノ囑託ニ應セントスルモノハ豫メ學校長ノ承認ヲ經ヘシ尙一定ノ報酬ヲ受クル場合ハ學校長ヲ經テ文部大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第八條　本校ニ非常アル場合ハ直ニ出校スヘシ

第九條　本規程ニ依リ學校長ニ差出スヘキ文書ハ總テ庶務課ヲ經由スヘシ

職員忌引表



本表ニ於ケル父母トハ實父母、養父母、繼父母ノ意ニシテ配偶者ノ父母ハ五日トス

10. 傭人規程 (大正十三年四月制定 昭和三年十月改正)

第一章 總則

第一條 傭人ハ庶務課監督ノ下ニ各所屬上司ノ指揮ヲ受ケ職務ニ從事スヘシ

第二條 每朝出勤シタルトキハ直チニ出勤簿ニ捺印スヘシ

第三條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ依リ缺勤セントスルトキハ出勤時間前ニ其ノ旨届出ツヘシ又同樣ノ事由ニ依リ勤務時間中退出セントスルトキハ所屬上長ニ申シ出テ許可ヲ受クヘシ

第四條 勤務中ハ制服ヲ支給セラレタルモノハ之ヲ着用シ容儀ヲ正シクシ禮節ヲ重シ人ニ接スルニ丁寧懇切ヲ旨トスヘシ

第五條 已ムヲ得サル場合ノ外ハ詰所ニ他人ヲ導クヘカラス

第六條 傭人ノ勤務時間ハ別ニ定メアルモノヽ外午前七時三十分ヨリ午後五時迄トス但シ公務繁劇ノ場合ハ此ノ限リニアラス

第七條 次ノ日ニハ特別ノ校用ナキ場合ニ限リ休暇スルコトヲ得

1. 休　日　(祝日及祭日)
2. 休暇日　(日曜日、一月一日ヨリ三日迄十二月二十九日ヨリ三十一日迄)

第八條 父母、配偶者、子及同一戸籍內ニアル祖父母、兄弟姉妹死亡ノ際ハ忌引ヲ與フ、其ノ忌引日數ハ次ノ通リトス

父母、配偶者、子	五日以內
同一戸籍內ニアル祖父母、兄弟姉妹	三日以內

第九條 普通携帶品ニアラサル物品ヲ所持シ出門セントスルトキハ所屬上司ヨリ出門證ヲ受ケ之ヲ門衞ニ差出スヘシ

第十條 非常若ハ近火ノ際ハ非番ノモノト雖モ直ニ出校シ係員ノ指揮ニ從フヘシ

第十一條 傭人ノ給料ハ月給者ヲ除キ前月十六日ヨリ其ノ月十五日迄ノ分ヲ定日ニ支給ス但シ三月十六日ヨリ同末日迄ノ分ハ本條

規程ニ拘ラス便宜支給スルモノトス

第十二條 新ニ傭入ノ際ハ出勤ノ日ヨリ起算シ增給減給ノ際ハ其ノ翌日ヨリ起算シ解傭ノ際ハ發令ノ日迄日割計算ヲ以テ日給ヲ支給ス

第十三條 次ノ場合ニハ日給ノ全額ヲ支給ス

1. 休日及休暇日、但シ本條各號ノ何レニモ該當セサル事故ニ因リ休日及日曜日ノ前後引續キ缺勤シタルトキハ之ヲ支給セス
2. 忌引ニ因ル缺勤日
3. 徵兵檢查又ハ簡閱點呼ノ當日
4. 職務ニ基因スル傷疾病ニ因ル缺勤日(但シ傭人扶助令ニ依リ扶助料ヲ受ケタルトキハ此限リニアラス)
5. 校務ニ係ル事件ニ付官署ニ召喚セラレタル當日
6. 暑中休暇中期間ヲ定メテ與ヘラレタル休暇日

第十四條 軍籍ニアル者召集セラレタル場合ニ於テハ明治三十七年九月勅令第二〇六號ニ準シ之ヲ取扱フモノトス但シ本條ノ規程ハ除隊後引續キ勤務スル者ニ限リ之ヲ適用ス

第十五條 傳染病豫防ノ爲メ交通ヲ遮斷セラレ出勤シ能ハサルモノニハ一般休日ニ準シ日給ヲ支給ス

第十六條 業務上死傷シタル者ニハ大正七年勅令第三八二號傭人扶助令ニ依リ相當ノ扶助料ヲ支給ス

第十七條 校外ニ執業ヲ命シタルトキハ詮議ノ上旅費ヲ支給スルコトアルヘシ

第十八條 次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ其ノ情狀ニ依リ譴責減給又ハ解傭ニ處ス但シ第二號ニ該當スルモノニハ損害ノ全部若ハ一部ノ辨償ヲ命スルコトアルヘシ

1. 規則命令ヲ遵守セサルモノ
2. 故意又ハ不注意ニヨリ校舍ヲ汚損シ若ハ機械器具材料等ヲ毀損シ又ハ亡失シタルモノ
3. 素行不良ナル者
4. 職務ニ怠慢ナル者

第十九條　必要ト認ムルトキハ學校醫ヲシテ身體檢査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第二十條　傭人ニ採用セラレタル際ハ速ニ誓約書並戸籍謄本ヲ庶務課ニ提出スヘシ

第二章　巡　　視

第二十一條　巡視ハ校丁及臨時傭人ヲ指揮シ校內一般ノ取締ニ任ス

第二十二條　巡視ノ勤務事項次ノ如シ

1. 校門開閉
2. 校門出入者監視
3. 校舍內外巡視警戒
4. 戸締注意
5. 防　　火
6. 非常用具類ノ整理
7. 國旗校旗揭揚
8. 臨時傭人ノ監督
9. 其他特ニ命セラレタル事項

第二十三條　校門ノ開閉ハ次ノ時限ニ依ルヘシ

正門	平日	開扉	午前六時（休業日ニハ脇門ノミ開扉ス）
		閉扉	午後五時
	土曜日	同	午後二時
脇門	正門閉扉後開扉シ午後十時閉扉スルコト		
西門	開扉	午前七時四十五分ヨリ同八時二十分迄及放課時限ヨリ三十分間	
	閉扉	休業日ニハ開扉セス	

第二十四條　巡視ハ順番ヲ定メテ當直勤務ヲ爲スヘシ其ノ勤務時間ハ午後五時ヨリ翌日午前八時三十分迄トス但シ休業日ニアリテハ午前八時ヨリ翌日午前八時三十分迄トス

第二十五條　出入者ニシテ疑フヘキモノナリト認ムル場合若ハ普通携帶品ニ非スト認ムヘキ物品ヲ携ヘ出門セントスルモノアルトキハ庶務課員又ハ當直員ニ申シ出テ指揮ヲ受クヘシ

第二十六條　煖爐、瓦斯及火鉢ヲ用フル場所ハ殊ニ火ノ元ヲ警戒シ職員學生ノ退出後之カ檢査ヲ行ヒ更ニ一時間ヲ經テ當直員立會ノ上再檢査ヲ爲スヘシ

第二十七條　勤務時間中ハ所定ノ時刻ニ於テ校舍內外ヲ巡檢スヘシ

第二十八條　校舍內外巡檢ノ際ハ常ニ校地、校舍、水路等掃除ノ良否及修繕ヲ要スル箇所ノ有無ニ注意シ殊ニ便所、タン壺、紙屑入等ノ掃除ニ注意スヘシ

第三章　受　　付

第二十九條　受付ノ勤務事項次ノ如シ

1. 受付ハ勤務時間中受付所ニ在リテ次ノ事項ヲ取扱フモノトス
   - 校內出入者ノ取締
   - 來客ノ取次
   - 到達シタル文書物品ノ受領
   - 電話外線ノ交換
2. 到達シタル文書ハ總テ之ヲ庶務課ニ送達スヘシ
3. 外來客ニ對シテハ常ニ懇切ヲ旨トシ名刺ヲ受取用向キヲ尋ネタル上庶務課ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ
4. 電話交換ニ關シテハ聽取シタル事項ニ付一切他ニ漏洩スルコトヲ得ス
5. 電話交換ニ關シテハ特ニ用語ヲ鄭重明晰ニスヘシ

第四章　給　　仕

第三十條　給仕ハ各指定セラレタル所ニ於テ勤務スヘシ

第三十一條　給仕ノ勤務事項次ノ如シ

1. 外來者ノ取次
2. 郵便物ノ配付
3. 新聞ノ整理
4. 食堂ノ掃除及食事ノ設備ヲナスコト
5. 毎日職員出勤前ニ於テ各受持室内ノ掃除ヲ爲スコト
6. 其他特ニ命セラレタル事項

第五章 校丁

第三十二條　校丁ハ校舍内外ノ雜役ニ從事スヘシ

第三十三條　校丁ハ順番ヲ定メテ當直勤務ヲ爲スヘシ、其ノ勤務時間ハ午後五時ヨリ翌日午前八時迄トス但シ休業日ニアリテハ午前八時ヨリ翌日午前八時迄トス

當直者ハ夜中一回以上校舍ノ内外ヲ巡視スヘシ

第三十四條　校丁勤務事項次ノ如シ

1. 校地校舍ノ掃除並除雪
2. 窓戸ノ開閉及戸締
3. 湯水及燃料等ノ配給
4. 校外ヘノ使
5. 其他特ニ命セラレタル事項

第三十五條　火ノ取扱ニ關シテハ最モ嚴重ニ注意シ苟モ疎漏ノ所爲アルヘカラス

第六章 工手

第三十六條　工手及見習工手ハ工場内ニ於テ實務ニ從事スヘシ

第三十七條　勤務時間ハ午前七時五十分ヨリ午後四時三十分迄トス

第三十八條　業務ノ都合ニ依リ規定就業時間外又ハ休業日ト雖特ニ就業ヲ命スルコトアルヘシ

第三十九條　勤務中心得ヘキ事項次ノ如シ

1. 所屬上司ノ指揮ヲ受ケ忠實ニ業務ニ從事スルコト
2. 所屬上司ノ命ニアラサレハ何人ノ依頼ニモ應セサルコト
3. 機械、器具其ノ他ノ物品ヲ丁寧ニ取扱ヒ工場内ヲ清潔ニスルコト
4. 喫煙及食事等ハ所定ノ場所以外ニ於テ爲サヽルコト

第四十條　毎土曜日ニハ大掃除ヲ爲シ所屬上司ノ檢查ヲ受クヘシ

第四十一條　自己ノ都合ニ依リ遲參シ又ハ早退シタルトキハ其ノ時間（一時間未滿ノ端數ハ之ヲ一時間トス）ニ對スル時間給ヲ減給ス上ノ時間給ハ一時間ニ付日給ノ十分ノ一ニ相當スル金額トス

規定就業時間以外ノ就業ニ對シテハ一時間ニ付日給ノ八分ノ一ヲ支給スルコトアルヘシ

規定就業時間以外ニ於ケル就業時間ハ所屬上司ニ於テ調查シ翌日庶務課ニ報告スルモノトス

第四十二條　就業中負傷シ早退ノ許可ヲ受ケタル者ニハ當日ノ日給全額ヲ支給ス

第四十三條　工場服ハ之ヲ支給若ハ貸與スルコトアルヘシ

第四十四條　本章ハ臨時傭人ノ工手ニモ之ヲ準用ス

11. 科學工業博物館職員規程（大正十五年十二月制定）

1. 科學工業博物館ニ次ノ職員ヲ置ク

主事	一	名
館員	若干	名
委員	若干	名
理事	若干	名

2. 主事ハ教授中ヨリ學校長之ヲ命ス
主事ハ學校長ノ命ヲ受ケ館務ヲ掌理ス
3. 館員ハ書記又ハ雇員中ヨリ學校長之ヲ命ス
館員ハ主事ノ命ヲ受ケ館務ニ從事ス
4. 委員ハ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス
委員ハ館務遂行上主事ヲ輔佐ス
委員會ノ會議ハ主事之ヲ開キ議案ヲ提出スルモノトス但シ委員ノ意見アルトキハ之ヲ議案トナスコトヲ得
5. 理事ハ評議員中ヨリ學校長之ヲ命ス
理事會ハ學校長之ヲ召集シ博物館ノ事業、施設、方針等重要ナル事項ニ關シ審議スルモノトス

12. 物品會計細則（大正十三年四月制定）

第一章 總則

第一條 本校所屬物品ノ保管出納ハ總テ物品會計規則並文部省直轄學校物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理スヘシ
第二條 物品ヲ大別シテ備品、消耗品ノ二種トシ更ニ備品ヲ分チテ普通用備品、學術用備品トシ消耗品ヲ分チテ普通用消耗品、實驗用消耗品トス其ノ區分ハ性質及用法ニ依リ學校長之ヲ定ム
第三條 各部局ニ物品監守者及物品取扱主任ヲ置キ備品ノ監守及消耗品取扱ノ責ニ任セシム
第四條 各部局ニ於ケル物品監守者ノ監守區域ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 出納及保管

第五條 物品ノ出納科目ヲ定ムル事次ノ如シ
1. 備品
受入科目 買入、生產、保管轉入、寄贈、戻入
拂出科目 賣却、生產、亡失、毀損、保管轉出、贈與、出品
1. 消耗品
受入科目 買入、生產、保管轉入、寄贈
拂出科目 消耗、賣却、生產、亡失、毀損、保管轉出、贈與
第六條 物品ノ出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ執行ス
第七條 各部局ニ於ケル所要物品ハ品目數量及所要ノ事由ヲ明記シタル請求書ヲ當該主任ヨリ會計課ニ差出スヘシ
第八條 前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ新ニ購入ヲ必要トスルモノハ學校長ノ決裁ヲ經テ購買ノ手續ヲ爲スヘシ
第九條 各部局ニ於テ學術用器具機械ノ製作及修理ニ就キ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スルノ必要アルトキハ圖面及

仕樣書並當業者ノ氏名ヲ記載シタル書面ヲ添付シ會計課ニ差出スヘシ

第十條　物品會計官吏物品ヲ受入レタルトキハ直ニ番號ヲ附スヘシ

第十一條　消耗品ハ會計課ニ於テ一ケ年ノ所要高ヲ豫定シ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ヲ爲シ之ヲ倉庫若ハ適當ノ場所ニ藏置シ各部ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲナスヘシ

第十二條　物品監守者ハ備品監守簿、物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ備付ケ物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ登記シ請求書ニ受領ノ印ヲ押捺シ受授ノ手續ヲナスヘシ

第十三條　物品ノ出納命令及其他請求及支給ニ關スル樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條　物品ノ自然ニ破損シ修理及不用ニ屬シタル物品ハ各監守者ニ於テ會計課ニ修理請求又ハ返納ノ手續ヲナスヘシ
物品會計官吏ハ之ヲ調査シ修理使用ニ堪フルモノハ修理交付シ不用ニ屬シタルモノハ決裁ヲ經テ之ヲ處理スヘシ

第十五條　不用品及製產品ノ賣却等ノ執行ハ成規ニ依ル但シ賣却シタル物品ノ代價徵收ノ後ニアラサレハ引渡スコトヲ得ス

第十六條　物品會計官吏保管ノ物品ヲ毀損亡失シタルトキハ學校長ハ事實ヲ審査シ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第十七條　物品監守者ハ常ニ其ノ監守物品ノ保管ニ注意シ時々帳簿ニ對照シ點檢スヘシ
若シ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキハ速ニ其實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作リ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十八條　學校長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ其事實ヲ審査シ其監督ヲ怠リ或ハ放意怠慢ニ出ツルト認メタルトキハ相當ノ處分ヲナスヘシ

第三章　檢　閱

學校長ハ物品檢閱委員長一名委員若干名ヲ學校職員

中ヨリ設ケ毎年一回以上物品ノ保管使用並消費上ノ適否ヲ檢查セシム

第二十條　物品檢閱委員長ハ檢閱委員ヲ監督シ檢閱事務ヲ處理スヘシ但シ學校長ノ許可ヲ受ケ各部ヨリ物品檢閱補助員ヲ命スル事ヲ得

第二十一條　物品檢閱委員ノ檢閱スヘキ要項次ノ如シ

1. 物品保管ノ適否
2. 物品使用ノ適否
3. 消耗品消費ノ適否
4. 帳簿ノ點檢及殘存物品ノ調查
5. 物品缺損ノ有無
6. 其他必要事項

第二十二條　物品檢閱ノ際ハ在庫品ニ就テハ物品會計官吏、使用中ノ物品ニ就テハ物品監守者又ハ物品取扱主任其席ニ列シ檢閱委員ノ質問ニ答フヘシ

第二十三條　物品ノ檢閱ヲ了シタル時ハ檢閱委員長ハ檢閱ノ狀況ヲ詳具シ學校長ニ申報スヘシ

第四章　諸帳簿

第二十四條　物品會計官吏ハ物品ノ出納ヲ明確ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ

1. 備品出納簿
   本簿ヲ大別シテ普通用備品出納簿、學術用備品出納簿トス
2. 消耗品出納簿
   本簿ヲ大別シテ普通用消耗品出納簿、學術用消耗品出納簿トス

第二十五條　物品監守者及物品取扱主任ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ

1. 備品監守簿
2. 消耗品受拂簿

第二十六條　本則ニ依ル諸帳簿類ノ樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第二十七條　圖書ノ出納ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

13. 試驗、分析、鑑定及加工規程（大正十五年十一月制定）

第　一　條　本校ハ教育上便益アリト認ムルモノニ對シテハ試驗分析、鑑定（鑛物、岩石等）及加工ノ依頼ニ應スルコトアルヘシ

第　二　條　依頼者ハ別紙書式ニ依ル依頼書ヲ提出スヘシ

第　三　條　試驗、分析及鑑定依頼者ハ手數料ヲ、加工依頼者ハ加工費ノ十分ノ二ノ內金ヲ前納スヘシ、手數料並ニ加工費ハ本校ニ於テ其都度之ヲ定ム

一旦納付セル手數料並加工費ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第　四　條　教育上特ニ有益ナリト認メタル場合ハ手數料ヲ免除スルコトアルヘシ

第　五　條　試驗、分析、鑑定ヲ終了シタルトキハ證明書ヲ交付ス之カ複本ヲ請求スルトキハ紙數一枚ニ付金二十錢ノ手數料ヲ納付スヘシ

第　六　條　試驗、分析、及鑑定ノ爲メ差出シタル現品ハ之ヲ還付セス但シ豫メ申出アリタル場合ハ還付スルコトアルヘシ

第　七　條　加工品竣製ノ通知ヲ受ケタルトキハ一週間以內ニ代金完納ノ上現品ヲ引取ルヘシ

第　八　條　前條期間內ニ代金ヲ完納セサルトキハ契約ヲ解除シ現品並內金ヲ學校ノ所得トス

第　九　條　加工材料ニシテ當校ニ保管中、天災、火災、其ノ他不可抗力ニ因ル損失ハ依頼者ノ負擔トス、但シ其ノ損失ノ加工後ニ生シタルトキ之カ加工費ノ損失ハ學校ノ負擔トス

（細則ハ別冊ニ印刷ス）

14. 圖書館規程（大正十三年四月制定）

第　一　條　本校圖書ハ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ之ヲ處理スヘシ

第　二　條　本校所屬ノ圖書ハ凡テ書庫ニ收藏ス

第　三　條　圖書館ニハ別ニ定ムル規程ニヨリ他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管ス

第　四　條　次ノ圖書ハ凡テ本校所屬ノモノト同一ノ取扱ヲナス

1. 本校名義ヲ以テ他ヨリ借入レタル圖書
2. 委託保管ノ圖書
3. 各學科各教室又ハ各課ニ於テ寄附受領シタル圖書

第　五　條　教授上及事務上特ニ必要ナル圖書ハ特別ノ場所ニ備置クコトヲ得

第　六　條　前條ノ圖書ニ關シテハ當該各科課各教室ニ於テ其責ニ任スル保管者ヲ定ム

第　七　條　本校職員、研究生、學生及第三條ノ圖書委託者其他學校長ノ許可ヲ得タルモノハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第　八　條　本校職員、　究生、學生ハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ借受クルコトヲ得

第　九　條　圖書ノ出納及圖書館ノ事務ハ圖書課ニ於テ取扱フモノトス

第　十　條　總テ圖書ハ次ノ如ク整理スヘシ

1. 購入ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ數量及落丁ノ有無ヲ檢シ圖書原簿ニ登錄スルモノトス
2. 寄贈ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ名稱、數量、價額若ハ評價ヲ付シ會計課ト合議ノ上圖書原簿ニ登錄スルモノトス
3. 各科課教室ニ備付ノ爲メニ貸付シタル圖書ハカード又ハ帳簿等ニ當該場所ヲ記シ圖書保管者ノ領收印ヲ徵シテ其ノ所在、種類、數量等ヲ明瞭ナラシムルモノトス

圖書貸付規程

第一條　本校所屬ノ圖書ハ圖書課員ノ外取扱ヲナスコトヲ得ス

第二條　教官ハ公務上必要ノ場合ハ係員ノ承諾ヲ得テ書庫ニ入リ檢索スルコトヲ得

第三條　圖書貸付ノ方法ハ次ノ三種トシ借受者ヲ以テ責任者トス

1. 圖書館規程第五條ニヨリ特別ノ場所ニ備置クモノヲ備付圖書トス
2. 圖書館規程第七條ニヨリ閱覽室ニ於テ見ル爲貸與スルモノヲ閱覽圖書トス
3. 圖書館規程第八條ニヨリ貸付ケタルモノヲ貸出圖書トス

第四條　次ノ圖書ハ備付又ハ貸出圖書トシテ借受クルコトヲ得ス

1. 貴重圖書
2. 閱覽圖書トシテ缺クヘカラサルモノ
3. 貸出圖書トシテ同一圖書一部以上
4. 其他圖書課ニ於テ指定シタル圖書

第五條　備付及貸出圖書ハ次ノ部數ヲ限リ借受クルコトヲ得

備付圖書	各科課各教室	若干部
貸出圖書	教授、助教授、講師	十部以內（一ケ月）
同	其他職員及研究生	五部以內（一ケ月）
同	學生ハ（三日間）二部二冊以內、長期休暇中ハ三部三冊以內	

第六條　圖書ノ幅又ハ帙ヲナスモノハ一個ヲ以テ一部ト認メ逐次刊行書ハ一完冊ヲ了スルマテノ若干號ヲ合セテ一部トス

第七條　圖書ヲ借受ケントスルモノハ圖書課ニツキ所定ノ手續ヲナスヘシ

第八條　借受ケタル圖書ハ之ヲ他ニ轉貸スルコトヲ得ス

第九條　借受ケノ圖書ハ毎年七月五日マテニ悉ク返納スルモノトス
前項期限ノ外必要ニ應シ臨時返納セシメ又ハ點檢スルコトアルヘシ

第十條　借受ケタル圖書ヲ紛失毀損又ハ汚染シタルトキハ其損害ノ程度ニ依リ同一ノ圖書ヲ以テ之ヲ償ハシメ或ハ之ヲ修繕セシム但シ時宜ニヨリ代金ヲ以テ償ハシムルコトアルヘシ

第十一條　職員休職、退職、轉任又ハ海外渡航ノ場合及研究生學生、休學、退學又ハ卒業等ノ爲學校ヲ去ルニ當リ其借受ノ圖書ハ直チニ返納スルモノトス

圖書閱覽規程

第一條　圖書閱覽室ハ學校休日及臨時閉鎖ノ必要アル場合ノ外次ノ時間內之ヲ開ク
午前八時ヨリ午後四時マテ但シ土曜日ハ午後一時三十分マテトス

第二條　圖書館規程第七條ニヨリ圖書ヲ閱覽シ得ル者ニハ毎學年ノ始メニ於テ圖書閱覽票ヲ交附ス

第三條　圖書ヲ借覽セントスルモノハ所定ノ用紙ニ相當ノ事項ヲ記入シ閱覽票ヲ添ヘテ掛員ニ差出スヘシ但シ本校職員ハ閱覽票ヲ要セス

第四條　借覽ノ圖書ハ閱覽室外ヘ携出スルヲ得ス

第五條　閱覽室內ニアリテハ喫煙、音讀、談論、雜話、放歌等總テ他ノ閱覽者ノ妨害トナル擧動ヲ禁ス

第六條　借覽ノ圖書ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ其損害ノ程度ニヨリ辨償又ハ修繕セシム

第七條　閱覽室內ニテハ圖書課員ノ命ニ從フモノトス

委託圖書取扱規程

第一條　閱覽ニ供スル目的ヲ以テ一ケ年以上本校圖書館ニ保管ヲ委託セントスル者ハ其書目、著者名、價額及員數等ヲ詳記シ學

校長ノ許諾ヲ經ヘシ

第 二 條 委託者前條ノ許諾ヲ得タル時ハ該圖書ヲ圖書館ニ送致シ其受託證ヲ受クヘシ

第 三 條 委託圖書ハ其見易キ部ニ委託者ノ捺印有ルヲ要ス

第 四 條 委託圖書ハ本校所屬ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスト雖モ本校圖書ニ關スル規程ニ差支ナキ限リニ於テ委託者ノ希望ヲ容ルルコトヲ得

第 五 條 圖書課主任ハ本校物品會計規程ニ準シ委託圖書出納簿及監守簿ヲ設ケ委託圖書保管ノ責ニ任スヘシ

第 六 條 委託圖書ハ火災、盜難其他避クヘカラサル災害ニ罹リ損失ヲ來スコトアリトモ一切之ヲ辨償セス

第 七 條 委託圖書ハ圖書貸付規程第三條ニヨル備付圖書又ハ貸出圖書トスルコトヲ得ス

15. 非 常 心 得 （大正十三年四月制定）

第 一 條 本校ニ於テ失火若ハ近火等非常事變ノ際ハ直チニ庶務課若ハ宿直員ニ急報スヘシ但シ危急ノ場合ニ於テハ發見者先ツ警報ヲ疾呼シ又ハ號鐘ヲ亂打スヘシ

第 二 條 庶務課員若ハ宿直員ハ前條ノ報ニ接シタルトキハ遲滯ナク次ノ處置ヲナスヘシ

1. 號鐘ヲ亂打シ非常ヲ報シ消防署ヘ急報スルコト
2. 休日又ハ退廳後ニアリテハ直ニ學校長及各係長ヘ電話又ハ其他ノ方法ヲ以テ急報シ他ノ職員一同ヘモ可成同樣ノ處置ヲ執ルヘシ

第 三 條 職員生徒及傭人ハ本校出火若クハ近火ノ場合ハ直チニ駈付ヘシ

第 四 條 非常手配トシテ次ノ係ヲ置ク

警備係、防火係、運搬係

各係ニ長一名副長若干名係員若干名ヲ置ク其ノ部署ハ毎年四月之ヲ定ム

第 五 條 非常ノ際ハ本部ヲ設ケ學校長及各係長ノ所在ニ之ヲ置ク

第 六 條 警備係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1. 金庫ノ警護ニ任スルコト
2. 非常本部ノ位置ヲ定メ標燈又ハ標旗ヲ樹ツルコト
3. 夜間ニハ廊下事務所其他必要ノ場所ニ點燈スルコト
4. 構內ヲ巡邏シテ盜難ヲ警戒スルコト
5. 見舞人應接ノ任ニ當リ其ノ氏名ヲ錄スルコト
6. 搬出物品ヲ監守スルコト
7. 各部聯絡傳令ヲ司ルコト

第 七 條 防火係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1. 非常事變ニ際シ第一線ノ任務ニ服スルコト
2. 防火具ヲ使用シ專ラ消防ニ從事スルコト

第 八 條 運搬係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1. 書類校具ヲ安全ノ場所ニ搬出スルコト但シ非常持退ノ記號アルモノヲ先ニスルコト

第 九 條　係員不在又ハ少數ノ場合ハ各自臨機應援消防ニ從事スヘシ

第 十 條　次ノ非常用具ハ各係長ニ於テ夫々之ヲ整頓保管シ、ポンプ其ノ他器具類ハ時々之ヲ點檢使用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

1. 常ニ防火用具ヲ整理シ一定ノ場所ニ備付ケ之レカ使用並ニ備付場所ヲ校內一般ニ豫知セシムルコト
2. ポンプ、消火器、梯子、消火栓用ホース及筒先、斧、鋸、大槌
3. 消火器、消火用水、消火用砂ハ各建物內適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ
4. 運搬用具（擔架、荷車、其他）
5. 消火器ニハ藥品充填ノ年月日及有效期間ヲ記シ有效期日ノ滿タサル前ニ藥品ノ充填換ヲ爲スヘシ
6. 各係長ハ協議ノ上時々消火器ノ効力ヲ試驗スヘシ

第十一條　非常演習ハ各係長協議ノ上學校長ノ許可ヲ得テ春秋二回以上之ヲ行フ

第十二條　各科ニ於テハ各科ノ特別事情參酌ノ上各科生徒ト共ニ防備係ヲ組織シ之ヲ警備係長ニ届ケ置クモノトス防備係ニハ係長一名ヲ置キ事變ノ際ハ警備係長ノ指揮ヲ受クヘシ

16. 宿 直 規 程（大正十三年四月制定）

第 一 條　判任官以下ノ事務職員ハ輪番ヲ以テ一名ツヽ本校ニ宿直勤務スヘシ（但シ女子ヲ除ク）

第 二 條　宿直ハ退出時限ヨリ翌日登校時限迄勤務スルモノトス但シ休日ハ登校時限ヨリ翌日ノ登校時限迄トス

第 三 條　宿直ノ順番ハ庶務課ニ於テ其前日迄ニ本人ニ通知スヘシ

第 四 條　次ノ諸項ノ一ニ該當スルモノハ宿直ヲ除番ス

1. 出張中並ニ出發ノ前日及歸校ノ日
2. 賜暇又ハ忌引
3. 新任者着任後七日間

第 五 條　病氣其ノ他事故ニ因リ宿直ヲナシ能ハサルトキハ其ノ旨庶務課ニ届出ツヘシ

前項ニ依リ宿直勤務ヲ缺クモノアルトキハ之ヲ一時除番シテ順次繰上ケ事故止ミタルトキハ直ニ之ヲ補勤セシム

第一項ノ場合ニ於テハ他ノ宿直者ト合意ノ上代人ヲ立テ又ハ當番ヲ交代シテ勤務スルコトヲ得

第 六 條　宿直勤務ノ標準次ノ如シ

1. 校內ノ警備取締特ニ火ノ元ヲ注意シ一回以上ハ必ス校內ヲ巡視スヘシ
2. 非常ノ場合ハ巡視及小使ヲ指揮シ臨機ノ處置ヲナスヘシ
3. 本校ニ到着シタル公文書ハ收受簿ニ登記シ翌日之ヲ庶務課ニ引繼キ其ノ至急ヲ要スルモノハ直ニ之ヲ當該主任ニ送付スルコト

第 七 條　宿直日誌ニハ次ノ事項ヲ記載シ學校長ノ檢閱ヲ受クヘシ

1. 月、日、七曜、祭日、天候
2. 宿直者氏名
3. 登校者及參觀人ノ官氏名時刻等
4. 校內巡視ノ模樣

5. 其ノ他宿直中處理シタル事項

第 八 條 宿直室ニハ次ノ帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

1. 宿直日誌
2. 職員名簿
3. 送 付 簿
4. 暗號電信符號
5. 郵便切手受拂簿
6. 收 受 簿

17. 校 友 會 規 則 (大正十三年 四 月制定 昭和 四 年十二月改正)

第 一 條 本校學生並職員ハ本校々風發揚ニ資スル目的ヲ以テ校友會ヲ組織スルコトヲ得

第 二 條 校友會ニハ所期ノ目的ヲ達成スル爲ニ必要ナル諸部ヲ設クルコトヲ得

第 三 條 校友會ニハ會長一名、幹事長一名、幹事、會計主任部長、主事等必要ナル役員ヲ置ク但シ會長ハ本校々長幹事長ハ本校生徒主事部長並會計主任ハ本校職員ヲ以テ幹事並主事ハ學生ヲ以テ充ツヘシ

學生ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ役員タルヲ得ス

1. 學業成績不良ニ因ル原級者
2. 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
3. 受罰中ノ者
4. 平素出缺日數常ナラス缺席多ク或ハ素行修ラサルモノ

第 四 條 會長ハ本校職員學生以外ノ者ヲ會員トシテ推薦スルコトヲ得

第 五 條 校友會ニ於テ會費並入會金ヲ徵收シ又寄附ヲ受納スルコトヲ得

第 六 條 校友會並各部主催ニ關スル種々ノ催シハ校內ニ於テ之ヲナスヲ本則トス

第 七 條 各部選手ハ常任トセス其都度該部ニ於ケル優秀ナル技倆ヲ有スル者ノ中ヨリ會長之ヲ選ヒ學校職員會議ノ承認ヲ經テ任スヘシ但シ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ選手タルコトヲ得ス

1. 學業成績不良ニ因ル原級者
2. 假進級中ノ者
3. 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
4. 受罰中ノ者
5. 代表保證人ヨリ反對セラレタル者
6. 校醫ヨリ健康上不適當ト認メラレタル者

7. 平素出缺常ナラス缺席日數多ク或ハ素行修ラサル者

第 八 條　各部有志トシテ校外ニ出ツル場合學校代表者ト見做サレ易キ者ハ前條ニ準シ學校ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第 九 條　校友會々則ハ會長之ヲ定ム

Ⅵ 職　員

（昭和十年五月一日現在）

1. 商　議　員

長岡市長		木村清三郎	Kimura-Seizaburô
長岡商工會議所會頭	勳七	鷲尾德之助	Wasio-Tokunosuke
日本石油株式會社長 貴族院議員	正四勳二	橋本圭三郎	Hasimoto-Keizaburô
理化學研究所長 正三勳三 工學博士	子爵	大河內正敏	Ookôti-Masatosi
貴族院議員	從五	大橋新太郎	Oohasi-Sintarô
日本製鍊株式會社長 工學博士		棚橋寅五郎	Tanahasi-Toragorô
文部書實業學務局長	正五勳四	菊池豐三郎	Kikuti-Toyosaburô
京都帝國大學名譽教授 正三勳二 工學博士		青柳榮司	Aoyagi-Eizi

2. 職　員

校　長

一等		正四勳三	福田爲造（東京）	Hukuda-Tamezô

教　授

二等	評議員 電氣工學科長	正四勳二	槇田謹臣（群馬）	Makita-Moriomi
三等	評議員	正五勳五	日下部富藏（愛知）	Kusakabe-Tomizô
三等	評議員 機械工學科長	正五勳六	臼倉錠次郎（東京）	Usukura-Dyôzirô
三等	評議員 應用化學科長	正五	岡部欽二（山口）	Okabe-Kinzi
三等	評議員 生徒主事	從五	石井信二（鳥取）	Isii-Nobuzi
三等		從五勳六	中村亮三（滋賀）	Nakamura-Ryôzô
三等		從五	伊藤貞治（宮城）	Itô-Teidi
三等		從五勳六	弘中廣志（山口）	Hironaka-Hirosi
三等		從五	松村龍雄（東京）	Matumura-Tatuo

			高野 福島（新潟）	Takano-Hukusima
			岡澤 富治（長野）	Okazawa-Tomidi
			伊佐 銀行（新潟）	Isa-Kaneyuki
			齋藤 勇（新潟）	Saitô-Yû
			大野 富次郎（新潟）	Oono-Tomizirô
			關口 政治（新潟）	Sekiguti-Masadi
			村山 敏雄（新潟）	Murayama-Tosio
			谷口 久夫（東京）	Taniguti-Hisao
			木本 憲三（新潟）	Kimoto-Kenzô
			知野 ミツ（新潟）	Tino-Mitu
			池田 マル（新潟）	Ikeda-Maru
技術雇員			野村 亮吾（新潟）	Nomura-Ryôgo
			高宮 榮吉（新潟）	Takamiya-Eikiti
			林 文治（新潟）	Hayasi-Bundi
巡視雇員		勳七	佐藤 與市（新潟）	Satô-Yoiti
囑託		正七勳六	石澤 好三（秋田）	Isizawa-Kôzô
		勳六	五十嵐廣作（新潟）	Igarasi-Hirosaku
		勳八	山鹿虎五郎（新潟）	Yamaga-Toragorô
		勳八	玉井 龜雄（長野）	Tamai-Kameo
			細貝 省二（新潟）	Hosogai-Syôzi
			產江 植吉（新潟）	Ubue-Uekiti
學校醫		正七	今井 楢三（大阪）	Imai-Narazô

三等		從五	山崎 貫三（新潟）	Yamazaki-Kwanzô
三等		從五勳六	幸林 良作（富山）	Kôbayasi-Ryôsaku
四等		正六	高澤 十三郎（新潟）	Takazawa-Zyûzaburô
四等		正六	近藤 杉樹郎（新潟）	Kondô-Sanzyurô
四等		正六	山口 四郎（東京）	Yamaguti-Sirô
四等		正六	柴田 雄三郎（兵庫）	Sibata-Yûzaburô
五等		從六	和田 良治（山口）	Wada-Ryôdi
六等		正七	眞野 克巳（熊本）	Mano-Katumi
六等		正七	位野木 實（香川）	Inoki-Minoru
助教授	生徒主事補		宇野 茂太（山形）	Uno-Sigeta
			竹內 左內（東京）	Takeuti-Sanai
			鈴木 格雄（埼玉）	Suzuki-Kakuo
		正八	小山 健藏（新潟）	Koyama-Kenzô
			津田 吉文（大分）	Tuda-Yosibumi
		正八	尾高 雅次（群馬）	Odaka-Masazi
			內田 宗義（東京）	Utida-Muneyosi
助手			笠原 榮吉（新潟）	Kasahara-Eikiti
講師		正六	清水 家助（兵庫）	Simidu-Iesuke
			吉田 順五（東京）	Yosida-Zyungo
		勳六	五十嵐廣作（新潟）	Igarasi-Hirosaku
配屬將校				
陸軍步兵少佐		正六勳四	渡邊 正敏（新潟）	Watanabe-Masatosi
書記			大原 孝次郎（山形）	Oohara-Kôzirô
			中野 誠二（山口）	Nakano-Seizi
		勳七	長谷川梅太郎（新潟）	Hasegawa-Umetarô
			土屋 正哲（新潟）	Tutiya-Masaaki
			穗苅 忠二（新潟）	Hokari-Tyûzi
雇		正八	室賀 幸雄（新潟）	Muroga-Yukio
		正八	關 精一（新潟）	Seki-Seiiti
			丸田 忠雄（新潟）	Maruta-Tadao
		勳八	高木 昌雄（新潟）	Takagi-Masao
		正八	齋藤 虎雄（新潟）	Saitô-Torao
			河本 隆二（新潟）	Kawamoto-Ryûzi

職員受持一覽表

事務室

校長	理學士	造二
生徒主事	教授	爲信太
生徒主事補	教授助	福井茂宇

庶務課

主任（兼）	書記	大原孝次郎
	囑託	山鹿虎五郎
	雇	野ミツル
	雇	知田マ池

會計課

主任	書記	中野誠二
	書記	土屋正哲
	書記	穗苅忠二
	囑託	石澤好三
	雇	高野福島

教務課

主任	教授	日下部富藏
	書記	長谷川梅太郎
（兼）	雇	丸田忠雄
（兼）	雇	高木昌雄
	雇	大野富次郎

學生課

	助教授	宇野茂太
主任	講師	五十嵐廣作
	雇	丸田忠雄

圖書課

主任（兼）	教授	位野木實
	書記	穗苅忠二
	雇	室賀幸雄
	雇	齋藤勇

調査計畫課

主任（兼）	教授	位野木實
（兼）	書記	大原孝次郎
（兼）	書記	中野誠二
（兼）	書記	長谷川梅太郎
（兼）	囑託	五十嵐廣作
	囑託	山鹿虎五郎

醫務室

學校醫	囑託 醫學博士	今井橙三

體育教室

體操	體育主任 助教授	宇野茂太
劍道	囑託	玉井龜雄
弓道	囑託	細貝省三
柔道	囑託	產江植吉

教練教室

主任	陸軍步兵少佐	渡邊正敏
	講師 陸軍步兵特務曹長	五十嵐廣作

文科教室

修身、英語、獨逸語	英語及獨逸語主任 教授 文學士	石井信二
經營經濟及法制、工場管理	教授 商學士	位野木實
英語、獨逸語	講師	清水家助

理科教室

數學	數學主任	教授	理學士	日下部	富藏
力學及物理學、物理學實驗	力學及物理學・物理學實驗主任	教授	理學士	伊藤	貞治
力學及物理學、物理學實驗		教授	理學士	松村	龍雄
數學		教授	理學士	高澤	十三郎
物理學實驗		講師	理學士	吉田	順五
物理學實驗		助教授		竹内	左内
副手		雇		關口	政治

電氣教室

電燈及照明、電氣鐵道、電氣機械及設計電氣工學、讀書攻究	科長	教授	工學士	槇田	護臣
電氣理論、電信及電話、電氣機械及設計實驗實習		教授	工學士	中村	亮三
電氣理論、發電所及變電所、設計及製圖實驗實習		教授	工學士	山崎	貫三
電氣磁氣測定、電氣材料及器具、設計及製圖、實驗實習		助教授	工學得業士	津田	吉文
送電及配電、設計及製圖、實驗實習		助教授		尾高	雅次
副手		雇		齋藤	虎雄
副手		雇		伊佐	銀行
副手		雇		谷口	久夫

機械教室

材料力學、機械工學通論、讀書攻究實驗實習	科長	教授	工學士	臼倉	綻次郎
機械工作法、機械製圖、實驗實習		教授		弘中	廣志
熱力學、汽罐、蒸氣機關及タービン、內燃機關熱機關、讀書攻究、設計及製圖、實驗實習		教授	工學士	近藤	杉樹郎
水力及水力機、機構學、實驗工學、讀書攻究設計及製圖、實驗實習		教授	工學士	和田	良治
機械工作法		教授	工學士	眞野	克巳
金屬材料、機械設計、設計及製圖、實驗實習		助教授		小山	健藏
副手		雇		河本	陸二

副手	雇	村山	敏雄
副手	雇	木本	憲三

化學教室

電氣化學及電池、應用電氣化學、製造化學第一部、製造化學特論Ⅰ、實驗實習	科長	教授	工學士	岡部	欽二
化學、製造化學第二部、製造化學第四部製造化學特論Ⅱ、實驗實習		教授		幸林	良作
有機化學、製造化學第三部、製造化學特論Ⅰ、讀書攻究、實驗實習		教授	理學士	山口	四郎
無機化學、物理化學、製造化學特論Ⅱ讀書攻究、實驗實習		教授	理學士	柴田	雄三郎
化學、化學實驗、製造化學第二部、實驗實習		助教授		鈴木	恪雄
製造化學第一部、讀書攻究、實驗實習		助教授		内田	宗義
助手		助手		笠原	榮吉
副手		雇		關	精一
副手		雇		岡澤	富治
副手		雇			

3. 舊　職　員

氏名	官職名	就職年月日	退職年月日
Tatezaki-Yosisada 館崎美定	書記	大13. 1.25	大13.10.15退
Nakasono-Susumu 中園進	助教授	大13. 4. 9	大14. 3.31退
Nisimura-Terue 西村輝惠	學校醫	大13. 4. 1	大14. 9.30退
Hiraoka-Munetake 平岡宗威	教授	大13. 1. 7	大15. 3.21退
Sakabe-Sigetosi 阪部重壽	講師	大14.11.10	大15. 3.31退
Inomata-Sôroku 猪股惣六	助教授 教授	大13. 9. 1	大15.10.25死
Kokubu-Kenzi 國府健次	講師	大15. 4. 7	大15.10.30退
Moritani-Itirô 森谷一郎	講師	大15. 4. 1	大15.10.31退
Abe-Kunisada 阿部國貞	書記	大13. 2.13	昭 2. 7. 2轉
Asano-Nagahusa 淺野長房	陸軍技術少佐 配屬將校	大14. 4.24	昭 2. 7.26轉
Mori-Suketoki 森相時	講師	昭 2. 3.11	昭 3. 3.22退
Hasegawa-Tatuo 長谷川龍雄	講師	大15. 4. 1	昭 4. 3.30退
Tobinaga-Zindi 飛永甚治	助教授 教授	大14. 4. 7	昭 4.10.15轉
Sunaga-Hideya 須永秀彌	教授	大14. 4. 1	昭 5. 3. 5轉
Naka-Toyozirô 中豐次郎	講師	昭 3. 3.26	昭 5. 3.10轉
Hayahune-Eun 早船慧雲	教授	大13. 3. 3	昭 5. 3.10轉
Hurukane-Zirôiti 古金次郎一	教授	大13. 3.17	昭 5. 4. 9退
Sano-Mituo 佐野光雄	陸軍技術中佐 配屬將校	昭 2. 7.26	昭 5. 8. 1轉
Takahasi-Isaburô 高橋伊三郎	講師	昭 5. 4.30	昭 5. 8.14死
Matukura-Tokinosuke 松倉時之助	教授 講師	大14. 2. 2	昭 6. 3.31退
Tatikawa-Kôitirô 太刀川浩一郎	講師	昭 5. 4.21	昭 6. 3.31退
Takeda-Etuzirô 武田悅次郎	教授	昭 2. 4. 5	昭 7. 4. 1轉
Imagawa-Saburô 今川三郎	講師	昭 5. 3.20	昭 7. 6.18退
Kiributi-Kanzô 桐淵勘藏	教授	昭 2. 8.30	昭 8. 9.16轉
Hasebe-Riei 長谷部理叡	陸軍軍醫少佐 配屬將校	昭 5. 8. 1	昭 9. 3. 5轉
Hudimura-Yosiki 藤村義樹	教授	昭 9. 9.20	昭 9.12.20退

Ⅶ 學　生

1. 學生氏名 (ABC順)

(昭和十年五月一日現在)

電氣工學科第三學年 (39名)

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Andô-Itiyano 安藤一彌野	(新潟)	長岡中	
Gotô-Satosi 後藤敏	(新潟)	新發田中	
Hasegawa-Kei 長谷川慶	(富山)	富山中	
Hata-Yosinori 畑義範	(香川)	高松中	講演主事
Higurasi-Masayosi 日暮正義	(千葉)	千葉中	
Hiraga-Tadayosi 平賀忠良	(岡山)	天城中	
Iizima-Ryôiti 飯島良一	(大阪)	市岡中	
Ikeda-Miozi 池田三穗司	(新潟)	三條中	學級總代、校友會幹事
Itô-Takasi 伊藤孝四	(新潟)	高田中	劍道主事
Itô-Tosio 伊藤敏夫	(山口)	防府中	音樂主事
Katuda-Yosirô 勝田芳郎	(京都)	舞鶴中	
Kawamura-Itirô 川村一郎	(青森)	野邊地中	
Kimura-Kei 木村敬	(新潟)	橫濱一中	
Koga-Tosio 古我俊男	(滋賀)	今津中	
Komagata-Masadi 駒形政治	(新潟)	三條中	
Kurihara-Sigeru 栗原茂	(埼玉)	埼玉縣師	
Kuwada-Syôsin 桑田正信	(新潟)	柏崎中	
Makino-Sin'iti 牧野愼一	(新潟)	新潟中	柔道主事
Miura-Mitiya 三浦道也	(秋田)	秋田中	蹴球主事
Miyamoto-Syôzô 宮本會三	(和歌山)	紛河中	
Mori-Syôzyu 森正壽	(和歌山)	京都二中	
Murayama-Morizi 村山盛次	(神奈川)	小田原中	
Nozaki-Toyoo 野崎豐男	(岡山)	第二岡山中	

Okayama-Kanzi	丘山侃二(新潟)	三條中		
Okazaki-Kiyohiko	岡崎清彦(新潟)	新潟中		
Okumura-Saburô	奥村三郎(福岡)	豐津中		
Ookubo-Tutomu	大久保乾(茨城)	松本中	陸上競技主事	
Ri-Keizen	李景善(臺灣)	愛知中		
Saitô-Hirosi	齋藤博(京都)	京都第一工		
Saitô-Seizô	齋藤清三(栃木)	宇都宮中		
Saitô-Sigeo	齋藤成夫(山形)	長岡工	卓球主事	
Satomi-Hogara	里見亮(靜岡)	豆陽中		
Sionoya-Takasi	鹽野谷陰(新潟)	三條中		
Tabusi-Saburô	田伏三郎(大阪)	四條畷中	水泳主事	
Takeda-Nobudi	武田信治(新潟)	高田中	弓道主事	
Tutumi-Syûsirô	堤周四郎(新潟)	新潟中		
Yamada-Tadasi	山田正(新潟)	新發田中	學級總代、校友會幹事	
Yamagisi-Hitosi	山岸均(埼玉)	神奈川縣工	講演主事	
Yamaguti-Hitosi	山口均(愛知)	尾張中		

電氣工學科第二學年 （36名）

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Abe-Busitirô	阿部武七郎(新潟)	專檢	
Edanami-Dyûtarô	枝並重太郎(新潟)	新潟中	
Hanami-Masadi	花見正治(福島)	喜多方中	
Harada-Masasuke	原田正助(山口)	山口中	
Hudimura-Tadasu	藤村董(香川)	多度津中	
Hudinaga-Daikiti	藤永大吉(廣島)	府中中	
Ikeda-Masanori	池田正憲(新潟)	柏崎中	
Ikehara-Suketosi	池原典利(愛媛)	西條中	
Imai-Katuhiko	今井勝彦(新潟)	俱知安中	
Isiduka-Sukehito	石塚資人(茨城)	畝傍中	
Isii-Hisasi	石井久(千葉)	長狹中	
Kamagami-Yosio	鎌上義男(山形)	村松中	

Karita-Syôzô	刈田韮藏(新潟)	長岡工		
Kasahara-Masazi	笠原昌次(長野)	諏訪中		
Kawai-Mituru	河合滿(愛知)	成章中		
Kazuma-Hiroe	風間弘衛(新潟)	三條中		
Kobayasi-Tuneo	小林恒夫(長野)	長野中		
Koike-Tosio	小池敏夫(長野)	長野中	學級總代	
Komoriya-Tosi	小森谷敏(埼玉)	粕壁中		
Maruyama-Takasige	丸山孝重(新潟)	高田中		
Mitumori-Kôkai	光盛耿介(兵庫)	龍野中		
Miyamori-Kenzô	宮森賢藏(福島)	會津中		
Murayama-Hidetosi	村山秀敏(新潟)	十日町中		
Natori-Norihumi	名取德文(福島)	立正中	卓球主事	
Ogawa-Toshihumi	小川敏文(新潟)	新發田中	學級總代	
Orimoto-Teruo	織本照雄(千葉)	成東中		
Simamura-Yasuo	島村靖雄(鳥取)	鳥取二中		
Suda-Syôiti	須田正一(新潟)	新潟中		
Suyama-Sukeo	陽山佑生(福岡)	中津中		
Suyama-Syôzaburô	陶山正三郎(新潟)	高田中		
Tanimura-Eiiti	谷村英一(富山)	富山中		
Tôgin-Mamoru	當銀護(新潟)	新潟中	音樂主事	
Usimaru-Masahisa	牛丸政久(富山)	富山中		
Uwazumi-Tomizô	上住富造(兵庫)	赤穗中		
Wakui-Kôzi	和久井晃二(新潟)	長岡中		
Yamaguti-Saburô	山口三郎(新潟)	村松中	籠球主事	

電氣工學科第一學年 （40名）

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Anetai-Sadanobu	姉帶定信(岩手)	大連二中	
Eguti-Saneyosi	江口眞良(佐賀)	佐賀中	
Gonda-Gorô	權田五郎(埼玉)	熊谷中	
Hirai-Tadao	平井忠男(富山)	神通中	

Hudita-Syôiti	藤田正一(和歌山)	北野中	
Hudiwara-Teruo	藤原輝男(兵庫)	茨木中	
Igarasi-Syôzô	五十嵐正三(栃木)	北野中	
Itô-Taturô	伊藤達郎(新潟)	村松中	學級總代
Kasai-Mikiharu	笠井幹治(新潟)	長岡中	
Kawaike-Kazuo	川池一夫(香川)	高松中	
Kitayama-Kiyosi	北山清(新潟)	高田中	
Kobayasi-Yutaka	小林裕(新潟)	東京九中	
Komori-Nobuo	小守信夫(滋賀)	住吉中	
Kusayanagi-Byûzô	草柳陸三(靜岡)	修猷館	
Mamine-Tarô	眞峰太郎(長野)	長野中	山岳主事
Manabe-Sukeo	眞鍋典男(香川)	三豐中	
Momoi-Hirosi	桃井弘(新潟)	平壤中	
Mukai-Kazu	向井熙(三重)	郡山中	
Nakamura-Masao	中村政雄(新潟)	開成中等	
Nisimura-Masanori	西村正典(大阪)	市岡中	
Obata-Hisazi	小幡久二(富山)	富山中	學級總代
Okabe-Tukasa	岡部司(愛媛)	西條農	
Omata-Sadao	小俣貞雄(富山)	富山中	
Ootani-Syûzô	大谷修三(新潟)	新潟中	
Saitô-Misao	齋藤節(新潟)	村松中	
Sakai-Yonekazu	坂井米一(新潟)	新潟中	
Sakamoto-Norimaru	坂本則圓(東京)	立教中	
Satô-Itirô	佐藤一郎(群馬)	澁川中	
Satô-Seiitirô	佐藤清一郎(新潟)	長岡中	
Senga-Masao	千賀正雄(京都)	高松中	
Sinohara-Akimoto	篠原紀元(新潟)	六日町中	
Sirakura-Sirô	白倉士郎(新潟)	卷中	
Sumi-Tosikata	鷲見俊賢(鳥取)	育英中	
Takeuti-Saburô	竹內三郎(千葉)	匝瑳中	
Terai-Kazumi	寺井和巳(三重)	桃山中	
Tuzimura-Minoru	辻村實(東京)	上宮中	

Ueki-Kô	植木恒(新潟)	高田中	
Umezawa-Tosie	梅澤利江(福島)	村松中	
Yamamoto-Kihati	山本喜八(宮崎)	宮崎中	
Yosimiya-Satio	好宮幸雄(山口)	岩國中	

機械工學科第三學年 (35名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Abe-Hideo	阿部英夫	(新潟)	長岡中	
Amagasu-Kenzi	天春健次	(三重)	芝中	
Gotô-Kiyosi	後藤潔	(大阪)	市岡中	
Hudimitu-Sin'iti	藤光眞一	(山口)	廣島工	
Hurutani-Zyôzi	古谷讓二	(德島)	市岡中	
Igarasi-Imatu	五十嵐威松	(新潟)	長岡中	
Igarasi-Masataka	五十嵐正隆	(東京)	澁川中	陸上競技主事
Imazeki-Hisao	今關久夫	(千葉)	長生中	
Itô-Osamu	伊藤整	(長野)	上田中	
Kawamura-Heisuke	川村平助	(新潟)	長岡中	
Kobasi-Kaoru	小橋馨	(奈良)	奈良中	庭球主事
Kosiba-Yosio	小柴芳男	(新潟)	長岡中	
Koyama-Muneo	小山宗雄	(長野)	專檢	
Maniwa-Syûzi	馬庭修二	(島根)	大田中	
Miyakawa-Yasuzirô	宮川安次郎	(神奈川)	川崎中	
Miyano-Nobuhiro	宮野信博	(東京)	東京八中	
Murohosi-Tutomu	室星務	(新潟)	長岡工	學級總代、校友會幹事
Nisio-Kiyosi	西尾淳	(滋賀)	堺中	
Nisiyama-Yosio	西山芳雄	(新潟)	長岡中	
Oosima-Kenkiti	大島健吉	(愛知)	豐橋中	
Oosima-Natuki	大島夏樹	(京都)	宮崎中	雜誌主事
Ootuka-Tukasa	大塚司	(福島)	喜多方中	
Owada-Iwao	小和田岩夫	(新潟)	新潟中	
Satô-Tomoyosi	佐藤知義	(新潟)	柏崎中	學級總代、校友會幹事

Satô-Uitirô	佐	藤	卯一郎(新潟)	長岡中
Soga-Sigeo	曾	我	茂 夫(新潟)	長岡中
Suzuki-Gohei	鈴	木	五 平(新潟)	六日町中
Takagi-Otomaro	高	木	乙 麿(東京)	立教中
Takahasi-Tatuiti	高	橋	立 一(新潟)	新潟中
Tamura-Akira	田	村	朗(新潟)	巻 中
Taniuti-Takeyosi	谷	内	武 義(東京)	日本大學中 スキー主事
Umeda-Haruo	梅	田	春 雄(愛知)	愛知縣工
Wanihuti-Sakae	鰐	淵	榮(新潟)	三條中
Yamada-Ryôhei	山	田	良 平(大阪)	岸和田中
Zimi-Seizi	自	見	清 次(大分)	愛知一中

機械工學科第二學年（38名）

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Aizawa-Huzio 相澤富士雄	(新潟)	長岡中	劍道主事
Harada-Saburô 原田三郎	(新潟)	三條中	
Hata-Urata 羽田浦太	(長野)	上田中	
Hosino-Matudi 星野松治	(新潟)	巻 中	
Hosoi-Minoru 細井實	(愛知)	岡崎中	
Hudii-Yôzi 藤井葉二	(新潟)	長岡中	
Hudimaki-Sakan 藤巻熾	(新潟)	高田中	相撲主事
Ikeda-Syû 池田修	(新潟)	柏崎中	
Imai-Syôzô 今井正三	(山形)	酒田中	
Kanao-Takuzô 金尾卓三	(岡山)	矢掛中	
Kawamura-Akira 川村明	(高知)	高知城東中	學級總代
Kinugawa-Seizaburô 衣川清三郎	(群馬)	富岡中	
Kitahara-Mituo 北原光男	(長野)	伊那中	
Koyama-Tosimitu 小山利光	(大阪)	鳳 中	
Kozima-Kenzô 小島建三	(新潟)	長岡中	
Kume-Masayuki 久米正幸	(愛媛)	甲陽中	
Mamiya-Yûzô 間宮雄三	(東京)	東京府立二中	

Masuko-Masami	益	子	正 巳(大阪)	北野中
Minami-Sigeru	南		茂(鹿兒島)	出水中
Misina-Ryôzi	三	品	良 二(岐阜)	武義中 野球主事
Miyati-Tinnosuke	宮	地	鎭之助(東京)	東京府立三中
Miyazawa-Masayasu	宮	澤	正 康(長野)	諏訪中
Miyazima-Raizi	宮	島	磊 次(新潟)	新潟中
Nagao-Osamu	長	尾	修(大阪)	茨木中
Nagura-Hyômasa	名	倉	兵 正(奈良)	畝傍中
Nedu-Sin'iti	根	津	眞 一(新潟)	長岡中
Nozima-Taturô	廼	島	辰 郎(新潟)	柏崎中
Saitô-Hisasi	齋	藤	久(新潟)	新潟中 水泳主事
Sidai-Zyunzaburô	司	代	淳三郎(群馬)	東京府立三中
Sinbo-Tôkiti	新	保	藤 吉(新潟)	長岡中
Sinka-Kenzi	新	家	健 司(大阪)	市岡中
Siraki-Tadao	白	木	忠 夫(岐阜)	熱田中
Takeuti-Ikuzô	竹	内	育 造(愛知)	半田中
Toba-Hirosi	鳥	羽	洋(新潟)	長岡中
Tuda-Hirotomo	津	田	廣 智(東京)	早稻田中
Wada-Sadao	和	田	禎 夫(新潟)	國士館中 學級總代、雜誌主事
Yamano-Yasusi	山	野	靖(佐賀)	佐賀中
Yosii-Takazi	吉	井	堯 二(福島)	安積中

機械工學科第一學年（40名）

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Aida-Masami 相田正巳	(新潟)	新潟中	
Akamatu-Hiidu 赤松秀	(高知)	城東中	
Gotô-Mitihide 後藤道秀	(兵庫)	伊丹中	
Hasegawa-Takuzi 長谷川卓示	(兵庫)	豐岡中	
Hirose-Kengo 廣瀨健吾	(宮崎)	釜山中	
Horie-Ryôsuke 堀江良介	(新潟)	長岡中	
Hukusima-Zirô 福島二郎	(埼玉)	松山中	

Inui-Masahiro	乾	昌弘(大阪)	今宮中	
Isiduka-Tomoyuki	石塚	友之(茨城)	畝傍中	
Isobe-Akira	磯部	旭(靜岡)	見付中	
Isse-Tokuzi	一瀬	德次(靜岡)	見付中	
Itô-Kazuo	伊藤	一雄(新潟)	新潟中	
Katô-Kôdi	加藤	幸治(新潟)	東京中	
Kiributi-Takesi	桐淵	健(群馬)	長岡中	
Komoro-Syûzi	小師	修司(新潟)	三條中	
Kozima-Takasi	小島	隆(新潟)	高田中	學級總代
Matuzono-Kazunori	松園	和典(長崎)	兵庫縣工	
Miyake-Kinzi	三宅	均二(京都)	京都三中	
Miyasaka-Kazue	宮坂	和衛(長野)	東京府立二中	
Nakamura-Ginzi	中村	銀次(新潟)	長岡中	學級總代
Nakamura-Takao	中村	孝夫(愛知)	豐橋中	
Norikane-Masaru	則包	賢(香川)	丸龜中	
Nozima-Ryôei	野島	良英(新潟)	三條中	
Ootaki-Tadao	大瀧	忠夫(山形)	鶴岡中	
Sigeno-Dyûzô	茂野	重藏(新潟)	新潟中	
Suhara-Masanori	須原	正典(三重)	神戸中	
Suzuki-Katuyosi	鈴木	勝義(長野)	長野中	
Takahasi-Iwao	高橋	巖(新潟)	新潟中	
Takeyama-Tosio	武山	敏夫(愛知)	小牧中	
Tawara-Hirosi	田原	弘(新潟)	長岡中	
Tesima-Nobuo	手島	信男(愛媛)	成城中	
Tomita-Minoru	富田	實(埼玉)	熊谷中	
Tyônobayasi-Masaei	蝶名林	正英(新潟)	三條中	
Ueda-Kiyosi	植田	清(千葉)	長狹中	
Ugai-Masarô	鵜飼	正郎(千葉)	熊谷中	
Usui-Ken'iti	臼井	虔一(新潟)	長岡中	
Utiyama-Takao	內山	隆夫(新潟)	高田中	
Yamane-Kôzi	山根	宏二(新潟)	新潟中	
Yasuda-Seidi	安田	整治(青森)	野邊地中	
Yosihara-Huzimatu	吉原	富士松(新潟)	專檢	

應用化學科第三學年 (36名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Aoyagi-Tatuzi	青柳達	二(新潟)	長岡中	
Hiraisi-Syûnzô	平石春	三(新潟)	長岡中	スキー主事
Honma-Yasusi	本間	泰(新潟)	釧路中	
Hudimura-Kôzô	藤村恒	造(滋賀)	彦根中	
Imai-Hitosi	今井	均(新潟)	新潟中	
Isikawa-Saburô	石川三	郎(群馬)	太田中	野球主事
Itô-Kiyosuke	伊藤清	輔(靜岡)	見付中	
Iwasaki-Kiyosi	岩崎	清(京都)	麻布中	
Kaisu-Kiyosi	貝洲	淳(兵庫)	第三神戸中	山岳主事
Kawana-Masaru	川名	勝(千葉)	安房中	
Kikkawa-Takesi	吉川武	四(東京)	東京化工	
Kinohara-Akira	木ノ原	明(廣島)	府中中	
Kobayasi-Tomizi	小林富	次(新潟)	六日町中	
Koide-Minoru	小出	實(新潟)	高田中	
Matuoka-Itirô	松岡一	良(岡山)	津山中	
Miyakawa-Zen'iti	宮川善	一(長野)	上田中	
Morita-Akihisa	森田彰	久(京都)	洲本中	
Moriyama-Matuo	森山松	夫(島根)	三條中	
Okada-Masayuki	岡田正	敬(鳥取)	高津中	蹴球主事
Okazaki-Isamu	岡崎	勇(岡山)	第二岡山中	
Satô-Heihati	佐藤平	八(新潟)	新潟中	
Seki-Hideo	關	英雄(新潟)	長岡中	
Simidu-Akira	清水	明(東京)	麻布中	
Tai-Hisaharu	田井久	晴(和歌山)	海草中	學級總代、校友會幹事
Takizawa-Kazuo	瀧澤一	夫(新潟)	卷中	美術主事
Tanaka-Zyun'iti	田中準	一(新潟)	長岡中	弓道主事
Teranisi-Yosikazu	寺西好	一(大阪)	茨木中	
Tikagawa-Takesi	近川	毅(東京)	東京府立六中	雜誌主事
Tutiya-Tomie	土屋富	衛(新潟)	卷中	
Wakuda-Yosikazu	和久田慶	種(愛媛)	西條中	相撲主事

Yamada-Yosio	山田芳男(兵庫)	尼崎中	
Yamaguti-Terutora	山口輝虎(新潟)	高田中	
Yamazaki-Tosio	山崎俊雄(新潟)	高田中	
Yosihara-Syûiti	吉原修一(東京)	宇治山田中	
Yosizawa-Zyun'iti	吉澤淳一(新潟)	小千谷中	學級總代、校友會幹事
Yuzawa-Takeo	湯澤武雄(新潟)	新潟中	相撲主事

應用化學科第二學年 (36名)

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Aoyagi-Reisirô	青柳禮四郎(新潟)	長岡中	
Hara-Hirosi	原弘(福岡)	修道中	
Hukumura-Masuo	福村勉郎(東京)	立教中	
Huruhasi-Masao	古橋正男(東京)	順天中	
Iida-Tutomu	飯田務(東京)	千葉中	
Ikeda-Yatuka	池田八束(岡山)	津山中	
Inaba-Kiyosi	稻葉清(新潟)	六日町中	
Isikawa-Kôdi	石川光治(石川)	金澤一中	
Itô-Masao	伊藤正夫(三重)	三重縣工	庭球主事
Kamiyama-Seiitirô	神山清一郎(新潟)	專檢	
Kanamori-Yosikazu	金森美和(長野)	松本二中	
Kasagi-Takasi	笠木孝(兵庫)	姬路中	
Kawai-Nobuo	河井信雄(宮城)	大連二中	
Kawamura-Zissaku	川村實作(新潟)	三條中	
Kikkawa-Tanenao	吉川種直(福島)	宇治山田中	
Kuramoto-Etunen	倉本悅年(兵庫)	第三神戶中	
Misima-Tadatosi	三島忠敏(三重)	東京府立六中	籠球主事
Miura-Keisuke	三浦啓佑(新潟)	長岡中	
Miura-Takeo	三浦武男(三重)	三重縣工	
Nagai-Yosikazu	長井芳一(新潟)	長岡中	
Nakatani-Moriya	中谷守也(和歌山)	海南中	
Nakazima-Yosinori	中島善典(新潟)	飯山中	

Oohasi-Satoru	大橋達(新潟)	長岡中	
Satô-Iturô	佐藤逸郎(富山)	富山中	
Sibasaki-Masao	芝崎正夫(群馬)	安房中	
Takahasi-Akira	高橋彰(富山)	高岡中	
Takeda-Masayuki	武田政幸(長野)	松本二中	柔道主事
Tuda-Yosinori	津田吉紀(大分)	中津中	
Tukui-Minoru	津久井實(栃木)	今市中	學級總代
Ueki-Iwao	植本磐(新潟)	柏崎中	
Watanabe-Tatuhei	渡邊辰平(新潟)	三條中	
Yamagisi-Ryôzi	山岸良司(新潟)	長岡中	學級總代
Yamaguti-Naoaki	山口直秋(新潟)	糸魚川中	美術主事
Yamamoto-Tatudi	山本辰治(千葉)	匝瑳中	
Yamasita-Syôzô	山下正三(新潟)	長岡中	
Yosida-Reiki	吉田禮紀(福島)	逗子開成中	

應用化學科第一學年 (40名)

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Araki-Yosio	新木芳男(新潟)	長岡中	
Goi-Yosiya	五井美哉(新潟)	長岡中	
Hasegawa-Seizi:ô	長谷川清次郎(京都)	京都二中	
Hasegawa-Syôzi	長谷川正次(新潟)	村松中	
Hukatu-Kôiti	深津皓一(靜岡)	東京府立九中	
Hukusima-Masatosi	福島昌俊(北海道)	新潟中	
Imai-Seisaku	今井誠作(新潟)	長岡中	
Katô-Taturô	加藤達郎(埼玉)	第二東京市立中	
Kawakami-Sadao	川上貞夫(新潟)	長岡中	
Kawamura-Seizi	川村誠司(新潟)	高田中	
Kobayasi-Hisasi	小林悠(東京)	京華中	
Kobayasi-Ituo	小林五夫(新潟)	長岡中	
Maki-Sin'iti	牧眞一(東京)	東京府立二中	
Marusima-Yosio	丸島良夫(千葉)	千葉中	

Maruta-Hiromi	丸 田 裕 美(長野)	長野中	
Maruyama-Kazuo	丸 山 一 雄(新潟)	長岡中	
Masima-Kyûnosuke	眞 島 久之助(山形)	鶴岡中	
Masuda-Syôkiti	增 田 庄 吉(神奈川)	横濱三中	
Matumoto-Hirokiti	松 本 博 吉(埼玉)	熊谷中	
Matunami-Motoiti	松 南 元 一(鳥取)	大分中	
Morita-Minoru	森 田 稔(岡山)	第二岡山中	
Murayama-Susumu	村 山 進(新潟)	柏崎中	
Nakamura-Hirosi	中 村 裕(群馬)	太田中	
Nakazawa-Minoru	中 澤 實(神奈川)	關東學院中	
Nisioka-Daizaburô	西 岡 大三郎(熊本)	堺 中	
Noda-Katuhiko	野 田 勝 彦(高知)	高知城東中	
Nomura-Humio	野 村 二三夫(岐阜)	大垣中	
Saitô-Noboru	齋 藤 昇(栃木)	宇都宮中	
Sakabe-Sigemoto	坂 部 重 基(山形)	鶴岡中	
Simidu-Teisuke	清 水 貞 輔(新潟)	山形中	
Sirai-Rokurô	白 井 六 郎(北海道)	函館中	
Sugano-Eizirô	菅 野 英二郎(東京)	東京府立九中	
Suzuki-Masando	鈴 木 正 人(新潟)	村松中	
Takano-Noboru	高 野 登(新潟)	新潟中	學級總代
Tanaka-Tadao	田 中 忠 男(新潟)	有恒學舍	
Tomioka-Syôzi	富 岳 庄 二(新潟)	糸魚川中	
Torii-Narimiti	鳥 居 成 道(長野)	諏訪中	
Watanabe-Zyuntarô	渡 邊 準太郎(新潟)	小千谷中	學級總代
Yahata-Naonobu	八 幡 直 信(熊本)	宇土中	
Yamamoto-Wataru	山 本 亘(石川)	京城工	

2. 卒業者氏名（ABC順）

電氣工學科

第一回卒業者（34名）昭和二年三月

Asano-Zirô	淺 野 次 郎(福島)	日本海電氣株式會社	
Hirayama-Mitio	平 山 道 男(新潟)	西本組京城支店	
Hiroi-Saburô	廣 井 左武郎(新潟)（小川ト改姓）	新潟電力株式會社	
Honmô-Tosiie	本 望 利 家(新潟)	山陽水力電氣株式會社	
Hosino-Motoi	星 野 基(新潟)	東京横濱電鐵株式會社	
Hudita-Sukezirô	藤 田 助二郎(新潟)	東京逓信局電氣課	
Hudita-Teizi	藤 田 悌 二(新潟)	日本製鐵株式會社	
Igarasi-Nirô	五十嵐 二 郎(新潟)	大北工業株式會社	
Kadimoto-Matuzi	梶 本 松 次(廣島)	昭和自動車株式會社	
Karita-Tôitirô	刈 田 藤一郎(新潟)	帝國精密工業株式會社	
Kase-Tasuke	嘉 瀨 太 資(新潟)	倉敷絹織株式會社	
Kawamura-Katuhei	川 村 勝 平(新潟)	死 亡	
Kimura-Teizi	木 村 貞 司(新潟)	長野縣警察部保安課	
Kobayasi-Hirosi	小 林 博(新潟)	陸軍通信學校研究部	
Mano-Bunsaku	間 野 文 作(新潟)	北越水力電氣株式會社	
Maruyama-Susumu	丸 山 進(新潟)	長津江水電株式會社	
Matutani-Syôzi	松 谷 庄 次(富山)	日本電力株式會社	
Matuura-Ikuzô	松 浦 幾 造(秋田)	北海道電燈株式會社	
Minagawa-Hirosi	皆 川 弘(新潟)	新潟電力株式會社	
Mori-Kendi	盛 健 治(青森)	中央電氣株式會社	
Moriya-Tarô	森 谷 太 郎(群馬)	東京工業大學窯業科研究科	
Motoyama-Tadanobu	本 山 忠 信(新潟)	志久見川電力株式會社	
Nagakura-Eizô	永 倉 榮 三(宮城)	仙臺市角五郎町	
Natui-Tamesige	夏 井 爲 茂(愛媛)	京阪電氣鐵道株式會社	
Saitô-Kin'iti	齋 藤 金 一(新潟)	新潟電力株式會社	

Sano-Tamotu	佐野　保(新潟)	金澤電氣軌道株式會社
Sekikawa-Kôtarô	關川浩太郎(新潟)	函館市立商工青年學校
Sekikawa-Seiiti	關川精一(新潟) (間藤ト改姓)	村上水力電氣株式會社
Takeisi-Tôdi	武石逗治(新潟)	遞信省電氣局
Takeuti-Tutomu	竹内　功(東京)	遞信省電氣試驗所第五部
Tanaka-Kôhei	田中康平(新潟)	新潟縣中頸城郡旭村
Tukamoto-Takeo	塚本武夫(新潟)	增澤商店
Yamamoto-Sôtarô	山本莊太郎(新潟)	日本電氣株式會社
Yosioka-Kazuo	吉岡一雄(富山)	富山縣警察部保安課

第二回卒業者（28名）昭和三年三月

Aoyagi-Monsiti	青柳紋七(新潟)	新潟縣立新發田商業學校
Hanawa-Yosio	塙　義雄(茨城)	理化學研究所
Honma-Kôiti	本間孝一(新潟)	京阪電氣鐵道株式會社
Hosino-Nobuo	星野信夫(新潟) (内山ト改姓)	岩船港修築事務所
Hukuda-Hideo	福田秀夫(栃木)	鐵道省官房研究所大井分室
Inada-Humio	稻田文雄(富山)	富山縣電氣局
Kaidu-Sin'ei	海津信衛(新潟)	中央度量衡器檢定所大阪支所
Kanayama-Hideo	金山秀雄(新潟)	東京鐵道局電氣課
Kimura-Sigeo	木村重雄(新潟)	北越水力電氣株式會社
Kitamura-Kôtoku	北村孝德(長野)	上總電氣株式會社
Moriyama-Hiromu	森山　擴(新潟)	京都市電氣局營業課
Murayama-Saburô	村山三郎(新潟)	日立製作所東京本社
Nisiyama-Nisaburô	西山二三郎(新潟)	日本海電氣株式會社
Nisizawa-Heiitirô	西澤平一郎(新潟)	北海水力電氣株式會社
Nomoto-Matusiti	野本松七(新潟)	死　亡
Oda-Seizi	小田正二(新潟)	鐵道省電氣局電化課
Oda-Syôroku	小田莊六(新潟)	新潟縣警察部保安課
Oda-Tokunosuke	小田德之助(新潟)	日本電報通信社福岡支局
Oosima-Kenzô	大島健三(新潟)	仙臺鐵道局青森驛通信區

Ootuka-Tamekiti	大塚爲吉(新潟)	京都電燈株式會社福井支社
Sirai-Takesi	白井　武(新潟) (青木ト改姓)	新潟縣立長岡工業學校
Suzuki-Iwao	鈴木岩雄(新潟) (河田ト改姓)	新潟電力株式會社
Takahasi-Tunezi	高橋恒次(新潟)	新潟電力株式會社
Taniuti-Tyûtarô	谷内忠太郎(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Tatikawa-Masazi	太刀川正二(新潟)	北越水力電氣株式會社
Watanabe-Hideo	渡邊秀男(新潟)	日本石油株式會社石脇工場
Yamaguti-Masamori	山口正盛(長野) (石井ト改姓)	中央電氣株式會社松本支社
Yosimura-Seizirô	吉村清次郎(長野)	樺太電氣株式會社

第三回卒業者（37名）昭和四年三月

Ban-Tunesaku	伴　常作(新潟)	大同電力株式會社古川橋保線區
Bôzyô-Tadao	坊上忠雄(香川)	四國水力電氣株式會社
Daikôzi-Masami	大光寺正見(岩手)	札幌遞信局
Hasegawa-Tosio	長谷川俊雄(新潟)	日立製作所大連支社
Hirose-Syunzi	廣瀨俊司(新潟)	黒部川電力株式會社
Itô-Keiiti	伊藤敬一(新潟)	東信電氣株式會社西窪變電所
Kanbe-Tadasi	神戸　正(新潟)	東信電氣株式會社高瀨川第五發電所
Kawasima-Kôhei	川島康平(新潟)	陸軍通信學校研究部
Kimura-Nobuzi	木村信次(靜岡)	東洋計器製作所
Kizima-Nisaku	木島仁策(新潟) (正次郎ト改名)	南滿洲鐵道株式會社奉天保線事務所
Kuriyama-Kiyosi	栗山　潔(兵庫)	川崎造船所
Maezawa-Atusi	前澤　篤(新潟) (多川ト改姓)	川崎造船所
Matui-Tosio	松井敏夫(福岡)	南滿洲鐵道株式會社建設局
Matukawa-Sinya	松川申也(新潟)	新潟縣立長岡高等女學校
Minemura-Risuke	峰村利助(新潟)	日本曹達株式會社二本木工場
Murata-Sigetami	村田茂民(岡山)	中國合同電氣株式會社
Oka-Syôgorô	岡　正午郎(新潟)	日本光學工業株式會社

Ooti-Hirosi	大智　浩(岡山)	東京美術學校工藝科
Cowada-Moritane	大和田盛胤(秋田)	富山縣電氣局中地山發電所
Otiai-Isamu	落合　勇(靜岡)	川崎造船所製飯工場
Saitô-Tadasi	齋藤　征(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Saitô-Yû	齋藤　勇(新潟)	本校圖書課
Sakai-Mazaemon	酒井間左工門(富山)	川北電氣土木株式會社
Sakurai-Sin'itirô	櫻井新一郎(新潟)	遞信省電氣試驗所第三部
Satô-Hideo	佐藤秀男(新潟)	東武鐵道株式會社
Satô-Susumu	佐藤　晋(群馬)	大阪市立都島工業學校
Seki-Kanae	關　香苗(新潟)	芝浦製作所技術調査部特許係
Takahasi-Yosio	高橋芳雄(新潟)	仙臺鐵道局
Takeuti-Syôzi	竹內昇司(新潟)	新潟電力株式會社
Tanaka-Yosio	田中芳夫(靜岡)	死　亡
Taneoka-Kunitake	種岡國威(新潟) (前川ト改姓)	陸軍技術本部第一部測機班
Tatiiri-Minoru	建入　實(新潟)	シダル商會(大阪)
Tuboya-Zenzaburô	坪谷善三郎(新潟)	電機工業株式會社
Wasio-Seidi	鷲尾靜治(新潟) (小林ト改姓)	イーデル商會
Yamaguti-Hirosi	山口　宏(新潟)	東京鐵道局
Yamasita-Humio	山下文雄(新潟)	小寺電氣商會(東京)
Yosida-Yosiharu	吉田義治(新潟)	理研ピストンリング株式會社柏崎工場

第四回卒業者（33名）昭和五年三月

Arai-Zen'iti	荒井善一(新潟)	富士無線電機株式會社
Hanamura-Sueiti	花村末市(長野)	東信電氣株式會社
Hasidate-Takeo	橋立武夫(新潟)	東京鐵道局電氣課
Hibi-Yasu	日比　保(愛知)	德島放送局
Hosoya-Kenzô	細谷謙三(新潟)	川崎市立工業學校
Imai-Kisuke	今井喜助(大阪)	琴平參宮電鐵株式會社
Imai-Wasaburô	今井和三郎(富山)	日本電力株式會社
Iyama-Sigesaburô	井山重三郎(山形) (須藤ト改姓)	日本ボリドール蓄音機商會

Kabasawa-Yosiharu	桃澤義治(新潟)	阪本特許事務所
Kaneko-Makoto	金子　誠(新潟)	北越水力電氣株式會社六日市變電所
Kobayasi-Sôsaku	小林惣作(新潟)	富山縣高岡工藝學校
Kôno-Sintarô	河野新太郎(兵庫)	(自營)電機製作所
Kuduna-Yutaka	久津名　裕(福島)	島根縣簸川郡今市町653
Matukawa-Kiyosi	松川　潔(新潟)	秋田鑛山專門學校勤務
Minagawa-Tunezi	皆川恒次(新潟)	新潟電氣鐵道株式會社
Morohasi-Kinzirô	諸橋金次郎(北海道)	富士電力株式會社
Morohasi-Yasusi	諸橋　仁(新潟)	新潟縣南蒲原郡今町
Nisiyama-Syôgorô	西山正五郎(新潟)	東京電燈株式會社
Nisizawa-Kurô	西澤九郎(長野)	東京鐵道局厩變電所
Nonaka-Isamu	野中　勇(新潟)	京王無線電機商會
Oguma-Mineo	小熊三子夫(新潟)	金澤市立工科學校
Okamura-Kenzô	岡村謙藏(新潟)	東京電氣局赤坂建設所
Oomura-Masaya	大村正也(兵庫)	福井放送局
Sakai-Syôiti	堺　省一(新潟)	丸新製油所
Sugiura-Rikiti	杉浦利吉(愛知)	東京瓦斯電氣工業株式會社
Takagi-Sueo	高木末夫(兵庫)	池浦無線電機商會
Takahasi-Seimatu	高橋清松(新潟)	京王無線電機商會
Tatara-Sigeo	多田羅繁雄(香川)	明昭電機株式會社
Toya-Syûkiti	戶谷周吉(埼玉)	死　亡
Tukano-Ikusa	塚野　軍(新潟)	死　亡
Uehara-Zenzirô	上原善二郎(鳥取)	アサヒ蓄音機商會
Uranisi-Siduoki	浦西賤起(奈良)	杉浦電機製作所
Zinbo-Kaoru	神保　馨(新潟)	仙臺遞信局工務課新潟出張所

第五回卒業者（36名）昭和六年三月

Hasegawa-Keikiti	長谷川啓吉(新潟)	北越水力電氣會社禮拜變電所
Hasegawa-Satosi	長谷川　敏(新潟)	宮城縣電氣局
Hayasi-Singo	林　眞悟(愛知)	日本碍子株式會社
Hinata-Yukinao	日向幸直(石川)	金澤放送局

Hirayama-Morie	平山守江(福島)	福島電燈株式會社
Hosaka-Keitarô	保阪敬太郎(京都)	滿洲電信電話株式會社
Hotta-Kiyosi	堀田清(新潟)	(自營)長岡市上田町
Hudita-Sirô	藤田四郎(山口)	山口縣阿武郡大井村
Iimuro-Makoto	飯室誠(山梨)	甲府電力株式會社
Isizaka-Sôkiti	石坂壯吉(新潟)	橫濱商店
Irisawa-Kenzô	入澤健三(新潟)	東京無線電機株式會社
Kaneko-Kiyosi	金子清(新潟)	蒲原鐵道株式會社
Katô-Masazi	加藤政司(新潟)	千葉縣津田沼町
Kita-Ryôkiti	喜多亮吉(石川)	金澤市水道局電氣課
Kitagata-Yositomo	北形義友(石川)	金澤電氣軌道株式會社
Maezawa-Osamu	前澤治(富山)	富山縣電氣局眞川發電所
Makino-Sinobu	牧野信夫(鳥取)	英弘商會
Miyake-Hirosi	三宅廣(京都)	大阪市住吉區田邊本町733 二見方
Miyao-Masao	宮尾政雄(新潟)	メトロ電球株式會社
Mori-Sigeharu	森滋治(富山)	天滿紡績株式會社笹津工場
Niida-Yukio	新井田幸男(福島)	金門金屬工業所
Okazaki-Kanae	岡崎鼎(山口)	吳海軍工廠
Sakadume-Tetuzi	坂爪徹次(新潟)	北越製紙株式會社新潟工場
Seo-Tetuzirô	瀨尾哲二郎(兵庫)	中國電氣株式會社
Sudô-Syûgo	須藤修五(群馬)	長野放送局
Sudô-Yosiaki	須藤良明(新潟)	福島電燈株式會社
Susuki-Tadakazu	須々木忠一(岡山)	日本電氣工業株式會社
Suzuki-Sigeo	鈴木重雄(新潟)	長野放送局
Takahasi-Motomatu	高橋元松(新潟)	勇拂電燈株式會社
Takeda-Sin'itirô	武田信一郎(新潟)	東京電燈株式會社
Tanaka-Hideo	田中秀雄(新潟)	大阪電氣株式會社
Tanaka-Sigeru	田中茂(新潟)	仙臺鐵道局新津通信區
Tutida-Ikurô	土田郁郎(京都)	松下電器製作所
Yamamiya-Ikuya	山宮郁彌(新潟)	遞信省電氣試驗所
Yanagisawa-Tokisirô	柳澤土岐四郎(長野)	東信電氣株式會社
Yanase-Sigetosi	柳瀨茂敏(富山)	富山縣電氣局

第六回卒業者（33名）昭和七年三月

Adati-Rokurô	足立六郎(鳥取)	太洋自動車株式會社
Akimoto-Sigeru	秋本茂(山口)	大阪中央放送局
Hanyûda-Hirosi	羽生田博(長野)	長野電燈株式會社
Hasegawa-Masaki.	長谷川政喜(長野)	合資會社三洋商會
Hayasi-Kiyosi	林清(大阪)	東京工業大學電氣工學科在學
Horie-Masao	堀江政雄(新潟)	日本放送協會技術研究所
Hudiyosi-Sakio	藤吉鉾夫(岐阜)	豐田織機株式會社
Ikenaga-Masahiko	池永政彦(和歌山)	南海鐵道株式會社
Inoue-Hideo	井上英雄(香川)	香川縣綾歌郡坂出町
Inoue-Kwanta	井上寬太(香川)	大阪帝國大學機械工學科在學
Iwata-Nobutarô	岩田信太郎(群馬)	橫須賀海軍工廠機雷實驗部
Kaneda-Tosio	金田敏男(山口)	山口縣電氣局工務課
Kawasaki-Tomomasa	川崎友正(大阪)	岸和田紡績株式會社
Kawasima-Seigo	川島省吾(大阪)	日本電氣株式會社
Kobayasi-Kihati	小林季八(新潟)	日立製作所日立工場
Kuroda-Sigenori	黑田茂則(兵庫)	死亡
Kusaka-Kazuo	日下和夫(岡山)	鹿島遞信局津山局
Murayama-Hirosi	村山浩(新潟)	東信電氣株式會社
Nakagawa-Tatuo	中川達雄(靜岡)	海軍經政本部第二部
Nakano-Seisaku	中野清作(新潟)	共同電氣株式會社
Nobe-Tadaaki	野邊忠明(埼玉)	海軍技術研究部
Noda-Isao	野田勳(新潟)	新潟電力株式會社
Nozima-Hatirô	迺島八郎(新潟)	日本鋼管株式會社
Oohasi-Gorô	大橋五郎(新潟)	北越製紙株式會社
Onisi-Hideyuki	大西秀之(香川)	大阪鐵工所因島工場
Oota-Saburô	太田三郎(埼玉)	死亡
Satô-Yosiya	佐藤義也(新潟)	名古屋放送局
Simidu-Toyokiti	清水豐吉(山口)	昭和製鋼所
Tanaka-Yasumasa	田中泰正(新潟)	山武商會
Ueki-Itimatu	植木市松(新潟)	東京計器製作所研究部
Yamane-Kenzirô	山根憲次郎(鳥取)	臺灣總督府交通局

Yosikawa-Asadi　吉川朝治(奈良)　松下電器製作所
Yuiyama-Nobutosi　唯山信利(北海道)北海道苫小牧工業學校

昭和七年四月卒業者　(1名)

Otiyama-Hirosi　落山弘(兵庫)　兵庫縣立工業學校
(松井ト改姓)

第七回卒業者　(31名)　昭和八年三月

Abe-Takeo　阿部武夫(新潟)　商工省特許局
Amari-Genya　甘利源彌(長野)　東信電氣株式會社
Aoyagi-Syôzi　青柳正二(新潟)　安立電氣株式會社
Hayano-Mituo　早野三夫(岐阜)　金城鑿岩機製造株式會社
Isizaka-Sitirô　石坂七郎(新潟)　富永鑛業會社尼崎工場
Iwasaki-Yositaka　岩崎美孝(東京)　札幌鐵道局
Katô-Bunzi　加藤文司(新潟)　明昭電機株式會社
Kimura-Yosikatu　木村淑克(新潟)　朝鮮鐵道局大田電氣區
Kobayasi-Gunzi　小林郡次(大阪)　南海鐵道株式會社
Kondô-Hidezirô　近藤秀次郎(鳥取)　廣瀨電氣鐵道株式會社
Matuzaki-Mutudi　松崎睦治(新潟)　新潟製氷株式會社
Morimoto-Seiiti　盛本清一(富山)　立山水力電氣株式會社
Muraki-Yosio　村木由夫(新潟)　日立製作所日立工場
Nagasaka-Sotozi　長坂外次(富山)　日本海電氣株式會社
Nakagawa-Yûzô　中川勇三(新潟)　東京遞信局東京電話區
Oda-Isinosuke　織田石之助(愛媛)　廣島放送局
Oda-Sei　小田鉦(愛知)　長野縣上田市南天神町
Okamoto-Sigeru　岡本茂(三重)　大阪鐵道局保線事務所
Oonisi-Mituo　大西滿男(山口)　昭和製鋼所
Saitô-Seigi　齋藤正義(新潟)　大日本電力株式會社旭川事務所
Simakage-Hideo　島影秀夫(福島)　東部電力株式會社郡山支店
Suzuki-Tokiya　鈴木時哉(新潟)　關西共同火力發電株式會社
Takano-Masao　高野正夫(新潟)　新潟電氣工業株式會社

Tubone-Yosio　坪根芳雄(長野)　日本無線電信電話株式會社
Ueki-Kusaburô　植木九三郎(新潟)　英工舍(東京)
Usuda-Masazi　臼田正二(富山)　富山縣電氣局
Yago-Tosikazu　矢後俊三(富山)　富山縣電氣局
Yamada-Saburô　山田三郎(福井)　南滿洲鐵道株式會社
Yamamura-Yutaka　山村豊(鳥取)　大阪帝國大學工學部在學
Yanagawa-Kiyosi　柳川清(北海道)陸軍通信學校
Yokote-Mituo　橫手光雄(和歌山)川崎造船所

第八回卒業者　(36名)　昭和九年三月

Doi-Kiyomi　土居清美(高知)　滿洲國奉天加藤町6
Hasegawa-Hazime　長谷川一(兵庫)　南滿洲鐵道株式會社
Hasidate-Isamu　橋立勇(新潟)　橫川電機株式會社
Hosomi-Keiô　細見圭翁(京都)　牧田製作所
Kakino-Isao　垣野亥三男(三重)　東京市電氣研究所
Katada-Susumu　片田進(新潟)　電機工業株式會社
Katô-Takanobu　加藤孝信(富山)　富山縣電氣局
Kawasima-Syôzô　川島正三(新潟)　東京電氣株式會社
Kittaka-Nobuo　橘高信夫(廣島)　芝浦製作所
Kondô-Tadasi　近藤禎(新潟)　大阪鐵道局電氣課
Kunihara-Yosio　國原芳夫(石川)　日本海電氣株式會社
Kuwada-Hirosi　桑田弘(廣島)　日本電池株式會社
Maeda-Kiyosi　前田清(三重)　總島放送局
Matubara-Ryôzô　松原了三(新潟)　大阪電氣株式會社
Matui-Syunpei　松井俊平(新潟)　札幌鐵道局
Matuzaki-Seisaku　松崎清作(新潟)　芝浦製作所鶴見工場
Miduno-Syôitirô　水野正一郎(東京)　日本信號株式會社大森工場
Nakai-Katutosi　中井勝利(富山)　日本海電氣株式會社
Nakamura-Takeya　中村健也(兵庫)　共立自動車製作所
Nidaira-Masahumi　仁平正文(茨城)　延禧放送所(朝鮮)
Nisioka-Hirosi　西岡博(三重)　南滿洲鐵道株式會社

Cono-Rokurô	大野六郎(新潟)	東京道鐵局	
Saitô-Takasi	齋藤　健(新潟)	日立製作所日立工場	
Sakakura-Yotarô	坂倉與太郎(三重)	三重縣三重郡楠村	
Suzuki-Masaki	鈴木正材(愛媛)	日本電力株式會社	
Takahasi-Takatosi	高橋隆甫(新潟)	理研ヒストンリング株式會社	
Takahasi-Tosio	高橋敏雄(新潟)	北越製紙株式會社	
Takeuti-Takasi	竹内　孝(新潟)	芝浦製作所	
Tanaka-Mutuo	田中睦夫(鹿兒島)	門司鐵道局	
Taniguti-Hisao	谷口久夫(東京)	本校電氣教室	
Tuboya-Tosio	坪谷敏雄(新潟)	仙臺鐵道局	
	(家村ト改姓)		
Watanabe-Etuzi	渡邊悅二(新潟)	滿洲電信電話株式會社	
Watanabe-Minoru	渡邊　實(愛知)	名古屋市中區南大津町	
Yai-Takeo	屋井武雄(新潟)	東京中央電話局	
Yanagi-Syôzi	柳　正司(新潟)	南滿洲鐵道株式會社	
Yosida-Takeo	吉田武夫(德島)	大阪市電氣局	

第九回卒業者（32名）昭和十年三月

Aizawa-Etuo	相澤悅夫(新潟)	東京鐵道局	
Akamatu-Tosio	赤松敏夫(香川)	香川縣仲多度郡高篠村	
Awadi-Tosinori	淡路俊德(新潟)	落石無線電信局送信所	
Hattori-Tadasi	服部　正(新潟)	東京無線電信局檢見川送信所	
Hirokawa-Kazuo	廣川一男(新潟)	吳海軍工廠電氣部	
Hosoya-Kazuo	細谷和夫(新潟)	吳海軍工廠電氣部	
Hudita-Masarô	藤田政郎(滋賀)	大阪市住吉區天王寺町文ノ里3248	
Hudita-Tomio	藤田十三男(新潟)	三菱鑛業株式會社	
Itô-Ken'iti	伊藤健一(三重)	京都電燈株式會社	
Kamohara-Kyôsaku	蒲原强作(佐賀)	日本電力株式會社	
Kanda-Matuo	神田松雄(新潟)	南滿洲鐵道株式會社	
Kaneko-Susumu	金子　丞(新潟)	北海道帝國大學理學部在學	
Kaneko-Tadasu	金子　尹(新潟)	鐘淵紡績株式會社	

Katayama-Torao	片山寅雄(香川)	日立製作所日立工場	
Kiribayasi-Hisao	桐林久雄(鳥取)	滿洲電業株式會社	
Matida-Kikuo	町田喜久雄(三重)	海軍航空廠	
Miduno-Takesuke	水野武助(岐阜)	神戸電機製作所	
Miya-Ken'iti	宮　憲一(新潟)	日本無線電信株式會社	
Miyabe-Kinzi	宮部金司(愛知)	富士電機製造株式會社	
Miyata-Yûzi	宮田佑二(富山)	芝浦製作所	
Murano-Kiroku	村野木六(靜岡)	上毛電力株式會社	
Nisimaki-Masao	西卷正郎(新潟)	東京工業大學物理學教室勤務	
Nozawa-Kihei	野澤喜平(新潟)	日立製作所本社	
Saitô-Bundi	齋藤文治(群馬)	高崎市柳川町乙120	
Satô-Humio	佐藤文男(新潟)	理研ヒストンリング株式會社	
Suzuki-Seisi	鈴木清司(新潟)	南滿洲鐵道株式會社	
Taga-Tamizô	多賀太美藏(石川)	石川縣石川郡戸板村長田	
Takebayasi-Syôei	竹林正榮(新潟)	杉浦電機製作所	
Ueki-Zensaku	植木善策(新潟)	後藤風雲堂(東京)	
	(高橋ト改姓)		
Watanabe-Hisasi	渡邊　恒(新潟)	日本製鐵株式會社	
Yamaguti-Kisiti	山口毅七(新潟)	昭和肥料株式會社	
Siono-Kiyosi	鹽野　清(石川)	金澤市英町	

機械工學科

第一回卒業者（22名）昭和二年三月

Abe-Eisuke	阿部永介(新潟)	齋製作所	
Aoyama-Hirosi	青山　浩(新潟)	新潟縣警察部	
Hirata-Kyôhei	平田喬平(群馬)	群馬縣佐波郡伊奧久	
Isihara-Hironobu	平原博陳(東京)	大阪汽車製造株式會社	
Katô-Kaizi	加藤海兒(東京)	死　亡	
Katô-Yosio	加藤良男(新潟)	臺灣總督府交通局鐵道部高雄工場	

Kobayasi-Masahumi	小林正文(長野)	長野市横澤町15
Kondô-Gorô	近藤悟郎(新潟)（大谷ト改姓）	日本製粉株式會社横濱工場
Kuroda-Kiyosi	黒田清(新潟)	新潟鐵工所長岡分工場
Miyazaki-Kôzô	宮崎宏藏(新潟)	新潟縣農業試驗所
Murayama-Yosio	村山芳男(新潟)	神戸製鋼所播摩造船工場
Nagai-Katuzi	永井勝二(新潟)	川崎造船所
Nagasaka-Tetuo	長坂鐵男(富山)	磯々商店
Nakaso-Tosinosuke	中曾敏之助(愛知)	長岡鐵工所
Nakayama-Sakuhei	中山作平(新潟)	鐵道省大井工場
Ogawa-Kendi	小川賢治(新潟)	鐵道大臣官房研究所
Okui-Yosie	奥井義衛(島根)	川崎造船所飛行機部
Oosima-Zenkiti	大島善吉(新潟)	神戸製鋼所
Satô-Ryôzi	佐藤亮二(新潟)（坪井ト改姓）	津上製作所
Tikaraisi-Masami	力石誠身(新潟)	池田工業事務所
Yoden-Kidyû	余田喜重(兵庫)	農林省農業試驗所
Yosikosi-Seidi	吉越清治(新潟)	東京鐵道局品川機關車

第二回卒業者（28名）昭和三年三月

Aikawa-Sumio	相川澄雄(群馬)	東海鉛管株式會社
Arai-Tatuo	新井達雄(新潟)	鐵道大臣官房研究所大井分室
Hanyû-Isamu	羽入勇(新潟)	陸軍技術本部
Hara-Kenzi	原健二(新潟)	死亡
Hasegawa-Kazuo	長谷川一男(新潟)	日本石油株式會社
Hosino-Itiya	星野一也(新潟)	理研ヒストンリング株式會社柏崎工場
Kanie-Hyôiti	蟹江兵一(愛知)	東京市豊島區高田町雜司ヶ谷町622
Kaneko-Humio	金子文雄(新潟)（德田ト改姓）	神戸製鋼所
Kasima-Syôgo	鹿島省吾(千葉)	岩崎レール商會月島工場
Kobayasi-Masanao	小林正直(新潟)	東京鐵道局千葉運輸事務所
Kobayasi-Torao	小林虎雄(新潟)	海軍航空本部技術部

Komagata-Ryôsaku	駒形良作(新潟)（守勇ト改名）	死亡
Minagawa-Kibisi	皆川毅(新潟)	理化學興業株式會社
Murakami-Tetuo	村上哲男(愛媛)	大阪鐵工所因島工場
Nakayama-Bungo	中山文吾(新潟)	新潟縣中蒲原郡亀田町早通
Nisiki-Seisaku	西木晴策(新潟)	(自營)製紙工場
Oka-Kunio	岡九二男(新潟)	難波鐵工所
Oosaki-Tadao	大崎忠男(新潟)	横須賀海軍工廠
Cota-Nobusige	太田信重(新潟)	陸軍通信學校
Sakai-Masao	阪井政夫(大阪)	大阪市電氣局
Sanemasa-Yosiharu	實政義治(廣島)	日東セメント會社
Simaoka-Heizô	島岡平藏(新潟)	新潟縣立高田商工學校
Simoda-Sinzi	下田信次(新潟)	(自營)長岡市宮原町
Sugai-Gorô	須貝五郎(新潟)（小林ト改姓）	新潟縣耕地整理排水改良事務所
Takahasi-Tokusaburô	高橋德三郎(新潟)	仙臺鐵道局工作課
Takai-Sinsuke	高井進介(栃木)（野中ト改姓）	測機舍製作所
Takeuti-Takezi	武内武司(新潟)	扶桑鋼業株式會社
Tanabe-Denzô	田邊傳三(新潟)	死亡

第三回卒業者（28名）昭和四年三月

Abe-Itirô	阿部一郎(岩手)	海軍航空廠飛行機部
Aoki-Zyun'nosuke	青木順之助(埼玉)（和田ト改姓）	大阪瓦斯株式會社
Beppu-Sigeki	別府滋樹(長野)	日本電氣工業株式會社大町工場
Hara-Sirô	原四郎(福島)	日本電氣工業株式會社横濱工場
Hasegawa-Teruo	長谷川光雄(埼玉)	王子製糸株式會社眞岡工場
Horita-Keizô	堀田啓三(富山)	大友ヒストンリング製作所
Hudii-Rinzô	藤井林藏(富山)	不二越鋼材株式會社
Imoto-Kwandyû	井本寛重(島根)	死亡
Kanayama-Sirosi	金山皓(新潟)	東京計器製作所
Kaneko-Sirôai	金子四郎治(群馬)	三榮精機製作所

Kanzô-Nobuo	神藏信雄(新潟)	愛知時計電機株式會社
Kawamura-Susumu	川村晉(高知)	臺灣瓦斯株式會社
Kimura-Hideo	木村秀雄(新潟)	川崎造船所
Kin-Kensyô	金賢燮(朝鮮)	朝鮮大同警察署
Koike-Sirô	小池四郎(福島)	加藤製作所(大阪市)
Kubo-Myôiti	窪明一(新潟)	新潟縣金工試驗所
Manba-Tutomu	萬羽遇(新潟)	奉天造兵所兵器製造所
Matubara-Masaki	松原正樹(新潟)	新潟鐵工所新潟工場
Nakamura-Takeo	中村武夫(新潟)	早川工務所
Nakano-Kotôda	中野小藤太(長野)	新潟鐵工所新潟工場
Nakano-Yosio	中野義雄(新潟)	理化學興業株式會社
Nanba-Tunesige	難波常繁(新潟)	栗本鐵工所
Oota-Syôzaburô	太田昇三郎(新潟)	仙臺鐵道局土崎工場
Saitô-Teidirô	齋藤貞治郎(新潟)(禎志ト改名)	新潟鐵工所
Simadu-Syûdi	島津秋治(滋賀)	石川縣石川郡戸板村
Tatibana-Yaiti	橘彌一(福井)	東京電氣株式會社川崎工場
Utuki-Sin	宇津木信(福島)	東京市深川區古石場町1.3.2
Yazima-Sikibu	矢島式部(長野)	神戸製鋼所

第四回卒業者（34名）昭和五年三月

Araki-Naozi	荒木直司(群馬)	仙臺鐵道局新津機關車
Honma-Yusakiti	本間勇佐吉(新潟)	理化學研究所
Hosoya-Tokuzi	細谷得二(新潟)	東京鐵道局大宮工場
Hudii-Sigeru	藤井茂(兵庫)	大阪中央放送局
Huruiti-Sigeru	古市茂(福井)	死亡
Isimura-Yosiyuki	石村義之(新潟)	藤永田造船所敷津工場
Itagaki-Manabu	板垣學(山形)	日本機械合資會社
Kitamura-Tomoo	北村知男(長野)	長岡鐵道株式會社
Kobayasi-Syûiti	小林守一(新潟)	難波鐵工所
Kondô-Seidi	近藤誠治(新潟)	旅順工科大學機械科勤務
Kondô-Tiaki	近藤千秋(新潟)	新潟鐵工所新潟工場

Kusunoki-Minori	楠三德(香川)	大連機械製作所
Makino-Humio	牧野文男(大阪)(定井ト改姓)	大阪市電氣局天王寺自動車運輸事務所
Masui-Tositake	增井利武(兵庫)	神戸市役所商工課
Mori-Masao	森正雄(東京)	東京市板橋區石神井立野町2108
Nagasawa-Suesiti	長澤末七(渴渴)	北越製紙株式會社市川工場
Nakanisi-Masatake	中西正武(熊本)	平安南道警察部
Oguri-Yosimasa	小栗義全(東京)	廣島放送局技術部
Okamura-Ken	岡村憲(新潟)	津上製作所
Oniki-Kizô	鬼木喜藏(福岡)	商工省特許局
Ookubo-Tôru	大久保透(茨城)	鄂山地方專賣局
Ooya-Hirokazu	大矢廣祉(新潟)	郡是製糸株式會社
Saitô-Teiiti	齋藤貞一(新潟)	須藤鐵工所(長岡市)
Satô-Tomizirô	佐藤富二郎(新潟)	豐田式織機株式會社
Sinzawa-Yosio	新澤義夫(新潟)	新潟縣立糸魚川中學校
Sirai-Seizi	白井清次(北海道)	札幌鐵道局工務課
Tago-Teisuke	多胡悅介(福島)(早川ト改姓)	下關瓦斯株式會社
Takano-Hideo	高野日出男(新潟)	新潟縣立三條商工學校
Toda-Kinsaku	戸田勤作(新潟)	死亡
Tuda-Sirô	津田四郎(東京)	測英舍
Tutiya-Mitituna	土屋通綱(靜岡)	日本自動車株式會社
Wasida-Zirô	鷲田二郎(新潟)	理研ピストンリング株式會社
Yamaguti-Yasusi	山口恭(茨城)	寶雲舍編輯部
Yamazaki-Seturô	山崎節郎(兵庫)	藤永田造船所

第五回卒業者（36名）昭和六年三月

Abe-Seinosuke	阿部誠之助(新潟)	大阪鐵道局鷹取工場
Ahara-Masakatu	阿原將勝(富山)	佐藤工業株式會社
Go-Tonsan	吳墩燦(臺灣)	日本石油株式會社大面工場
Isida-Hide	石田秀(新潟)	帝國人造絹糸株式會社
Issi-Nagao	一志長雄(長野)	長野縣北安曇郡社村宮本

Kakuda-Syôzi	角田正二(新潟)	大阪機械製作所
Katayama-Zenpei	片山善平(新潟)	越後札紙會社
Kimura-Takeo	木村武夫(新潟)	横須賀海軍工廠航空機實驗部
Kimura-Tosio	木村敏雄(新潟)	三菱鑛業株式會社
Kisino-Sôzaburô	岸野宗三郎(宮城)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Kobayasi-Kihatirô	小林熙八郎(新潟)	新潟鐵工所
Kobayasi-Syunzô	小林俊造(新潟)	日本光學工業株式會社
Komaki-Ryôiti	小牧良一(神奈川)	東洋製鋼株式會社
Kubota-Tosio	久保田俊夫(福井)	野江工業所
Makiguti-Yosiketu	牧口義勝(新潟)	新潟鐵工所柏崎工場
Matuda-Hiromi	松田博海(岡山)	滿洲電業股份有限公司甘井子發電所
Matui-Mituo	松井光雄(栃木)	日立製作所龜戸工場
Matukawa-Onari	松川男也(新潟)	新潟縣三條市四日町
Midorikawa-Yosio	綠川義雄(東京)	報知新聞社工務局
Nagai-Hiromiti	長井廣道(山口)	大阪特許代理局
Nakamura-Masamoto	中村匡源(長野)	報知新聞社工務局
Nirasawa-Yosirô	韮澤義郎(新潟)	報知新聞社工務局
Ogura-Kwan'iti	小倉完一(東京)	新潟縣警察部
Okamoto-Yosio	岡本義男(廣島)	愛知機物株式會社
Okuda-Tokuzi	奥田德次(新潟)	大隈鐵工所
Ooisi-Noboru	大石登(佐賀)	死亡
Oomura-Hidesaburô	大村秀三郎(新潟)	日本エタニツトパイプ株式會社
Sakai-Kunimatu	酒井邦松(新潟)	大阪機械製作所
Sinoda-Bunpei	篠田文平(東京)	奉天兵器製造所
Takahasi-Akira	高橋彰(新潟)	新發田瓦斯株式會社
Tyûgwanzi-Tetusiro	中元寺鐵城(宮城)	東京瓦斯電氣株式會社
Utiyama-Yasuo	内山安夫(新潟)	死亡
Yamada-Tôgorô	山田東五郎(新潟)	日本鑄造株式會社
Yamagata-Nobuhiko	山縣伸彦(山口)	宇部鐵工所
Yamazaki-Tadasi	山崎正(新潟)	北越製紙株式會社長岡工場
Yasuda-Kituru	安田來(岐阜)	愛知縣廳土木課

昭和六年十一月卒業者　(1名)

Kômoto-Masahiko	甲本正彦(岡山)	新京國務院國道局

第六回卒業者（33名）昭和七年三月

Daikôzi-Masayuki	大光寺正行(岩手)	吳海軍工廠砲煩部
Honda-Syôgo	本田省吾(兵庫)	株式會社大塚工場
Hosokai-Sinzô	細貝信三(新潟)	長岡市長柄町43
Hudie-Renpei	藤江廉平(靜岡)	國產電機株式會社
Ikeda-Katuyosi	池田克芳(山口)	吳海軍工廠魚雷實驗部
Isii-Tisato	石井千里(千葉)	日本電氣工業株式會社横濱工場
Kosugi-Gentarô	小杉源太郎(山梨)	南洋興發株式會社テニアン工場
Matuda-Nobuzirô	松田宣次郎(鳥取)	川崎造船所
Matuzawa-Teruo	松澤光雄(長野)（半田ト改姓）	吳海軍工廠砲煩部
Minagawa-Yositarô	皆川良太郎(福岡)	東京瓦斯電氣工業株式會社
Minami-Tosio	南利雄(兵庫)	川崎造船所造機設計部
Misawa-Masayuki	三澤正之(廣島)	廣海軍工廠航空機部
Miyano-Zirô	宮野二郎(靜岡)	大阪帝國大學工學部在學
Nakabayasi-Syûdi	中林修治(新潟)	長岡鐵工所藏王工場
Nakano-Hirosi	中野廣(兵庫)	吳海軍工廠砲煩部
Nakayama-Huzio	中山富士雄(兵庫)	大阪機械製作所
Nisimori-Kazuo	西森一雄(大阪)	(自營)機械工業
Comae-Yasuhiko	大前康彦(和歌山)	廣海軍工廠造機部
Oyanagi-Tomoiti	小柳友一(新潟)	東京衡機製造所
Saitô-Syôhei	齋藤正平(神奈川)	大阪海軍監督官事務所
Saitô-Yosio	齋藤芳男(新潟)	吳海軍工廠造機部
Satô-Takeo	佐藤武夫(新潟)	津上製作所
Sei-Yôitirô	清洋一郎(靜岡)	增野製作所
Sekine-Kyôzô	關根恭三(新潟)	神戸製鋼所
Sugimoto-Hirohumi	杉本公文(岡山)	宮城刑務所作業技術部
Suzuki-Motohiro	鈴木原弘(新潟)	理研ピストンリング株式會社
Takahasi-Kiyomi	高橋清見(北海道)	愛知時計電機株式會社
Takehi-Tosio	武樋俊雄(新潟)（小林ト改姓）	神戸製鋼所
Tanaka-Toyoiti	田中豐一(新潟)	日本機械製作所

Turuta-Kazuo	鶴田一男	(鹿兒島)横須賀海軍工廠造兵部
Watanabe-Kaname	渡邊要	(靜岡) 小松紙店(靜岡市)
Watanabe-Ryô	渡邊了	(兵庫) 東京計器製作所
Yamada-Kwandi	山田寬治	(兵庫) 兵庫縣揖保郡旭陽村宮內

第七回卒業者 (27名) 昭和八年三月

Akazawa-Takeo	赤澤武雄	(長野) 早川工務所
Hukai-Tarô	深井太郎	(新潟) 豐田式織機株式會社
Hukuda-Yosio	福田好雄	(岡山) 日本製鐵株式會社
Huse-Sinzô	布施津三	(新潟) 東京瓦斯電氣工業株式會社
Igarasi-Kiiti	五十嵐喜一 (鴇田ト改姓)	(山形) 仙臺鐵道局工作課
Inoue-Hidenobu	井上秀信	(香川) 汽車製造株式會社
Iwasawa-Iwao	岩澤岩雄	(新潟) 日本曹達株式會社
Kanô-Masao	加納政雄	(兵庫) 新潟鐵工所新潟工場
Kawada-Akira	川田彰	(香川) 汽車製造株式會社
Kitamura-Akira	喜多村明	(東京) 明治製糖株式會社
Kobayasi-Mituru	小林滿	(長野) 日立製作所日立工場
Matui-Sigeiti	松井繁市	(奈良) 大阪電氣株式會社
Matumoto-Minoru	松本實	(埼玉) 東京工業大學機械工學科在學
Mori-Sigenobu	森茂信	(富山) 第一ラミー紡績株式會社
Nakagami-Hideo	中神秀夫	(愛知) 津上製作所
Nakamura-Kazuo	中村一雄	(福岡) 神戸製鋼所
Noguti-Syôitirô	野口庄一郎	(新潟) 津上製作所
Oota-Syôiti	太田正一	(香川) 英工舍
Satô-Gorôuemon	佐藤五郎右エ門	(秋田) 日本酸素株式會社
Satô-Mituyosi	佐藤光義	(新潟) 理研ヒストンリング株式會社柏崎工場
Suzuki-Saburô	鈴木三郎	(千葉) 中島鋼管株式會社
Suzuki-Syôzi	鈴木正司	(新潟) 北辰電機製作所
Tandô-Morimasa	丹藤盛昌	(福島) 日立製作所日立工場
Ueno-Seisin	上野清信	(大阪) 大阪市立難波實務學校

Utugi-Kôsirô	宇津木幸司郎	(靜岡) 內閣印刷局
Yagi-Yôzô	八木要三	(香川) 大阪金屬工業株式會社
Yamamoto-Bunzi	山本文司	(新潟) 日本鋼管株式會社

第八回卒業者 (36名) 昭和九年三月

Akano-Kendi	赤野健治	(岡山) 山陽中央水電株式會社
Gotô-Giken	後藤義顯	(東京) 三機工業株式會社
Hamaguti-Katuzi	濱口克爾	(福岡) 和歌山縣和歌浦町和田浦
Hatakeyama-Sitirô	畠山七郎	(新潟) 川崎造船所
Hine-Hirosi	日根宏	(和歌山) 東京鑄物工業株式會社 (入營中)
Hurutani-Masao	古谷正雄	(德島) 小津武林工業株式會社
Iida-Yosio	飯田嘉雄	(山口) 橫濱市神奈川區立町23中村方
Ikeda-Masao	池田正男	(大阪) 牧田製作所
Imanari-Tutomu	今成力	(新潟) 新潟鐵工所長岡分工場
Ioku-Minoru	井奥實	(兵庫) 電業社原動機製造所
Irie-Rokurô	入江六郎	(兵庫) 長岡鐵工所
Isiduka-Sadamu	石塚巽	(新潟) 吳海軍工廠砲熕部
Isiguro-Tosirô	石黑敏郎	(新潟) 東京工業大學機械工學科在學
Katô-Kôhei	加藤公平	(香川) 日本酸素株式會社大阪工場
Kimoto-Kenzô	木本憲三	(新潟) 本校機械教室
Kobayasi-Zennosuke	小林善之助	(大阪) 愛知時計電機株式會社
Koyanagi-Masami	小柳正巳	(新潟) 理研ヒストンリング株式會社柏崎工場
Maruyama-Syôzô	丸山昇造	(大阪) 理化學興業株式會社
Matui-Dyûsuke	松井重輔	(兵庫) 石川島造船所
Miida-Tatuzirô	三井田達二郎	(新潟) 仙臺鐵道局
Momotake-Takeo	百武竹男	(新潟) 東京鐵道局下十條電車庫
Nagao-Masao	長尾正雄	(新潟) 海軍艦政本部第五部
Nisizaki-Kiyozi	西崎喜代次	(岡山) 津上製作所
Okagaito-Kaoru	岡垣內馨	(和歌山) 自營(機械製作所)
Owada-Takeitirô	大和田武一郎	(大阪) 株式會社日本鑄鋼所
Sakuma-Hirosi	佐久間廣	(新潟) 北越製紙株式會社市川工場

Sibata-Akira	柴 田	明(愛知)	理化學興業株式會社(入營中)
Sotono-Takuiti	外 野 卓	一(廣島)	鐵工所
Utimi-Hirosi	內 海	宏(神奈川)	陸軍航空本部東京檢查班
Wada-Hideo	和 田 秀	雄(新潟)	愛知時計電機株式會社
Yamamoto-Mitio	山 本 道	郎(岡山)	日立製作所日立工場
Yamazaki-Tamotu	山 崎	保(新潟)	日本光學工業株式會社
Yasuhuku-Tosikazu	安 福 俊	一(兵庫)	巽商事株式會社大阪出張所
Yasui-Hirosi	安 井	弘(岡山)	明昭電機株式會社
Yoneyama-Masao	米 山 正	夫(新潟)	吳海軍工廠砲熕部
Yosikawa-Tarô	吉 川 太	郎(大阪)	東京ロール製作所尼崎工場

第九回卒業者（33名）昭和十年三月

Ebinuma-Sinpei	海老沼 信	平(長野)	日立製作所日立工場
Harada-Kôdi	原 田 光	治(山口)	山口縣豐浦郡川中村綾羅木
Higo-Kunio	肥 後 國	雄(秋田)	仙輕鐵道局新津機關庫
Hori-Rokurô	堀	六 郎(東京)	日立製作所龜戶工場
Ike-Tokio	池	時 雄(新潟)	東洋紡績株式會社
Iwasaki-Heihatirô	岩 崎	平八郎(兵庫)	東京工業大學機械工學科在學
Kadino-Kiyoo	梶 野	清 雄(島根)	南滿洲鐵道株式會社
Kawada-Tadasi	河 田	正(新潟)	新潟鐵工所
Kuwano-Hatuzô	桑 野	初 藏(新潟)	新潟板紙株式會社
Minagawa-Tadasato	皆 川	忠 鄕(新潟)	新潟縣中蒲原郡龜田町
Minemura-Katuya	峰 村	勝 彌(新潟)	理化學興業株式會社
Mori-Tadao	森	正 夫(兵庫)	大阪鐵道局
Nakano-Hiradi	中 野	平 治(兵庫)	愛知時計電機株式會社
Nakazima-Masao	中 島 正	男(長野)	日本石油株式會社
Niwayama-Mituya	庭 山 三	矢(新潟)	橫須賀海軍工廠造兵部
Odaka-Syôzô	尾 高 正	三(群馬)	豐田自働織機製作所
Ogawa-Syô	小 川	正(三重)	三重縣宇治山田市一志久保町
Onoduka-Sirô	小野塚 司	郎(新潟)	新潟鐵工所
Oouti-Yaitirô	大 內 彌一	郎(福島)	福島縣白河町本町

Saitô-Takasi	齋 藤	喬(新潟)	海軍航空廠
Sakai-Tokuzi	酒 井 德	二(新潟)	名古屋鐵道局長野工場
Seki-Kôzi	關	鏶 二(新潟)	橫須賀海軍工廠造兵部
Simidu-Tamehisa	淸 水 爲	久(山形)	英工舍
Takahasi-Sigeru	高 橋	茂(新潟)	日本石油株式會社
Takano-Kôiti	高 野 孝	一(新潟)	理研ピストンリング株式會社
Takao-Hazime	高 尾	肇(神奈川)	豐田式織機株式會社
Takasima-Kenzi	高 島 憲	次(富山)	吳海軍工廠
Taki-Ryôiti	瀧	亮 一(靜岡)	宮田製作所
Tasiro-Syun'iti	田 代 俊	一(新潟)	新潟縣刈羽郡柏崎町中濱
Tiyo-Masao	千 代 正	男(新潟)	理研ピストンリング株式會社柏崎工場
Utigaki-Bonpei	內 垣 凡	平(島根)	大倉商事株式會社
Yamamura-Sindirô	山 村	新治郎(兵庫)	自營(機械製作所)
Yamaoka-Tadayosi	山 岡 忠	良(奈良)	近江帆布株式會社

應用化學科

第一回卒業者（25名）昭和二年三月

Aoki-Tyûzô	靑 木 忠	藏(埼玉)	埼玉縣大里郡別府村
Aoyagi-Heihatirô	靑 柳	平八郎(新潟)	北越製紙株式會社藏王工場（內藤ト改姓）
Asanuma-Kazuo	淺 沼 一	夫(新潟)	新潟縣三島郡日吉村
Eguti-Kiyomatu	英 口	喜代松(新潟)	東京帝國大學勤務
Hayasi-Masuitirô	林	陪一郎(富山)	死 亡
Hayasi-Sigeo	林	茂 雄(鹿兒島)	合同油脂株式會社佃工場
Hukusima-Noboru	福 島	昇(新潟)	新潟縣立金工試驗所（要吉ト改名）
Hurukawa-Torao	古 川 虎	雄(新潟)	日本石油株式會社柏崎試驗所（岩下ト改姓）
Imai-Tosikazu	今 井 俊	一(富山)	東京府下吉祥寺1737
Kaneda-Husao	金 田 英	雄(島根)	日東硫曹株式會社（太田ト改姓）

Kaneko-Syôgorô	金子正五郎(新潟)	北越製紙株式會社長岡工場
Kuwabara-Tamizi	桑原民二(長野)	日本石油株式會社
Miyasita-Seiiti	宮下精一(新潟)	大日本特許肥料株式會社
Nanba-Ryûiti	難波隆一(新潟)	片倉越後製絲株式會社
Nogami-Nobuyuki	野上信行(新潟)	日本曹達株式會社高岡工場
Sakurazawa-Kwanpei	櫻澤貫平(新潟)	旭硝子株式會社
Satô-Kiiti	藤喜市(新潟)	東京瓦斯株式會社瓦斯研究所
Suzuki-Kura'tirô	鈴木倉市郎(新潟)	鈴倉工場(新潟縣栃尾町)
Takahasi-Ataru	高橋中(新潟)	本校化學教室
Takahahi-Sôhatirô	高橋韮八郎(新潟)	日本電氣工業株式會社與津工場
Teduka-Setuzi	手塚節次(長野)	商工省特許局
Tokida-Susumu	常田勵(長野)	新潟縣立長岡工業學校
Tutida-Susumu	土田進(新潟)	三共株式會社品川工場
Tutida-Takesi	土田武(新潟)	篠崎インキ株式會社
Uemura-Hideo	植村英夫(和歌山)	死亡

第二回卒業者（33名）昭和三年三月

Abe-Hironosuke	阿部弘之助(新潟)	新潟縣立栃尾實業學校
Abe-Kiyodi	阿部龜代治(新潟)	死亡
Amagai-Kôzi	天谷廣次(栃木)	東京市中野區野方町2,1606
Aoyagi-Yûdi	青柳勇治(新潟)	新潟縣廳警察部
Hasegawa-Yosikatu	長谷川義勝(新潟)	葡萄鑛業所
Hirata-Masao	平田正夫(新潟) (五十嵐ト改姓)	東京市江戸川區小岩町41,729
Ibi-Yosio	伊比義雄(新潟)	昭和香料製造所
Igarasi-Mitui	五十嵐光(新潟)	造兵廠火工廠研究課
Ikai-Eiiti	井海榮一(新潟)	新潟瓦斯株式會社
Kamimura-Seigorô	上村清五郎(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Kaneyasu-Niitirô	金安仁一郎(新潟)	大阪瓦斯株式會社
Kasuga-Tensyô	春日天生(新潟)	新潟縣立佐渡中學校
Kasuga-Tokirô	春日時郎(新潟)	長野縣立伊那中學校

Kosuge-Siduo	小菅靜夫(新潟)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Minami-Moriei	南森榮(新潟)	大日本自轉車會社護謨工場
Misaki-Tatue	三崎辰衛(新潟)	日本曹達株式會社會津工場
Mitigami-Sigeo	道上重雄(新潟)	印刷局印刷部研究所
Miyahara-Kanemori	宮原金盛(長野)	長野縣立蠶業試驗所
Motiduki-Yosihumi	望月美文(長野)	日本曹達株式會社二本木工場
Nakatani-Seinosuke	中谷精之助(奈良) (浩康ト改名)	アサヒパン粉製造株式會社
Narita-Isao	成田功(高知)	名古屋市役所水道部
Onuma-Disaku	小沼治作(福島)	東京工業大學電氣化學科在學
Oonisi-Syûiti	大西周一(富山)	日本曹達株式會社
Saitô-Hirokuni	齋藤博邦(新潟)	臺灣總督府專賣局鹽埕分室
Sakadume-Kôzô	坂爪幸三(新潟) (齋藤ト改姓)	長岡高等實業女學校
Tanaka-Teturô	田中哲郎(新潟)	新潟縣釀造試驗所
Tokawa-Nobuzi	外川信次(新潟) (佐藤ト改姓)	新潟縣立新潟盲學校
Yamada-Teikiti	山田貞吉(新潟)	遞信省電氣試驗所
Yamagisi-Akinori	山岸明德(新潟)	長岡市上中島町
Yatida-Takeo	谷內田武雄(新潟)	横濱市瓦斯局
Yazima-Makoto	矢島眞(新潟)	(自營)長岡市弓町
Yosida-Hirosi	吉田博(新潟)	東京工業大學勤務
Yumoto-Masatosi	湯本應利(新潟)	東京稅務監督局

第三回卒業者（29名）昭和四年三月

Hara-Mitio	原道夫(新潟)	杉江製陶所(名古屋市)
Hosino-Atusi	星野篤(新潟)	長岡市上田町
Hosino-Seikiti	星野誠吉(新潟)	日本製錬株式會社
Hudii-Tahei	藤井多兵衛(栃木)	田島商工實務學校
Iguti-Hidekiti	井口秀吉(新潟)	死亡
Isikawa-Rokurô	石川六郎(長崎)	(自營)油脂工業
Koike-Motozi	小池元二(長野)	昭和製鋼所

Kotazima-Tanzi	古田島 坦 二(新潟)	日本電氣化學工業株式會社青海工場
Koyama-Gosaku	小 山 吾 作(新潟)	東京瓦斯株式會社砂町製造所
Kitamura-Zyôkiti	北 村 譲 吉(富山) (康吉ト改名)	富山縣電氣局
Mabuti-Tikakazu	馬 淵 親 毅(靜岡)	商工省福井輸出絹織物檢査所
Makino-Yasuo	牧 野 泰 夫(福井)	大日本製糖株式會社
Matuzawa-Haruo	松 澤 春 雄(長野)	岩城商店
Miduki-Isami	水 城 伊佐美(福岡) (山田ト改姓)	つちや足袋株式會社
Motoyosi-Masanori	元 吉 正 文(千葉)	昭和肥料株式會社川崎工場
Nakamura-Kiyosi	中 村 潔(新潟)	瀝青瑯タンク製造所
Onoyama-Sinpei	小野山 辛 平(長野)	富士革布株式會社
Ooi-Kitizô	大 井 吉 藏(秋田) (益子ト改姓)	館林瓦斯株式會社
Comiya-Syunzi	大 宮 俊 二(新潟)	早山製油所
Saitô-Hideo	齋 藤 英 夫(新潟)	丸新製油所
Tamino-Yasuzi	民 野 安 二(富山)	富山化學研究所
Tomita-Takeo	富 田 武 雄(埼玉)	浅野セメント株式會社門司工場
Tutikawa-Kôhu	土 川 孝 生(福井)	昭和肥料株式會社鹿瀬工場
Utiyama-Takeo	内 山 武 夫(福井)	宇品陸軍糧秣廠
Watanabe-Masao	渡 部 政 雄(新潟)	ミクニ・アスファルト乳劑製造所
Yamamoto-Yasugorô	山 本 康五郎(鳥取)	東洋紡績株式會社
Yamazaki-Kenzi	山 崎 憲 司(新潟) (澁谷ト改姓)	三省堂蒲田工場
Yokoyama-Risaku	横 山 利 策(新潟)	新潟硫酸株式會社
Yosida-Yutaka	吉 田 豊(新潟)	東洋電氣工業株式會社

第四回卒業者（26名）昭和五年三月

Amegai-Yasuhide	雨 谷 泰 秀(茨城)	樺太廳警察部保安課
Hirata-Yutaka	平 田 豊(德島)	協和石鹸製造公司
Hosokai-Saburô	細 貝 三 郎(新潟)	死 亡
Iwamasa-Yasusi	岩 政 泰(山口)	山口縣都濃郡夜市村

Kitahara-Tosiaki	北 原 利 秋(福岡)	日本輪業ゴム株式會社
Kobayasi-Akira	小 林 晃(三重)	日本ペイント株式會社
Maeda-Kazuo	前 田 一 雄(富山)	日本製鐵株式會社
Maeda-Seiiti	前 田 城 一(德島)	神戸電機製作所
Matuo-Haruo	松 尾 春 雄(佐賀)	森永製菓株式會社堺口工場
Mima-Yosihumi	美 馬 善 文(香川)	牧田鍍金合資會社
Minami-Minoru	南 實(三重)	三重縣飯南郡粥見村
Murakami-Kazunobu	村 上 一 信(富山) (石原ト改姓)	大日本人造肥料株式會社富山工場
Nagatani-Kôzô	長 谷 康 造(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Okamoto-Usio	岡 本 丑 雄(岐阜)	保土ケ谷曹達株式會社
Ono-Nobukazu	小 野 信 紀(福島)	昭和肥料株式會社鹿瀬工場
Oosawa-Tosikatu	大 澤 利 克(島根)	日本ペイント株式會社
Ooyama-Tosio	大 山 利 雄(新潟)	高田市土橋町23
Satô-Yosirô	佐 藤 義 郎(宮崎) (菅ト改姓)	宮崎市廣島通3
Siodu-Tosihei	鹽 津 敏 平(三重)	三重縣立名賀農學校
Sirane-Yurio	白 根 百合雄(山口)	株式會社鈴木商店川崎工場
Takano-Masuo	高 野 益 夫(埼玉)	山田商店石鹸工場
Takatu-Tomisiti	高 津 富 七(新潟)	三高レザー工場
Takayanagi-Susumu	高 柳 進(新潟) (千澤ト改姓)	瀝青瑯タンク製作所
Takizawa-Seita	瀧 澤 清 太(新潟)	理化學研究所
Wada-Hidemaro	和 田 秀麻呂(新潟)	丸新製油所
Yosida-Seidi	吉 田 清 治(新潟)	日本電氣工業會社廣田工場

第五回卒業者（35名）昭和六年三月

Abe-Keiiti	阿 部 惠 一(新潟)	名古屋遞信局經理課
Akita-Tôitirô	秋 田 登一郎(新潟)	吉村商店
Amenomiya-Hisakazu	雨 宮 久 一(新潟)	内閣資源局
Andô-Yosiki	安 藤 良 城(愛知) (田中ト改姓)	天草陶料製造所
Araki-Kazuo	荒 木 一 夫(新潟)	陸軍千住製絨所
Hudisawa-Otozô	藤 澤 乙 三(富山)	日本特種塗料合資會社

Hudisima-Sindi	藤島信治(大分)	臺中州勸業課神戸帽子檢查所
Honma-Seizi	本間誠司(新潟)	新潟縣釀造試驗所
Inoue-Hirosige	井上廣重(新潟)	アトム理化學研究所
Isii-Sitirô	石井思致郎(新潟)	高砂香料株式會社
Itagaki-Seidi	板垣正治(新潟)	日本電氣工業會社廣田工場
Kageyama-Tatue	影山達枝(島根)	東部電力株式會社
Kawase-Yasuo	河瀨康雄(香川)	香川縣醬油試驗所
	(佐藤ト改姓)	
Kumakura-Tadasi	熊倉正(新潟)	東京帽子會社大阪工場
Kurasawa-Tôsirô	倉澤藤四郎(新潟)	北越製紙株式會社新潟工場
Makita-Hirosi	槙田浩(愛知)	日本曹達株式會社二本木工場
Matuba-Seiyosi	松葉清義(三重)	昭和肥料株式會社川崎工場
Minagawa-Kô	皆川孝(新潟)	旭ベンベルグ絹糸株式會社延岡工場
Miyosi-Kazuyuki	三好一之(香川)	香川縣善通寺町生野
Nakazawa-Teruaki	中澤照明(長野)	日東セメント株式會社
Nonaka-Mikio	野中三喜夫(北海道)	札幌鐵道局經理課用品試驗所
Odaka-Zyôiti	小高條一(埼玉)	桐生瓦斯株式會社
Oota-Masae	太田政惠(新潟)	日本曹達株式會社二本木工場
Simidu-Seizô	清水清三(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Sôma-Eizi	相馬英二(新潟)	死亡
Takano-Keiitirô	高野桂一郎(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Takasu-Matuo	鷹巢松雄(新潟)	理研ヒストンリング株式會社柏崎工場
Takinami-Eisuke	瀧波永祐(新潟)	北越製紙株式會社新潟工場
Tatihara-Yosio	立原好雄(茨城)	茨城縣鹿島郡矢田部村
Tatikawa-Saburô	太刀川三郎(新潟)	北越製紙株式會社長岡工場
Tôyama-Akio	遠山秋雄(岡山)	倉敷絹機株式會社
Tutiya-Kazusige	土屋萬成(長野)	長野縣小縣郡和村曾根住
Usuda-Tôru	臼田達(東京)	東京工業大學染料化學科勤務
Usui-Tomie	臼井富衛(新潟)	日本電氣工業會社廣田工場
	(櫻井ト改姓)	
Yamazaki-Kyûsi	山崎久四(新潟)	新潟縣三島郡西越村豊積

第六回卒業者（31名）昭和七年三月

Asobe-Yukio	遊部幸雄(富山)	和多利製藥所
Gotô-Bunya	後藤文彌(靜岡)	東京人絹株式會社
Hagiwara-Yasusaburô	萩原保三郎(奈良)	粟津石鹼製造所
Hasegawa-Harunaga	長谷川治良(東京)	在アラビア國
Hitani-Kiyosi	氷谷清(大阪)	由良精工株式會社
Horiuti-Sigeru	堀内繁(愛知)	日本シリコンセル工業所
Itano-Hiroto	板野公人(岡山)	名古屋稅務監督局
Itô-Syunsaku	伊藤俊策(愛媛)	野崎化學捺染工場
Kageyama-Kimio	蔭山公雄(福井)	大阪帝國大學工學部在學
Kano-Naohei	加野直平(新潟)	東京工業大學應用化學科在學
Kobayasi-Mataitirô	小林又一郎(新潟)	新潟縣柏崎町廣小路
Koyanagi-Seiiti	小柳精一(栃木)	京都瓦斯株式會社
Kurosaki-Tiyokazu	黒崎千代一(新潟)	横濱稅關檢查課
Nagata-Tositô	永田良任(鹿兒島)	大阪窯業株式會社
Ogihara-Kôki	荻原甲喜(栃木)	古河電氣工業株式會社
Okamoto-Eisi	岡本英士(廣島)	南海紙業株式會社
	(柳澤ト改姓)	
Oosima-Monya	大島門也(京都)	神戸市電氣局電氣試驗所
Oota-Hideo	太田英夫(和歌山)	大阪造幣局
Osida-Itirô	押田一良(埼玉)	日東製粉株式會社
Sakaguti-Gorô	坂口伍郎(和歌山)	新潟電化株式會社
Satô-Takehiko	佐藤武彦(新潟)	日本鋼管株式會社川崎工場
Sawato-Sirô	澤登四朗(山梨)	第一塗料製造所
Sugimoto-Kiyomiti	杉本清道(北海道)	北海道工業試驗所
Takeuti-Kozyûrô	武内小十郎(和歌山)	南海紙業株式會社
	(谷野ト改姓)	
Tanaka-Takeo	田中武夫(廣島)	廣島市己斐町2461
Tomioka-Hirosi	富岡弘(宮城)	六櫻社
Tutida-Seizaburô	土田清三郎(新潟)	東京工業大學染色化學科在學
Warasina-Reisuke	藁科禮介(靜岡)	小林工場
Yamamoto-Asata	山本朝太(和和山)	三田藥品製煉所
Yasui-Tamao	安井玉男(大阪)	大阪市東區八尾町684
Yokoyama-Teruo	横山照雄(大阪)	鐘ヶ淵紡績株式會社

第七回卒業者（25名）昭和八年三月

Andô-Seiti	安藤盛一(愛知)	慈惠醫院
Hagiwara-Hiroe	萩原大衛(大阪)	ラバテツクス工業研究所
Hano-Norio	羽野規夫(東京)	岩城硝子製造所
Hodaka-Raisaku	帆高雷作(大分)	東京工業大學松井研究室
Itô-Kôzi	伊藤孝次(新潟)	商工省特許局
Katô-Tyôdi	加藤長治(長野)	丸新製油所平澤工場
Komamura-Yazirô	駒村彌次郎(長野)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Kozima-Yosinaga	小島芳長(和歌山)	日本染料製造株式會社
Masuzawa-Yûki	增澤勇龜(長野)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Motiduki-Syôzô	望月祥三(廣島)	松下電器製作所
Murakami-Tuyosi	村上強(長野)	特種塗料合資會社
Murayama-Nobuyuki	村山信行(東京)	角一ゴム株式會社
Nakano-Hidezô	中野英三(岐阜)	日本電氣工業株式會社實田工場
Nisioka-Tetuzi	西岡鐵次(佐賀)	大阪ゴム工業組合
Ogihara-Mituo	荻原光夫(長野)	昭和曹達株式會社
Cota-Kôzô	太田甲三(福島)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Sigemune-Sin'iti	重宗眞一(山口)	本校化學教室
Taduruhama-Takesi	田鶴濱武(石川)	遞信省電氣試驗所第五部
Takahasi-Sôzirô	高橋惣次郎(新潟)	日本石油株式會社秋田製油所
Takeuti-Kenzi	武內謙二(山口)	內閣資源局調査課
Tanaka-Sadurô	田中三郎(福島)	山田商店工場
Tomita-Tosiyuki	富田敏行(岐阜)	牧田鍍金合資會社
Yamamoto-Yukihiro	山本行寬(廣島)	陸軍火工廠板橋火藥製造所
Yamauti-Yukio	山內幸雄(大阪)	大日本人造肥料株式會社王子工場
Zyûmi-Syôdi	十見正治(新潟)	山陽皮革株式會社

第八回卒業者（34名）昭和九年三月

Hama-Taitirô	濱多一郎(兵庫)	住友化學工業株式會社
Katagiri-Hirosaburô	片桐弘三郎(新潟)	川崎市大島町62布川方

Katô-Masaya	加藤馬左也(大阪)	大阪府豊能郡豊島村原田
Koide-Hirosi	小出弘(群馬)	大日本人造肥料株式會社
Konisi-Kôhei	小西幸平(富山)	東京工業大學窯業科勤務
Kurasima-Ken	倉島健(長野)	昭和曹達株式會社
Kuwabara-Eizyun	桑原英順(新潟)	東北帝國大學金屬材料研究所
Matui-Ryôhei	松井量平(新潟)	矢作工業株式會社
Mito-Tiharu	三戶千春(山口)	日本發動機油株式會社
Miura-Gorô	三浦五郎(新潟)	第一工業製藥株式會社
Miyata-Osamu	宮田修(山口)	海軍航空廠
Miyazaki-Kikuzô	宮崎菊藏(東京)	東邦人造纖維株式會社
Mori-Tyûzô	森忠三(兵庫)	齋藤硫曹製造所
Motiduki-Masana	望月正名(埼玉)	東京電氣株式會社
Nagao-Nobuo	長尾信雄(新潟)	日本曹達株式會社
Nakamura-Hudimasa	中村藤正(新潟)	滿洲石油株式會社
Nisimaki-Makoto	西間木信(福島)	新興人絹株式會社
Okamoto-Nobuya	岡本信也(新潟)	日本電氣工業株式會社秩父工場
Oomori-Matuo	大森松夫(長野)	日本夜光塗料製造所
Oosumi-Sinzô	大隅眞三(愛知)	大阪帝國大學工學部在學
Satô-Kiyosi	佐藤清(新潟)	吳海軍工廠砲熕部
Satô-Tatuo	佐藤龍雄(靜岡)	撫順セメント株式會社
Simdiu-Syôiti	清水正一(三重)	牧田鍍金合資會社(入營中)
Sirai-Tetuo	白井哲夫(新潟)	丸新製油所平澤工場
Sudô-Tosio	須藤敏男(埼玉)	秩父セメント株式會社
Sugiura-Kiyosi	杉浦清(愛知)	名古屋市第二女子商業學校
Suzuki-Tomoei	鈴木朝榮(新潟)	新潟縣醸造試驗所
Takahasi-Masao	高橋政雄(新潟)	帝國人造絹糸株式會社
Takano-Kunrô	高野勳郎(岡山)	大阪コルク工業株式會社
Tanaka-Syôdi	田中正治(新潟)	海軍火藥廠
Ueno-Hirosi	上野博司(栃木)	東京鐵道局經理課
Utida-Kôhei	內田耕平(長野)	六櫻社
Yosida-Takeo	吉田武夫(秋田)	神島人造肥料株式會社
Yosida-Zyun'iti	吉田純一(奈良)	倉敷絹織株式會社

第九回卒業者（30名）昭和十年三月

Aoki-Humio	青木文雄(長野)	日本電氣工業株式會社
Asibe-Yositaka	芦部好孝(長野)	東京市世田ヶ谷區上馬町1697
Hattori-Yasutuna	服部保綱(京都)	大阪帝國大學工學部釀造科在學
Hiramatu-Syun	平松俊(石川)	名古屋市中區若柳3.1
Horiuti-Syôiti	堀内正一(長野)	長野縣埴科郡屋代町
Irie-Seizô	入江盛藏(大阪)	大阪府三島郡三ヶ牧村柱本
Kanamori-Kinya	金森金彌(大阪)	古河電氣工業株式會社
Maezawa-Kiyosi	前澤清(新潟)	昭和肥料株式會社鹿瀬工場
Matihara-Raizô	町原雷造(兵庫)	昭和肥料株式會社鹿瀬工場
Minowa-Sigetaka	箕輪重孝(新潟)	昭和人絹株式會社
Miyahara-Masamoto	宮原正元(京都)	日本製鐵株式會社
Morosawa-Itirô	諸澤一朗(新潟)	日立製作所日立工場
Murayama-Kenzi	村山健司(新潟)	東京工業大學應用化學科在學
Nagai-Syôhei	長井正平(新潟)	倉敷絹織株式會社
Noda-Masaru	野田勝(福岡)	福岡縣山門郡沖端村馬場部夫方
Nunokawa-Syôdi	布川省治(新潟)	海軍航空廠
Okada-Atumu	岡田羽(新潟)	日本曹達株式會社
Okada-Yosikazu	岡田善一(大阪)	神戸電機製作所
Ono-Sigeo	小野茂夫(岡山)	旭硝子株式會社
Sakamoto-Tosio	坂本俊雄(新潟)	鷲尾製油所
Sakuma-Masatosi	佐久間正俊(新潟)	山岸商會
Sano-Hidezô	佐野英三(大阪)	大阪市港區吾妻町3.1
Sinada-Ken'iti	品田健一(新潟)	東洋レーヨン株式會社
Sugiura-Taisuke	杉浦泰祐(東京)	朝鮮窒素肥料株式會社
Takeuti-Yasuo	竹内彌壽雄(石川)	古河電氣工業株式會社
Takizawa-Masao	瀧澤正男(新潟)	新潟人絹工業株式會社
Uno-Yosio	宇野善雄(大阪)	大阪府泉南郡雄信達村幡代
Yamanozyô-Kazuhiko	山之城一彦(宮崎)	門司市大里東口大日本製糖會社社宅
Yonemoti-Osamu	米持修(長野)	日本無線電信電話株式會社
Yosida-Tôkitirô	吉田藤吉郎(新潟)	東北帝國大學工學部勤務

修業者氏名

應用化學科

昭和十年三月修業者（2名）

Midusima-Yasusi	水島靖(愛知)	名古屋市南區高田2.2
Mine-Sinzi	嶺眞司(長野)	日本無線電信電話株式會社

選科修了者氏名

昭和九年三月修了者（1名）

		修了學科目
Tunekuni-Kôtarô	常國甲太郎(大阪)	機械工學科第三學年ノ設計製圖、工場管理

昭和十年三月修了者（2名）

		修了學科目
Hayasi-Takesi	林武(新潟)	機械工學科第一二學年ノ設計製圖、實驗實習
Motohasi-Kenzô	本橋健三(千葉)	機械工學科第三學年ノ經營經濟及汗制、工場管理、設計製圖、實驗實習

3. 學級人員一覽表 (昭和10.5.1現在)

學年＼科別	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
I	40	40	40	120
II	36	38	36	110
III	39	35	36	110
計	115	113	112	340

4. 入學志願者及入學許可者數

年次	科名	入學志願者數	入學許可者數	百分比	入學取消者數	入學決定者數
大正13年	電氣工學科	134	40	29.9	0	40
	機械工學科	72	37	51.4	4	33
	應用化學科	59	36	61.0	0	36
	計	265	113	42.5	4	109
大正14年	電氣工學科	115	35	30.4	1	34
	機械工學科	58	35	60.3	4	31
	應用化學科	37	30	81.1	2	28
	計	210	100	47.6	7	93
大正15年	電氣工學科	153	38	24.8	2	36
	機械工學科	128	39	30.5	5	34
	應用化學科	62	35	56.5	2	33
	計	343	112	32.7	9	103
昭和2年	電氣工學科	256	40	15.6	3	37
	機械工學科	146	38	26.0	2	36
	應用化學科	109	37	33.9	7	30
	計	511	115	22.5	12	103
昭和3年	電氣工學科	219	40	18.3	2	38
	機械工學科	108	39	36.1	0	39
	應用化學科	82	37	45.1	1	36
	計	409	116	23.4	3	113
昭和4年	電氣工學科	337	39	11.6	4	35
	機械工學科	305	39	12.8	3	36
	應用化學科	136	39	28.6	2	37
	計	778	117	15.1	9	108
昭和5年	電氣工學科	156	40	25.6	2	38
	機械工學科	131	37	28.2	1	36
	應用化學科	125	37	29.6	5	32
	計	412	114	27.7	8	106
昭和6年	電氣工學科	215	40	18.6	4	36
	機械工學科	221	42	19.0	5	37
	應用化學科	124	41	33.0	5	36
	計	560	123	22.0	14	109
昭和7年	電氣工學科	185	41	22.2	1	40
	機械工學科	154	40	26.0	3	37
	應用化學科	140	36	25.7	3	33
	計	479	117	24.4	7	110
昭和8年	電氣工學科	166	42	25.3	3	39
	機械工學科	195	43	22.1	3	40
	應用化學科	126	39	31.0	2	37
	計	487	124	25.5	8	116
昭和9年	電氣工學科	193	39	20.2	3	36
	機械工學科	253	41	16.2	3	38
	應用化學科	167	35	21.0	2	33
	計	613	115	18.8	8	107
昭和10年	電氣工學科	185	37	20.0	1	36
	機械工學科	228	35	15.4	1	34
	應用化學科	197	40	20.3	5	35
	計	610	112	18.4	7	105

5. 昭和十年度入學者調

5. 昭和十年度入學者調

(a) 入學出身校別 ( )內ハ學校數

	府縣別	學校名	電氣科	機械科	化學科	計
縣下中學校		新潟中	2	3	2	7
		村松中	3		1	4
		卷中	1			1
		三條中		3		3
		長岡中	2	5	6	13
		小千谷中			1	1
		六日町中	1			1
		柏崎中			1	1
		高田中	2	2	1	5
		糸魚川中			1	1
		有恒學舍			1	1
		計 (校數)人員	(6) 11	(4) 13	(8) 14	(11) 38
他府縣中學校	北海道	函館中			1	1
	青森	野邊地中		1		1
	山形	鶴岡中		1	2	3
	同	山形中			1	1
	栃木	宇都宮中			1	1
	群馬	澁川中	1			1
	同	太田中			1	1
	埼玉	熊谷中	1	1		2
	同	松山中		1		1
	千葉	千葉中			1	1
	同	匝瑳中	1			1
	同	長狹中		1		1
	東京	府立第二中		1	1	2
	同	府立第九中	1		2	3
	同	市立第二中			1	1
	同	開成中等	1			1
	同	成城中		1		1
	同	東京中		1		1
	同	京華中			1	1
	神奈川	横濱第三中			1	1
	同	關東學院中			1	1
	富山	富山中	2			2
	同	神通中	1			1
	長野	長野中		1	1	2
	同	諏訪中			1	1
	靜岡	見付中		2		2
	三重	神戸中		1		1
	京都	京都第二中			1	1
	京同	京都第三中		1		1
	同	桃山中	1			1
	大阪	北野中	2			2
	同	住吉中	1			1
	同	上宮中	1			1
	同	今宮中		1		1
	同	堺中			1	1
	同	茨木中	1			1
	兵庫	豐岡中		1		1
	同	伊丹中		1		1
	奈良	郡山中	1			1
	同	畝傍中		1		1
	鳥取	育英中	1			1
	山口	岩國中	1			1
	香川	高松中	2			2
	同	三豐中	1			1
	同	丸龜中		1		1
	高知	高知中			1	1
	福岡	中學修猷館	1			1
	佐賀	佐賀中	1			1
	大分	大分中			1	1
	熊本	宇土中			1	1
	朝鮮	平壤公立中	1			1
	同	釜山中		1		1
	滿洲	大連第二中	1			1
	計	(校數)人員	(21) 24	(18) 19	(19) 21	(53) 64
他府縣工業		兵庫縣立工業		1		1
	總計	中學校	35	32	35	102
		其他工業	1	2		3
		(校數)人員	(28) 36	(23) 34	(27) 35	(66) 105

（b）卒業年次

卒業年次	出身學校	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
昭和7年	中學	2		3	5
	其他				
昭和8年	中學	3	4	3	10
	其他	1	2		3
昭和9年	中學	17	14	17	48
	其他				
昭和10年	中學	13	14	12	39
	其他				
總計		36	34	35	105

（c）入學許可者府縣別

府縣別	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
北海道			2	2
青森		1		1
岩手	1			1
山形		1	2	3
福島	1			1
茨城		1		1
栃木	1		1	2
群馬	1	1	1	3
埼玉	1	1	1	3
千葉	1	2	1	4
東京	1		3	4
神奈川			2	2
新潟	13	14	14	41
富山	3			3
長野		2	2	4
靜岡	1	2	1	4
三重	2	1		3
滋賀	1			1
京都	1	1	1	3

大　　坂		1		1
兵　　庫	1	2		3
和　歌　山	1			1
鳥　　取	1		1	2
山　　口	1			1
香　　川	2	1		3
愛　　媛	1	1		2
高　　知			1	1
佐　　賀	1			1
長　　崎		1		1
熊　　本			2	2
宮　　崎		1		1
計	36	34	35	105

（d） 入學者他校受驗調

	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
他ノ高工ヲ受驗セヌモノ	17	14	16	47
他ノ高工ヲ不合格トナリシモノ	16	18	17	51
他ノ高工ヲ許可セラレシモノ	3	2	2	7
計　　實際入學者	36	34	35	105
他校入學ノ爲取消願出ニヨリ取消シタルモノ	1		2	3

許可取消者 7−3=4名 ハ他ノ高工入學ノ爲メデナク他ノ都合ニヨル

6. 學生出身校別 （昭和 10.5.1 現在）

學科	出身校別 / 學年	中學校	工業學校	農業學校	商業學校	商船學校	水産學校	其他	計
電氣工學科	I	39		1					40
	II	34	1					1	36
	III	35	3					1	39
機械工學科	I	38	1					1	40
	II	38							38
	III	31	3					1	35
應用化學科	I	39	1						40
	II	33	2					1	36
	III	35	1						36
總計		322	12	1				5	340

奈良						1	1	2						1	1	2
和歌山	1		2	3						1	1	2	1	1	3	5
鳥取	1	1		2					1		1	2	2	1	1	4
島根							1	1			1	1			2	2

7. 學生出身道府縣別

（昭和10. 5. 1現在）

學科 / 學年 / 道府縣	電氣工學科				機械工學科				應用化學科				計			
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計
北海道									2			2	2			2
青森			1	1	1			1					1		1	2
岩手	1			1									1			1
秋田			1	1											1	1
宮城										1		1		1		1
山形		1	1	2	1	1		2	2			2	3	2	1	6
福島	1	3		4		1	1	2		2		2	1	6	1	8
茨城		1	1	2	1			1					1	1	1	3
栃木	1		1	2					1	1		2	2	1	1	4
郡馬	1			1	1	2		3	1	1	1	3	3	3	1	7
埼玉	1	1	2	4	2			2	2			2	5	1	2	8
千葉	1	2	1	4	2		1	3	1	1	1	3	4	3	3	10
東京	2			2		3	4	7	3	3	4	10	5	6	8	19
神奈川			1	1			1	1	2			2	2		2	4
新潟	13	14	14	41	16	14	14	44	15	13	15	43	44	41	43	128
富山	3	2	1	6						2		2	3	4	1	8
石川									1	1		2	1	1		2
長野	1	3		4	2	3	2	7	2	2	1	5	5	8	3	16
岐阜						2		2	1			1	1	2		3
靜岡	1		1	2	2			2	1		1	2	4		2	6
愛知		1	1	2	2	2	2	6					2	3	3	8
三重	2			2	1		1	2		3		3	3	3	1	7
滋賀	1		1	2			1	1			1	1	1		3	4
京都	1		1	2	1		1	2	1		2	3	3		4	7
大坂	1		2	3	1	4	2	7			1	1	2	4	5	11
兵庫	1	2		3	2			2		2	2	4	3	4	2	9
奈良						1	1	2						1	1	2
和歌山	1		2	3						1	1	2	1	1	3	5
鳥取	1	1		2					1		1	2	2	1	1	4
島根							1	1			1	1			2	2
岡山			3	3		1		1	1	1	2	4	1	2	5	8
廣島		1		1							1	1		1	1	2
山口	1	1	1	3			1	1					1	1	2	4
廣島							1	1							1	1
香川	2	1	1	4	1			1					3	1	1	5
愛媛	1	1		2	1	1		2			1	1	2	2	1	5
高知					1	1		2	1			1	2	1		3
福岡		1	1	2						1		1		2	1	3
大分							1	1		1		1		1	1	2
佐賀	1			1		1		1					1	1		2
長崎					1			1					1			1
熊本									2			2	2			2
宮崎	1			1	1			1					2			2
鹿兒島						1		1						1		1
臺灣			1	1											1	1
計	40	36	39	115	40	38	35	113	40	36	36	112	120	110	110	340

8. 學生年齡別 (昭和10. 5. 1 現在)

種別		年齡			生徒數
學科	學年	最高	最低	平均	
電氣工學科	I	21—4	17—3	18—10	40
	II	23—6	18—4	19—3	36
	III	27—8	19—3	21—3	39
機械工學科	I	23—6	17—3	18—10	40
	II	21—5	18—3	19—7	38
	III	24—7	19—5	21—2	35
應用化學科	I	21—8	17—6	18—10	40
	II	27—7	18—3	20—1	36
	III	24—11	19—3	21—0	36

9. 卒業者修業者數 (昭和10. 5. 1 現在)

( )內ハ修業者數

年次＼科	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
昭和 2年	34	22	25	81
昭和 3年	28	28	33	89
昭和 4年	37	28	29	94
昭和 5年	33	34	26	93
昭和 6年	36	37	35	108
昭和 7年	34	33	31	98
昭和 8年	31	27	25	83
昭和 9年	36	36	34	106
昭和10年	32	33	(2) 30	(2) 95
計	301	278	(2) 268	(2) 847

10. 卒業者資格

1. 實業學校教員資格

（文部省令公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號參照）

2. 次記學科目ハ師範學校、中學校、女子師範學校、高等女學校、教員無試驗檢定資格アリ

（明治三十六年二月二十八日文部省告示第三十號教員無試驗檢定指定ノ件參照）

電氣工學科	數學（當該學科目成績優等ナル者ニ限ル）
機械工學科	數學（同）
應用化學科	化學（同）

3. 電氣工學科卒業生ハ電氣事業主任技術者資格檢定規則第四條第二項ニ依リ第二種ノ資格ヲ有ス

4. 本校卒業者ニ對シ次記大學ニ於テ所定ノ學校卒業者ヲ入學セシメ其收容豫定人員ヲ超過セス缺員アル場合ハ選拔試驗又ハ學力檢定試驗ヲ行ヒ入學セシム

（a） 東北帝國大學工學部及理學部

（明治四十四年六月文部省專門學務局通牒參照）

（b） 九州帝國大學工學部

（c） 北海道帝國大學工學部及理學部

5. 外國諸大學

（a） 米國諸大學入學

（大正十五年一月橫濱高等工業學校遠藤正直氏通牒希望者ハ便宜內地ニ於テ入學試驗ヲ受クルコトヲ得）

（b） 獨逸國ミユンヘン所在各大學入學

（大正十五年一月二十八日文部省專門學務局長通牒）

6. 高等學校高等科教員檢定受驗資格

7. 高等試驗ノ豫備試驗免除

Ⅸ 關係法令

1. 文部省直轄學校一覽進達方

（明治三十二年五月二十二日文部省訓令號外）

直轄學校

直轄學校一覽ノ儀自今次ノ要目ニ照シテ編纂シ每學年ノ始メ三ケ月以內ニ進達スヘシ

編纂要目

1. 學年曆　學年、學期、授業、試業ノ始終、休業日等ヲ記ス
2. 沿革略　創立以來沿革ノ要略ヲ記ス
3. 法令　學校ノ成立、組織等ニ關スル法令ヲ記ス
4. 諸規則　教則、校則及其他必要ナル規程ヲ記ス
5. 職員　職名、氏名、族籍、教員受持學科、屬員分課等ヲ記ス
6. 學生生徒　（大學ノ外學生ノ二字ヲ除ク）學級及員數等ヲ記ス
7. 卒業生　從來卒業セル者ノ族籍、氏名、卒業ノ年月日並卒業後ノ狀況等ヲ記ス
8. 敷地建物　略圖但シ坪數及所用ノ別等ヲ記ス

以上規則等ニ關スル事項ハ該學年始ノ調査ヲ以テ記シ其他緊要ノ事項ヲ記ス但シ前記項目ノ各項ヲ前後斟酌シテ編纂スルハ妨ケナシ

2. 文部省直轄諸學校官制（抄）

（明治二十六年勅令第八六號）

第一條　文部省直轄諸學校ハ次ノ如シ

東京高等師範學校	廣島高等師範學校
東京女子高等師範學校	奈良女子高等師範學校
盛岡高等農林學校	鹿兒島高等農林學校

東京高等蠶糸學校　東京高等工業學校
鳥取高等農業學校　德島高等工業學校
宇都宮高等農林學校　福井高等工業學校
宮崎高等農林學校　秋田鑛山專門學校
千葉高等園藝學校　神戸高等商船學校
山口高等商業學校　大阪外國語學校
名古屋高等商業學校　東京高等齒科醫學校
大分高等商業學校　東京音樂學校
和歌山高等商業學校　東京聾啞學校
高松高等商業學校
第一高等學校
第三高等學校
第五高等學校
第七高等學校造士館
新潟高等學校
山口高等學校
水戸高等學校
佐賀高等學校
松江高等學校
大阪高等學校
福岡高等學校
高知高等學校
廣島高等學校
熊本藥學專門學校
名古屋高等工業學校
米澤高等工業學校
橫濱高等工業學校
金澤高等工業學校
明治專門學校
神戶高等工業學校

上田蠶糸專門學校
京都高等蠶糸學校
三重高等農林學校
岐阜高等農林學校
東京高等農林學校
長崎高等商業學校
小樽高等商業學校
福島高等商業學校
彦根高等商業學校
橫濱高等商業學校
高岡高等商業學校
第二高等學校
第四高等學校
第六高等學校
第八高等學校
松本高等學校
松山高等學校
山形高等學校
弘前高等學校
東京高等學校
浦和高等學校
靜岡高等學校
姬路高等學校
富山藥學專門學校
京都高等工藝學校
熊本高等工業學校
桐生高等工業學校
廣島高等工業學校
仙臺高等工業學校
東京高等工藝學校

濱松高等工業學校
長岡高等工業學校
山梨高等工業學校
東京高等商船學校
東京外國語學校
函館高等水產學校
東京美術學校
東京盲學校

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
教授
生徒主事
助教授
生徒主事補
書記

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス
生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十條ノ二　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス
生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十七條　新任敎官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任敎官ヲ置キ若ク學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ學業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

3. 文部省直轄諸學校職員定員令（抄）

（明治三十五年勅令第九十九號）

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

	校長	敎授	助敎授	助手	書記
長岡高等工業學校	一人	二十人	八人	一人	六人

4. 文部省直轄諸學校長職務規程

（大正二年六月二十三日文部省訓令）

第一條　校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條　校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシム

第三條　左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

1. 敎官ノ學科擔任事務員ノ分課ヲ定ムルコト
2. 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
3. 俸給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
4. 職員以下ノ內國內各地出張ニ關スルコト
5. 職員以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

6. 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト
7. 經費中ノ目ヲ流用スルコト
8. 三日以內ノ臨時休業ヲナスコト

第四條　前條ニ揭ケタルモノノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

5. 專門學校令（抄）

（明治三十六年勅令第六十一號）

第一條　高等ノ學術技藝ヲ敎授スル學校ハ專門學校トス專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ敎授スル專門學校ニ就キテハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限學科學科目及其ノ程度並ニ豫科研究科及別科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

6. 實業學校令（抄）

（明治三十二年勅令第二十九號）

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スルモノニ必要ナル知識技能ヲ授クルヲ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校其ノ他實業敎育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第二條ノ二　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

7. 實業學校教員養成規程

（大正四年文部省令第七號）

第一條　東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所、東京商科大學附屬商業教員養成所、東京工業大學附設工業教員養成所及大阪工業大學附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徴收セス
前項養成所ノ生徒ニハ一ケ月二十五圓以內ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ
帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條　前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ次ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス、但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

1. 養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一
2. 養成所ノ生徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間
3. 授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第三條　前條ノ義務期間內ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ因リ之ヲ許可スルコトアルヘシ
前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第四條　第二條ノ義務期間內ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就

職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第五條　第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者次ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學資又ハ授業料ヲ償還セシム、但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

1. 退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニヨリ退學シタルトキ
2. 實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ
3. 第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ留學シタルトキ

前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム

第六條　地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニ其ノ業務期間內ニ轉任退職若ハ休職ヲ命シ又ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨直チニ文部大臣ニ報告スヘシ
文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニシテ其ノ義務期間內ニ陸海軍現役ニ服シ若ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタルモノアルトキ又ハ休職期間滿了ノ爲退職トナリタルモノアルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ

第七條　各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條　大學及專門學校ノ學生々徒ニテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ一ケ月金二十五圓以內ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ
前項ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學資ノ補給ヲ止ムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシム、但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第　九　條　前條ノ規程ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス、但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第三條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ヲ補給スヘキ學生々徒ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前各教員養成所ニ入學シタル者若ハ帝國大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ニ關シテハ仍從前ノ規程ニ依ル

8. 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程

（明治三十四年 文部省令第十五號）

第　一　條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスルモノハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第　二　條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第　三　條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限リニアラス

第　四　條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第　五　條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第　六　條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

9. 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學ニ關スル件

（明治四十四年 文部省令第十六號）

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

10. 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル件

（明治三十八年 文部省令第十八號）

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無効トス

11. 文官分限令

（本文省略）文部法令彙纂第七編第一章參照

12. 官吏服務紀律

（本文省略）文部法令彙纂第七編第二章參照

13. 文官懲戒令

（本文省略）文部法令彙纂第七編第三章參照

14. 各官廳執務時間（抄）

（大正十一年 閣令第六號）

官廳ノ執務時間ハ休日及休暇日ヲ除キ次ノ通トス

四月一日ヨリ七月二十日迄
午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス
七月二十一日ヨリ八月三十一日迄
午前八時ヨリ午十二時迄
九月一日ヨリ十月三十一日迄
午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス
十一月一日ヨリ三月三十一日迄
午前九時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

15. 官吏職務外ノ演說及敍述許可並其取締方

(本文省略)文部法令彙纂第七編第二章參照

16. 四大節ニ賀表及言上書奉呈方

(本文省略)文部法令彙纂第七編第二章參照

17. 敎員免許令

(本文省略)文部法令彙纂第十七編參照

18. 文部省直轄諸學校修身敎育ニ關スル注意

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

19. 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

20. 學生生徒兒童身體檢查規程

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

21. 學校清潔方法

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

22. 學校傳染病豫防規程

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

23. 學校生徒喫煙禁止

(明治三十三年文部省訓令第五號)

學校生徒ノ喫煙ニ關シテハ小學校ニ在リテハ明治二十七年文部省訓令第六號ヲ以テ生徒ノ喫煙スルコト及煙器ヲ携帶スルコトヲ禁スヘキ旨訓令シ中學校等ニ在リテモ實際喫煙ヲ禁止セルモノ多シ蓋シ學校生徒ノ喫煙ハ衛生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スルコト少ナカラス殊ニ此際未成年者喫煙禁止法ノ發布アリタルニ就キテハ小學校、中學校、師範學校、及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ取締上其ノ生徒ノ成年以下ナルト以上ナルト學校ノ內外ヲ問ハス喫煙シ又煙草煙器ヲ携帶スルコトヲ禁止スヘシ其ノ他ノ學校ニ在リテモ特ニ注意ヲ加ヘ法律違反ノ者ナカラシムルコトヲ期スヘシ

24. 文部省直轄諸學校學生生徒喫煙取締ニ關スル注意

(明治四十三年七月三十日文部省內訓)

學生生徒ノ喫煙ニ關シテハ明治三十三年文部省訓令第五號ノ訓示ニ基キ各學校ニ於テ適宜取締ノ方法ヲ講シツツアルハ勿論ノ次第ナレトモ尙往々敎室內ニ於テ猥リニ喫煙ヲ爲ス者有之其ノ結果或ハ火災ノ原因トナルノ例ナキニ非サルヲ以テ自今火災ノ取締上ヨリモ一層ノ注意ヲ加ヘ成年者ニ對シテモ校舍內ニ於テハ一定ノ場所ニ限リ之ヲ許シ、敎室、實驗室、製圖室等ニ在リテハ一切學生生徒ノ喫煙ヲ禁止シ以テ不測ノ禍害ヲ未然ニ豫防スル樣注意セラルヘシ
右內訓ス

25. 學校生徒飲酒取締ニ關スル注意

（明治四十二年文部省訓令第十二號）

學校生徒ノ飲酒ハ敎育上取締ヲ要スヘキハ言ヲ俟タス從來各學校ニ於テモ常ニ適當ノ方法ヲ講シテ訓戒監督ヲ怠ラサルハ本大臣ノ認ムル所ナリ然レトモ訓育ノ目的ヲ貫徹セント欲セハ學校ト家庭ト常ニ聯絡ヲ保タンコトヲ要ス因テ各學校ニ於テハ自今飲酒ノ取締ニ就キ一層家庭ト聯絡ヲ保ツコトニ注意シ以テ敎育ノ効果ヲ完ウセンコトヲ努ムヘシ

26. 敎育上時弊矯正ニ關スル心得

（明治三十九年文部省訓令第一號）

學生生徒ノ本分ハ常ニ健全ナル思想ヲ有シ確實ナル目的ヲ持シ刻苦精勵他日ノ大成ヲ期スルニ在ルハ固ヨリ言ヲ俟タス殊ニ戰後ノ國家ハ將來ノ國民ニ期待スル所益々多ク今日ノ學生生徒タル者ハ其ノ責任一層ノ重キヲ加ヘタルヲ以テ各々學業ヲ勵ミ一意專心其ノ目的ヲ完ウスルノ覺悟ナカルヘカラス

然ルニ近來青年子女ノ間ニ往々意氣銷沈シ風紀頽廢セル傾向アルヲ見ルハ本大臣ノ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ現ニ修學中ノ者ニシテ或ハ小成ニ安シ奢侈ニ流レ或ハ空想ニ煩悶シテ處世ノ本務ヲ閑却スルモノアリ甚シキハ放縱浮靡ニシテ操行ヲ紊リ恬トシテ恥チサル者ナキニアラス斯ノ如キハ家庭ノ監督其ノ方ヲ誤リ學校ノ規律漸ク弛緩セルノ致ス所ニシテ今ニ於テ嚴ニ戒慎ヲ加フルニアラスンハ禍害ノ及フ所實ニ測リ知ルヘカラス社會一部ノ風潮漸ク輕薄ニ流レムトスルノ兆アルニ際シ青年子女ニ對スル誘惑ハ日ニ益々多キヲ加ヘムトス就中近時發刊ノ文書圖畫ヲ見ルニ或ハ危險ノ言論ヲ揭ケ或ハ厭世ノ思想ヲ說キ或ハ陋劣ノ情態ヲ描キ敎育上有害ニシテ斷シテ取ルヘカラサルモノ尠シトセス故ニ學生生徒ノ閱讀スル圖書ハ其ノ內容ヲ精査シ有益ト認ムルモノハ之ヲ勸奬スルト共ニ苟モ不良ノ結果ヲ生スヘキ處アルモノハ學校ノ內外ヲ問ハス嚴ニ之ヲ禁遏スルノ方法ヲ取ラサルヘカラス

又頃者極端ナル社會主義ヲ皷吹スルモノ往々各所ニ出沒シ種々ノ手段ニ依リ敎員生徒等ヲ誑惑セムトスル者アリト聞ク若シ夫レ斯ノ如クシテ建國ノ大本ヲ藐視シ社會ノ秩序ヲ紊亂スルカ如キ危險ノ思想敎育界ニ傳播シ我敎育ノ根底ヲ動カスニ至ルコトアラハ國家將來ノ爲メ最モ寒心スヘキナリ殊ニ敎育ニ當ル者宜シク留意戒心シテ矯激ノ僻見ヲ斥ケ流毒ヲ未然ニ防クノ用意ナカルヘカラス

本大臣ハ國運ニ照シ時勢ニ鑑ミ特ニ玆ニ訓示ス敎育ノ當局者及ヒ學校長敎員等ハ克ク本大臣ノ旨ヲ體シ父兄保護者ト協心戮力シテ風紀ヲ振肅シ元氣ヲ作興スルニ努メ學生生徒ハ自ラ修メ己ニ克チ學業ヲ成就スルニ專ニシテ上下胥ヒ率ヰ以テ敎育ノ効果ヲ完ウセンコトヲ期スヘシ

27. 文部省直轄學校講演會、記念會、運動會等監督方

（明治四十二年一月九日文部省訓令號外）

直轄學校學生生徒ノ氣風ハ常ニ全國各地ニ於ケル諸學校生徒ノ模範トナリ其ノ言動ハ惹イテ一般ニ影響ヲ及ホスコト尠シトセス故ニ直轄學校學生生徒タルモノハ克ク其ノ本分ヲ守リ規律ヲ重ンシ質素勤勉以テ他ノ生徒ノ爲ニ善良ナル模範ヲ示スヘキハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然ルニ近來直轄學校ニ於テ催ス所ノ講演會、記念會又ハ運動會等ニ於テ當日ノ興趣ヲ添ヘンカ爲種々ノ工夫ヲ廻ラシ其ノ結果多數ノ時間ヲ空費スルノミナラス動モスレハ學生生徒ニシテ脂粉ヲ施シ假裝ヲ爲シ往々演劇興行ニ近キモノヲ演スルヲ見ル斯ノ如キハ當該學校ノ風紀ヲ弛ウシ浮薄ノ弊風ヲ助長スルノミナラス一般ノ學風ヲ廢頽セシムルノ虞ナシトセス故ニ自今右等ノ行爲ナキ樣十分注意ヲ加ヘラルヘク尙講演會等ノ場合ニ於テハ職員協同シテ周密ニ學

生生徒ヲ指導監督シ教育上善良ナル効果ヲ收メンコトヲ期スヘシ
右訓令ス

28. 文部省直轄諸學校學生時弊矯正ニ關スル心得

（大正十年八月二十七日 文部省内訓）

學生生徒ハ言フ迄モナク常ニ堅實ナル思想ト不拔ナル意志トヲ以テ專念學業ニ勵ミ品性ヲ磨キ他日ノ大成ヲ期セネハナラヌ然ルニ近時學生ニシテ或ハ輕噪或ハ弱行爲ニ自己ノ前途ヲ誤ルモノカ尠クナイノハ甚タ遺憾テアル殊ニ結衆妄動シテ校規ヲ紊リ學業ヲ拋チ敢テ意トセヌ風ヲ生セントスルカ如キハ國家將來ノ爲洵ニ寒心ニ堪ヘナイ所テアル

學生タルモノ深ク省慮シ自己ノ本分ヲ守リ敎職員タルモノ克ク校規ヲ匡シ善ク學生ヲ導キ兩者心ヲ一ニシテ敎育ノ目的ヲ達成センコトヲ望ム

右內訓ス

29. 學校ノ紛擾ニ關係シタル職員及生徒處分方

（明治三十五年 文部省訓令第五號）

近來學校ニ於テ往々紛擾ヲ見ルハ敎育上憂慮スヘキ所ナリ地方長官ハ此際一層學校職員ヲ督勵シ苟モ職員ニシテ生徒ヲ使嗾煽動スルカ如キ行爲アル者ニ對シテハ其ノ機ヲ失セス相當措置スヘク又生徒ニシテ其ノ本分ヲ忘レ職員ニ對シテ反抗ヲ試ミ或ハ同盟休校ヲ爲スカ如キ者アラハ嚴重處分セシメ以テ校紀ノ振作ヲ努ムヘシ

30. 陸軍現役將校配屬令

（本文省略）文部法令彙纂第十編參照

31. 兵役法ニ依ル在學徵集延期ニ關スル件

（兵役法第四一條同施行同第一〇一條）
（本文省略）文部法令彙纂第三二編

32. 陸軍補充令ニ依ル幹部候補者ノ資格ニ關スル件

（本文省略）陸軍補充令第五十三條
文部法令彙纂第三二編

33. 勤務演習召集演習召集及簡閱點呼ノ免除ニ付餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ニ關スル件

（本文省略）文部法令彙纂第三二編

附　　錄

學校日誌（自昭和九年四月 至昭和十年三月）

昭和九年

四月　九日　授業開始、始業式並入學式擧行
四月十六日　臨時雇齋藤勇、給仕池田マル雇員ニ採用
四月十七日　校友會主催新入生歡迎會ヲ催ス
四月十九日　新潟縣知事千葉了氏來校
四月二十七日　靖國神社臨時大祭ニツキ休業
四月二十九日　天長節拜賀式擧行
五月　五日　開校十周年記念式擧行
五月　六日　物故者慰靈祭擧行
縣下中等學校籠球大會ヲ催ス
記念講演會ヲ午後七時ヨリ講堂ニ於テ催ス
講師　田中館愛橘博士
子爵　大河內正敏博士
大越諄博士
五月六日——七日　校內開放一般ノ縱覽ニ供ス
五月六日——十五日　發明品展覽會ヲ附設科學工業博物館ニ於テ催ス
五月七日　映畫並音樂ノ夕ヲ午後七時ヨリ講堂ニ於テ催ス
五月九日　職員學生一同彌彥神社ニ參拜校運ノ隆盛ヲ祈願
五月十六日　記念陸上運動會ヲ催ス
六月五日　東鄉元帥國葬當日ニツキ遙拜式ヲ擧行ス
六月七日——九日　各科第一學年生野外敎練實施（小千谷、關原方面ニ於テ）
六月十四日　文部省督學官安達禎氏來校
六月十四日——十六日　各科第二、三學年生野外敎練實施

（小千谷、關原方面ニ於テ）

六月二十一日　秋田鑛山專門學校長平岡通也氏來校

六月二十五日——二十六日　會計檢査院副檢査官千葉卯源太氏外二名會計檢査ノ爲來校

七月十一日　本日ヨリ夏季休業

七月十五日　竹田宮恒德王殿下當市御成ニ際シ停車場ニ於テ福田校長單獨拜謁ノ榮ニ浴ス

八月六日　敎授岡部欽二文部省ヨリ自然科學研究奬勵費ヲ交付セラル

九月一日　夏季休業終リ本日ヨリ授業開始、第一時限福田校長ノ訓話アリ

九月三日——八日　第二、三學年生特別講義開講

電氣　保護繼電器
日立製作所技師　和島藤助氏

機械　最近ノ工作機　ジグ及フイクスチユアー
池貝鐵工所顧問　長澤寸美遠氏

化學　化學工業用金屬材料
東北帝國大學敎授　村上武次郎氏

九月十四日　大野六郎雇員ニ採用

九月十七日　機械學會地方講演會ヲ本校講堂ニ於テ催ス、會長東京帝國大學敎授山內不二雄氏、鐵道工作局技師島秀雄氏、東京工業大學敎授棚橋啓三氏、戶畑鑄物株式會社工藤治人氏等ノ講演アリ

九月二十日　秋田鑛山專門學校敎授藤村義樹本校敎授ニ轉任發令

九月二十四日　秋季皇靈祭

縣下中等學校武道大會ヲ催ス

十月九日　卒業生採用詮衡ノ爲海軍艦政本部江角技師來校

十月十日　第十一回創立記念式擧行

十月十一日　東北帝國大學總長本多光太郎氏來校

十月二十二日——二十四日　宮路射擊場ニ於テ實彈射擊ヲ行フ

十月二十五日　實業敎育五十周年記念式ヲ擧行

十月三十日　敎育勅語奉讀式擧行

卒業生採用詮衡ノ爲吳海軍工廠羽木技師、佐伯書記來校

十一月一日　午後體育デーノ催ヲ行フ終テ實業敎育五十周年記念活動寫眞映寫

十一月二日　放課後講堂ニ於テ「勞務者管理ニツイテ」氏家貞一郎氏ノ講演アリ

十一月三日　明治節拜賀式擧行

十一月八日　金工試驗場講習生四十名及明治大學中華民國留學生十三名學校參觀ノ爲來校

十一月十日　講堂ニ於テ午後七時ヨリ音樂會ヲ催ス

十一月十三日　卒業生採用詮衡ノ爲鐘淵紡績株式會社古宇田唯吉氏來校

十一月十七日　高崎練兵場ニ於テ行ワセラル、學生生徒御親閱ニ各級ヨリ代表各三名計二十七名ヲ渡邊少佐、五十嵐講師、小山助敎授引率シ參列ス福田校長ハ陪列陪觀ノ榮ニ浴ス

長岡工業學校生徒四十名機械工場參觀ニ來校

十一月二十三日　新嘗祭

十一月二十九日　敎練査閱實施、査閱官トシテ第二師團司令部附谷藤少將、副官添田中佐來校

十二月四日　神戶高等工業學校長古宇田實氏來校

十二月九日　秋田鑛山專門學校長平岡通也氏來校

十二月十八日　廣島高等師範學校敎授湯田重太郎氏來校

福田校長臺灣出張ノ爲本日夜行ニテ出發

十二月二十日　敎授藤村義樹依願免官發令

十二月二十八日　雇佐藤義也依願解雇

昭和十年

一月　八日　授業開始、第一時限講堂ニ於テ校長ノ訓話アリ

一月　十日　昭和肥料株式會社水島勝正氏卒業生採用ノ件ニツキ來校

一月十四日　高岡高等商業學校長鈴木弼氏來校

一月二十九日　放課後講堂ニ於テ卒業生豫餞會ヲ催ス

二月　七日　新潟縣學務部長熊野周二氏新任挨拶ニ來校

二月十一日　紀元節拜賀式擧行

二月十六日　スキー大會ヲ悠久山ニ於テ催ス

二月二十日　陸軍省徵募課長黑田大佐敎練視察ニ來校

二月二十五日　雇岡村憲依願解雇

三月　六日　文部省視學委員トシテ京都帝國大學敎授濱部源次郎氏來校

三月十一日　村山敏夫雇員ニ採用

三月十五日　第九回卒業證書授與式擧行

各科第二學年生見學旅行ニ出發

三月十九日　伏見宮海軍々令部總長宮殿下當驛御通過遊ハサルヽニツキ校長代理トシテ槇田敎授奉送申上ク

三月二十三日　文部省在外研究員トシテ在留中ノ伊藤敎授歸朝

三月二十四日——二十六日　本校及東京、大阪ニ於テ入學試驗ヲ施行

三月二十九日　雇大野六郎依願解雇

三月三十一日　入學許可者發表

設備ノ大要

吾ガ長岡高等工業學校ハ心身共ニ健全デ高等ナル工業的技術ニ通ズル社會須要ノ人材ヲ養成スルヲ以テ目的トシテ居ルガ特ニ玆ニ云フベキハ最モ底力ノアル者ヲ社會ニ送リ出シタイト努力シテ居ルコトデアル。

在學三年間コマコマシタ種々雜多ナコトヲ詰込マレタ卒業生ガ社會ニ出タトキニハ一見如何ニモ博識多才デ役立ツ樣ニ思ハレル然シ社會デ工業學校ノ卒業生ニ求ムルコトハ實ニ數多ク、單ニ機械ノ種類ノミニツイテコレヲ見ルモ千差萬別デ一々コレニ對スル知識ヲ在學僅カ三ケ年ノ短日月デ充分ニ詰込ムコトハ到底不可能ノコトデアル即チ如何ニ學校デ詰込ンダトテ其ノ量ハ知レタモノデアル。故ニ詰込主義デ行クト卒業シタテニ一寸間ニ合フ樣ニ見エルガヤガテ行キ詰リヲ生ジテ來ル、本校デハ行キ詰リヲ生ジナイデ常ニ新ナ進路ヲ自ラ開拓シテ行キ得ル底力ノアル人材ノ養成ニ努メテ居ル。

底力アル者ト云フノハ基礎ノ學問ヲ確實ニタヽキ込ンダ者デアル其等ハ卒業ノ當座ハ或ハ一寸間ニ合ヒ兼ネルカモ知レナイ、然シナガラ力强ク奥底深クタヽキ込ンダ學問ノ力ハ年ト共ニ段々ト其ノ光ヲ放チ止ルコトナク進ミ續ケテ行キ詰リヲ生ズルコトノナイモノデアル。

今日ノ工業ハ實ニ理學ノ應用デアル、理學ハ工業ノ基礎デアル。基礎タル理學ヲ確實ニ修得セズシテ底力アル工業家タルコトハ出來ナイ。其處デ我校デハ此ノ基礎タル理學敎育ニ大ニ意ヲ用ヒ數學、物理學等ニ多クノ時間ヲ用ヒルノミナラズ其ノ實驗設備ハモトヨリ各種專門的實驗實習設備ニ關シテモ常ニ此ノ方針ヲ以テ一貫スルニ努メテヲルノデアル。

尙ホ基礎學ト云フコトハ普通在學中ノ工業學科ノ豫備ト考ヘラレル向モアツタガ此ノ如キモノデハ到底眞ニ底力アル基礎學トハナラナイ故ニ本校デハ在學三年中ニ習フ工業學科ノ補助ト云フ意味デナ

ク遠キ將來ヲ目標トシ、卒業後工業家トシテノ一生ヲ通ジテノ基礎デアル學科ト云フ意味ヲ持タシテ學科課程ヲ定メテヲル。

又眞ニ底力アル者ハ單ニ智育ノミデハ得ラレナイ、本校ニ於テハ修身ヲ重要學科目ト見ナシ以テ德育ニ努メ體育ニ於テモ筋肉隆々タル選手形ノ養成ニトラハレズ高等ナル工業教育ヲ受ケテソノ能力ヲ遺憾ナク發揮シ得ル圓滿ニ發育シタル健康ナル身體ノ持主タルベク各種ノ設備ヲナシ指導シ以テ智德體共ニ圓滿ニ發達シタル人格ノ完成ニ努力シテ居ルノデアル。

理　科　教　室

理科教室ニハ數學、物理學ノ兩科ガアリ一〇四名ヲ收容スベキ階段教室、準備室、器械室、生徒實驗室及寫眞室、蓄電池室、工作室等ヲ有スル外更ニ階上ニハ教官室ノ外ニ暗室二ケ所研究室並ニ標本室等ヲモ設ケテアル。

工作室　昭和八年度ニ增築セラレ、コンクリート建二十坪ニシテ物理器械ノ修理又ハ簡單ナ實驗裝置等ノ製作ニ必要ナ木工、鐵工金工諸設備ヲ有シ、尙精密實驗室モ設ケテアル。

準備室　講義實驗等ノ準備ヲスルニ必要ナ器具器械類例ヘバ實物幻燈、顯微鏡映寫裝置、活動寫眞映寫器、等ノ如キモノヲ備ヘテアル。

器械室　一般的理科ニ關係アル器械類ヲ整頓シテアル其內主要ナモノヲ記セバ次ノ通リデアル。粘度計（數種）、空氣ポンプ類(廻轉式、分子式、水銀用、デイフユージョン等)、自記計器（各種)サーモカップル、オプテイカルパイロメーター、電氣的精密測定裝置インダクションコイル（30cm放電）電動發電機並ニ配電盤其他デアル。

實驗室　電氣時計ノ親時計ヲ取付ケ生徒ノ實驗ニ要スル器具類ヲ悉ク備ヘテアル。天秤モ精密ノモノ六個ヲ一側ノ基礎臺上ニ列ベ實驗ニ供シテ居ル。**光學器械**ハ主トシテ階上ノ暗室デ用フル積リ

デ干渉計、スペクトログラフ、スペロトロメーター光度計等ハ皆此ノ室ニ置イテアル。

他ノ暗室　フオトエラステイシテイー試驗裝置ヲ備ヘ又X線ヲ用フル實驗及ピラスラ電流ニ關スル實驗裝置ヲ備ヘテ居ル。

標本室　種々型式ノ計算器、數學教授用ノ模型類、精密ナ目盛器械及小規模ノラヂオ送受信裝置、クロノメーター等ヲ備ヘテアル時報ハ此室ニテ受ケ以テ本校電氣時計ノ正確ヲ期シテ居ル。

尙校庭ノ芝生ニハ積雪計、雪量計、地中寒暖計、百葉箱等ヲ設ケ更ニ博物館上ニ風力計、風信器ヲ備ヘテ記錄シテ居ル。

更ニヂヤイロコンパスノ模型及四吋半ノ天體望遠鏡アリ今後更ニ益々內容ノ充實ヲ計ルツモリデアル。

電　氣　教　室

本校ノ一般教育方針ガ基礎ニ重キヲ置イテヰル故、電氣教室ノ實驗設備モ亦其方針ニ依ツテヲル、併シ出來得ル限リハ現代ノ實際ニモ觸レ得ル樣ニ施設シテアル。

標本室　此ノ室ニハ電燈、照明器具、電熱器、電話機、架線材料、電線、碍子其他種々ノ標本ガ陳列シテアル。

弱電流研究室　弱電流ノ研究ニ必要ナ抵抗、誘導係數電氣容量等ノ標準器類ヲ初メ精密反照電流計、電位差計、恒溫槽等ガ設備シテアル。

弱電流實驗室　學生ガ實驗スル室デ二室ニ分カレテヲル。

材料室　各般ノ材料ガ置イテアル。

器具室　強電流ノ實驗ニ使用スル學生用ノ計器ガ多數整備シテアル。

蓄電池室　湯淺蓄電池會社製ノ二九〇アムペア時ノ蓄電池ガ六十個据置カレテアル。

強電流實驗室　此室ニハ萬能非同期機其他各製造會社ノ種々ノ

型式ノ發電機、電動機等ガ多數配列シテアル。是等ノ原動力トシテハ屋外ノ變電所ニ 四五K.V.A ノ變壓器ガ四臺(內一臺ハ豫備デアル) 七五K.V.A ノ變壓器ガ三臺据付ケテアル。直流ノ電源トシテハ實驗室ニ二五キロワツトノ電動發電機ガ据付ケテアル。

工作室 各種ノ修理及多少ノ製作ニ資スルタメ、ノツチングプレス、サークルシーア、スクエアシーア、レース等ガ備ヘテアル。

高壓實驗室 シーメンス社製二十萬ヴオルト、二十K.V.A試驗用變壓器十五萬ヴオルトケノトロン裝置五萬ヴオルト油試驗器ガ裝置シテアル。

試驗室 波形ノ研究、鐵ノ試驗、計器ノ檢查等ノタメ橫河製作所製研究用オツシログラフ、チンスレー社陰極線オツシログラフ、エプスタイン裝置、移相變壓器、ヴキーダー社液體回轉計等ガ置イテアル。

高周波實驗室 日本無線五ワツト無線電話送信機、同受信機、各種ノ短波長及超短波長送信機及受信機、波長計熱陰極ブラウン管等ガ設備シテアル。

光度計室 日本光學工業會社製ルンマー、ブロドハン對照型光度計、球形光度計、マクベス照度計、ウエーバー光度計、フリツカー光度計ガ備ヘテアル。

機 械 敎 室

機械敎室ハ本校一般敎育方針ニ從ヒ機械工學ノ根底ヲ作ルヲ以テ主眼トシテ居ルノデ徒ニ多種多樣ノ機械ヲ羅列スル事ヲ避ケ機械工學ノ基礎トナルベキ問題ニ就イテ徹底的ノ研究ニ重キヲ置クト同時ニ基礎的研究ニ趣味ヲ持ツ樣指導スル事ヲ重要視シテ居ル、其ノ設備概要ハ次ノ通リデアル。

工務室 工場管理實習ノ道場デ敎室內工場ノ工務事務ヲ執ツテヲル、各種計算器及諸表ガ備ヘテアル。

木工場 鑄物ノ木型製作及ビ其ノ檢查ノ實習ヲ行フ室デ併セテ

木工一般ノ實習モスル。丸鋸機械、帶鋸機械、機械鉋、木工旋盤木工ミシン等ガアル。

鑄物工場 各種鑄型ノ製作並ニ鑄造ノ實驗實習ヲ行フ室デ熔銑爐、坩堝爐、電氣爐、乾燥室等ガアル。

鍛工場 鍛冶、熔接、切斷、板金作業ニ關スル實驗實習ヲ行フ室デ火爐、重油爐、電氣熔接機、瓦斯熔接及切斷機、空氣槌等ガアル。

機械工場 機械製作法ノ實驗實習及工作機械ノ檢查ヲ行フ室デ鋸機械、中心穿孔機、各種旋盤、型削盤、平削盤、竪削盤、ミリング機ボール盤、中ボール盤、ホブ歯切盤、傘歯車生製機、中削グラインダー、各種工具、グラインダー、各種精密測定器具類等ガアル。

手仕上組立工場 鑄造品ヤ鍛造品ヲ罫書キシ手仕上シ又ハ組立等ヲスル室デ工作臺及各種ノ手工具一式ヲ備ヘテヲル。

製品檢查室 鑄造品、鍛造品、部分製品及完成品等ノ檢查ヲスル室デ各種ノ標準器並精密測定器ヲ備ヘテヲル。

材料實驗室 金屬材料ノ研究ニ必要ナル各種ノ實驗即チ材料ノ強サ硬サ等ノ機械的試驗ヲ始メトシテ金屬及合金ノ內部組織ヲ知ルタメノ顯微鏡試驗鋼其他ノ材料ノ燒入燒戻シ等ノ如キ處理法ノ研究及化學的成分ノ定量分析等ノ實驗ヲモ此室デ行フ事ニシテ居ル從ツテ此室ニハ

(1) モール式30噸萬能材料試驗機、井口式捩リ試驗機、シヤルピー式衝擊試驗機、松村式繰返打擊試驗機、小野式疲勞試驗機、及ブリネル、ショアー、マルテンス引掻式、ハーバート式振子型、本多佐藤式等ノ各種硬度試驗機等ノ如キ各種材料試驗機ヲ始メトシテ

(2) 本多式全熱膨脹計、同磁氣分析裝置、佐藤式燒入試驗機、本多式磨滅試驗機、大小各種電氣爐、ライツ金屬顯微鏡等熱處理並ニ一般物理冶金學的測定裝置及ビ

(3) 各種化學的成分定量分析裝置等ガアル。

水力實驗室 水ニ關スル種々ノ實驗並水力原動機、揚水機等ノ

實驗ヲスル室デ實驗裝置トシテハ開渠ヲ始メポンプ、水力タービン等ガアル。

動力實驗室　水車ヲ除イタ原動機ノ實驗ヲ行フ室デ蒸氣機關、蒸汽タービン、瓦斯機關、石油機關、自動車機關、飛行機々關、ディーゼル重油機關ト云フ樣ナモノガアルガ自動車ハ別ニ自動車庫ニ入レテアアル。

內燃機關實驗室　動力實驗室ノ現狀ハ諸機械デ狹隘ヲ極メテ居ルノデ本年度此ノ實驗室ヲ增設シタ。之ニハ追々動力實驗室內ノ內燃機關ガ移轉セラレル事トナラウ。

汽罐室　動力室デ行フ蒸汽實驗ノタメニ蒸汽ヲツクル汽罐ガアルガ同時ニ本校全體ノ煖房用蒸汽發生ヲモ兼ネテヲル。丸罐ト水管式トノ二臺ガアル。

化　學　教　室

本邦化學工業界ハ今ヤ深遠ノ學理ノ應用ニマツ高級化學工業發達ノ氣運ニ向ツテヰル此狀勢ニ鑑ミ化學教室ニ於テモ本校教育ノ根本方針ニ基キ專ラ基礎的知識ノ涵養ニ留意シテヰル從テ或特種製品ノ製造ヲ行フガ如キ工場ノ設備ヲ省キ基礎的ノ實驗及研究設備ニ全力ヲ注イデヰル。

標本類及模型　ハ有機物及無機物標本六百餘點外ニ元素標本其他八百餘點右ノ外開校記念トシテ全國約三百ノ著明ナ化學工場カラ寄贈ヲ受ケタ原料、半製品、製品、模型、圖表類ソノ他有益ナ參考品ガ約二千點アツテ教授上大イニ裨益シテヰル。

實驗室設備　トシテハ各實驗臺ニ直流交流電氣ノ配線ヲシテ實驗ニ便シ乾燥器ノ如キモ溫度ノ調節自由ナル電熱式「セルコオーブン」多數ヲ有シ定性定量分析、工業分析等一般的設備ニ就テハ普通ノ實驗實習ヲ修得セサルニ十分デアル。

白金器具　ハ坩堝、皿、電極等價額約一萬圓ヲ投ジ精密天秤類ハ獨逸「サートリユリス」社製三十一臺ヲ備ヘテアル。

物理化學　ノ實驗ニハ特ニ意ヲ用ヒ恒溫槽多數ヲ始メトシ傳導度測定裝置、分子量測定裝置等ハ勿論其他各種研究ニ必要ナル適當ノ設備ガトヽノヘテアル。

化學的ノ基礎訓練　ヲスルニ適切ナ各種ノ有機物其他ノ合成及試驗ニ關スル設備トシテハ耐壓釜、屈折計、顯微鏡、各種ノ爐、過熱蒸氣發生裝置、眞空乾燥機、減壓蒸溜裝置、特種硝子器具裝置等十分意ヲ用ヒテ設備シテアル。

石油工業　ニ就テハ當地方ガ本邦ニ於ケル有名ナ石油工業ノ中心地タル關係上特ニ意ヲ用ヒ最新式ノ屈折計、各種ノ粘度計、引火點試驗器、蒸溜試驗器、各種ノ「カロリメーター」其他此方面ノ實驗研究ニ關スル各種設備ニ留意シテヰル。

電氣化學方面　ニツイテハ本邦ニ於テ最大水量ヲ有スル信濃川水力ノ開發ト共ニ將來電氣化學工業ノ勃興スベキヲ思ヒ、コレニ關スル設備ニモ留意シテヲル例ヘバ蓄電池ノ設備ニ約五千圓ヲ投ジ又特ニ電爐用ノ低壓變壓機ヲ備ヘ各種電氣爐十基ヲ設備シタルナド其他電解及「エレクトロオスモース」ニ關スル實驗研究等ニモ略遺漏ナキヲ期シテヰル、特ニ最新式設備トシテ注目サレテ居ル「エレクトロオスモース」ニヨル淨水裝置ハ本邦ニ於ケル最初ノ輸入品デアツテソノ成績ニツキテハ各地カラ多數照會ヲ受ケテヰルノデアル。本裝置ハ任意ノ純度ノ水ヲ簡單ニ得ラレ且各種ノ化學實驗ニ差支ナキ純度デ普通ノ蒸溜水ニ比シ遜色ナキ水モ安價ニ且短時間ニ多量ヲ得ラル、コトハ到底在來ノ蒸溜式方法ノ遠ク及バヌトコロデアル。

其他　目下化學工業界ニ於テ多大ノ興味ヲ以テ期待サレテ居ル人造絹糸ニツキテモ其實驗設備等ニ留意シテヰル。

體育並教練教室

體育ニ於テハ運動競技ノ普及並ニ不斷ノ實行ニ努メ身體ノ健全ソノモノカ幸福ナルコトヲ自覺セシメテ更ニ健康ヲ增進シ精神力ヲ鍛錬シ將來ノ能率增進ニ備ヘシムル爲メニ間口九間奥行十三間、梁下

二十尺ノ屋內體操場ニハ矯正並ニ發育體操ノ器具器械即チ肋木、平均臺、鐵棒、吊棒、吊索、吊環、移動吊環、バツク、跳箱、スプリングボールド、バスケツトボールド、ヴアレーネツト等ヲ備ヘ五千坪ヲ有スル屋外運動場ニハ「ア式フツトボール」「バスケツトボール」「陸上競技」ヲ課シ得ル設備ヲナシ水力實驗並防火用貯水池ヲ水泳練習ニ利用セシメ二〇〇臺ノ「スキー」ヲ有シテ冬期ノ運動ニ便ニシ學生ノ自發的運動ヲ喚起スル樣之ヲ指導シ尙校友會ニハ柔道劍道、弓道、陸上競技、角力、野球、籠球、庭球、卓球、蹴球、スキー、水泳部ノ設アリテ課外運動ヲ奬勵シテヲル。

敎練ニ於テハ學校敎練ノ目的遂行ノ爲メ五千坪ノ運動場ト一一七坪ノ屋內體操場ヲ使用シ尙ホ狹窄射擊場ヲ校內ニ設クルノ外郊外約一里ノ宮路ニ市內中等學校及軍人分會、靑年會ト協同製作ニ依ル實彈射擊場ヲ有シ三八式步兵銃、劍、二八〇挺及空包用輕機關銃四挺ヲハジメ、指揮刀、背嚢、飯盒、携帶天幕、水筒等必要ナ機械器具ヲ整備シテヲル。

科學工業博物館

長岡市ノ寄附ニカヽル、鐵筋コンクリート建、一部二階建トナシ建坪八八坪餘工費三萬五千圓、大正十五年十一月竣功シタ。

蓋本博物館ノ目的トスル所ハ本校學生、長岡市及附近ノ人々ニ對シ科學知識ノ普及ヲ計リ且科學ガ如何ニ工業ニ應用セラルヽカノ實際ヲ理解セシムルニアル。

本館ハ本校ノ東北隅悠久山行キノ道路ニ面シ四個ノ陳列窓ヲ備ヘ道行ク人ガ一見シテ知ラズ知ラズノ間ニ工業ノ何物タルカヲ了解出來ル樣ニ計畫シタガ地震等ニ依リ大窓硝子ノ破損セシタメ模樣換ヲ爲シ現在ニ於テハ外部ヨリ見得ル陳列ハ之ヲ中止シテ居ル。陳列場ハ階下ニ五十坪、其入口ニ本校ノ製作ニ係ル自働人員標示器ヲ設置シ每日ノ觀覽者數ヲ知ルニ便シ尙電燈電力、瓦斯、水道ノ設備ガアリ理化學、電氣工學、機械工學及應用化學ノ各方面ニ亘リ參考品ヲ

陳列シ又各種ノ實驗ヲ爲スコトガ出來ル、特ニ化學實驗ノ爲メニハ「ドラフトチエンバー」ヲ備ヘ又機械据付ヲ便ナラシムル爲メニハ床ニ「レール」ヲ沈設シ尙水ヲ使用スル實驗ノ便ヲ計リ一四〇立方尺ノ堀ヲ設ケテアル。階上ニハ二室ヲ設ケ應接室及講演室ニ當テ小講演會及研究會ヲ開クニ便シ、屋上ハ平坦デ望遠鏡ヲ設備シ天體其他ノ觀測ガ出來ル樣ニナツテ居ル。

館內ノ陳列ハ理科、電氣工學科、機械工學科及應用化學科ノ職員ガ交代デ委員トナツテ其任ニ當ルノデ夫々ノ專門ニツキ科學ガ工業ニ應用サレル實際ヲ示スニ努メテ居ル。陳列品ノ一部ハ博物館專用ノモノモアルガ多クハ各科ニアル設備ヲナルタケ公衆ニ觀覽セシムル主旨ノ下ニ出來ルタケ其備品ヲ交替ニ陳列スル樣ニシテ居ル。

本館ハ整理、準備ニ要スル時日ノ外無休館トシテ開館スルノヲ本則トシテ居ル。又春期ノ好時期ニ於テ理科、電氣、機械及應用化學等ニ關スル展覽會又ハ之等ノ綜合展覽會ヲ催シ特別ノ陳列品ヲ蒐集シテ公衆ノ觀覽ニ供シ且每年六月十日ノ「時ノ記念日」ニハ長岡市ト共同シテ時ニ關スル宣傳事業ヲナシテ居ル。

其ノ他ノ設備

以上ノ外石版、寫眞版、活版等ヲ有スル印刷所ト工費一萬三千四百七十圓ノ鐵筋コンクリート二階建四八坪、收藏能力一萬八千冊ノ書庫ヲ有スル圖書館ガアル。

主ナル機械器具類

理科教室

	円
マイケルソン氏インターフエロメーター	1,380
X線裝置	2,000
波長計（MN氏437型）	450
天體望遠鏡（4吋半）	1,050
ケーデ氏分子式ポンプ	600
電氣時計裝置（親時計個1 子時計60個付）	3,257
バールゾーオプチカルベンチ及附屬品	2,039
インダクションコイル（30CM）	630
カセトメーター	494
アクメ活動寫眞映寫機（S.V.E型）	875
ローヤル活動寫眞映寫機	422
晝間映寫幕	305
クロノメーター	950
アツベ氏屈折計	558
マーキユリーポンプ	494
ロータリポンプ	519
ハイランド式空氣液化裝置	1,118
クロノグラフ	410
タイガー計算器	400
バーロス計算器	537
サンドストランド計算器（720—51型）	820
限外顯微鏡裝置	917
クオルツスペクトログラフ	1,655
分光計	1,845
波長分光計	780
オブチカルパイロメーター	637
光度計ベンチ 二臺	1,165

	円
萬能幻燈機械	445
萬能映寫裝置	1,520
電位差計	748
長岡式電磁石	1,856
3K.W.電動發電機	695
自働精密線目盛機械	2,640
寫眞機	621
臭化ラヂウム（10.47瓦）	1,015
ジヤイロ、コンパス模型	740
スタンダードスケール	780
コンパレター	994
噪音計	280
分光器	410
萬能ヘリオスタツト	550
自記撮影裝置	398
X線スペクトロメーター	920
自記太陽計	510
ドライアイス製造機	495
ユンケル氏熱量計	670
金屬X線管球	583
ウルトロパーク	225
木工旋盤	400
帶鋸機械（24吋）	390
ベンチミリングマシン	790

電氣教室

ウエストン標準直流ミリヴオルト計（分流器三箇附屬）	763
ウエストン標準交直流電壓計	838
ウエストン標準交直流電流計	838
サンガモ標準テストメーター	360

	円
シーメンス直流自記電壓計	459
エスターライン交流自記電壓計	623
ヴヰーダー液體回轉計	823
シーメンス、ユニヴアーサル、ガルヴアノメーター	619
ケンブリツヂ、サーモガルヴアノメーター	717
ヴアイブレーション、ガルヴアノメーター	300
シーメンス、バリスチツク、ガルヴアノメーター	360
シーメンス、ミラーガルヴアノメーター	275
ハルトマン、デイフエレンシアル、ガルヴアノメーター	437
カールツアイス、シユライフエン、ガルヴアノメーター	655
理研、反照ガルバノメーター及同上除振架臺	265
シーメンス、デケード、ブリツヂ	630
ケンブリツヂ、ケルビン、ダブルブリツヂ	729
ケンブリツヂ、コールラウシ、ブリツヂ	832
リーヅ、ノースラツプ、キヤパシチー、ブリツヂ	218
シーメンス、インダクタンス、ブリツヂ	342
ブルツクス型相互誘導器	250
シーメンス、フオールトロケーチング、ブリツヂ	450
シーメンス、ラツプ氏ポテンシオメーター	835
リーヅ、ノースラツプ、ポテンシオメーター	700
リーヅ、ノースラツプ、T型テスチングセツト	342
セコメーター	320
グラソツト、フラックスメーター （サーチコイル五箇付）	609
ルムマーブロドハン光度計一式	1,500
ウエバー光度計	896
フリツカー光度計	210
球形光度計	405
マクベス、イルミノメーター	567
ペンテーン燈	557
水銀燈	455
電光ニユース	100

	円
据置蓄電池290アンペアーアワー六十箇	2,692
直流發電機 六臺	1,446
直流電動機 六臺	1,101
交流發電機 一臺	278
萬能非同期機	1,234
誘導電動機 八臺	1,201
正弦波交流發電機 一臺	2,350
電動發電機 十一臺	11,628
同期誘導電動機 一臺	430
三相交流整流子電動機 二臺	1,593
單相直捲電動機	540
單相反發電動機	475
豆電動機 五臺	422
電氣動力計 四臺	4,200
渦流制動機	850
屋外受電變壓器45KVA 四臺	1,724
同 75KVA 三臺	1,611
單相變壓器 九臺	558
誘導調整器 二臺	1,000
三相移相變壓器	445
水銀整流器 （三相、二キロワツト）	385
廻轉變流機	2,010
15,000ヴオルト可搬式試驗變壓器	350
シーメンス、200,000ヴオルト試驗變壓器	10,880
芝浦 50,000ヴオルト試驗變壓器	1,370
100,000ヴオルト火花間隙計	260
高壓靜電電壓計	470
150,000ヴオルトケノトロン裝置	457
直流高壓發電機500ヴオルト15ミリアンペア	1,980
眞空ポンプ 二種	610
無線受信機及送信機	2 773

	円
旋　　盤　二臺	1,770
圓形切斷機	720
方形切斷機	690
グラインダー	365
ド　リ　ル　三臺	590
ノツチング、プレス	968
五十回線用自動電話交換機及電話機	5,880
配　電　盤　四組	6,960
學生用オツシログラフ	1,000
教授用オツシログラフ	78,125
研究用オツシログラフ	2,940
カソードレイオツシログラフ	1,690
時間軸裝置	315
エムブソン、オイルピユーリフアイヤ	396
オイル、フイルター、プレス	570
ダイエレクトリックメーター	585
スリツプ、ストロボ、スコープ	862
エプスタイン鐵試驗裝置	440
バロー氏鐵試驗裝置	270
繼電器試驗裝置	348
デスタンスリレー	410
光繼電器及同上用光源裝置	305
G.Eシンクロナス、タイマー	348
眞空管發振器	836
眞空管電壓計	205
水晶發振器	165
水晶測壓計	425
ヘテロダイン波長計	800
短　波　長　計	300
超　短　波　計	337

	円
携帶用變調計	250
ラヂオ試驗器	217
低周波變壓器試驗器	360
高　聲　裝　置	193
ローラーRCA型高聲器　二個	225

機　械　教　室

木　工　場

丸　鋸　機　械	380
同上　目立機械	270
帶　鋸　機　械	435
同上　目立機械	300
木　工　旋　盤　四臺	1,140
木工小口切盤	250
角　鑿　機　械	350
自　動　送　鉋　機	580
糸　鋸　機　械	170

鑄　物　工　場

16吋熔銑爐	1,200
炭素粒抵抗電氣爐	850

鍛　工　場

火　　爐　六個	1,182
高壓式送風機	467
中壓式送風機	978
十分ノ一噸空氣槌	4,380
重油加熱爐	680
電氣熔接切斷裝置	2,610
酸素アセチレン熔接裁斷裝置	253
點　熔　接　器	445

	円
海軍型手働鉄み盤	95
動力プレス	520
機械工場	
各種旋盤 13臺	13,222
歯車製作装置 (傘型6吋)	720
氣筒研磨機	2,900
複式工具研磨機	660
ホブ歯切盤	3,180
ZM型萬能フライス盤(ミリングマシン)	5,580
萬能研磨機	2,200
K.R.V萬能研磨機	355
16吋形削り盤(シエーパー)	1,500
VM型萬能工作機械	4,783
ラピツド15KH型傘歯車生製機	5,225
Q.R.S電動摩擦錐	330
6呎平削り盤 (プレーナー)	1,250
2½″中ぐり盤	2,000
20吋ボール盤	275
センターリングマシン心立て機械	325
12″竪削り盤 (スロツチングマシン)	850
高速度金切鋸機械	280
關口式及物切味試驗器	225
半噸ラヂアルクレーン	460
軸線測定裝置	1,140
手仕上組立工場	
ケージブロック (A組103組入) 附屬品共	1,950
研磨機	151
材料實驗室	
モール材料試驗 (スケール型3000KG)檢定裝置附	12,430

	円
井口式金屬捻力試驗機 (5000C.M.K.G)	2,900
松村式繰返打撃試驗器	1,500
シヤルピー式打撃試驗機	1,390
小野式繰返シ彎曲試驗機	2,370
試驗棒目盛機械	546
ブリネル式硬度計	1,600
ショア式硬度計	851
本多佐藤氏高温衝撃硬度計	445
マルテンス式引掻硬度計	770
ハーバート式振子型硬度計	646
本多式全熱膨脹測定裝置	352
ケーデ式ロータリーポンプ(電動機付) 二臺	498
本多式磁氣變態點測定裝置	1,363
佐藤式自記燒入試驗機	520
本多式磨滅試驗器	3520
石川式工具燒入爐	750
ライヘルト製顯微鏡(金相26—780倍)	345
同上 (同25—1,4000倍)	460
ライツ製金屬顯微鏡寫眞裝置	2,365
竹村式偏光彈性試驗機	780
金屬試料用鋸機械	398
卓上用電動研磨機	161
水力實驗室	
10馬力ペルトン水車	779
20馬力横軸フランシス水車	2,567
横軸動翼プロペラー型反動式水車	751
ねのくち式5段タービンポンプ	2,730
同上用三相交流發電機(40KV)	2,952
一段タービンポンプ	950

	円
同上用三相交流電動機(40HP)	840
三段タービンポンプ	800
同上三相交流電動機(20HP)	716
横型250粍プロペラーポンプ	1,115
3吋渦巻ポンプ	50
プライス電音流速計	270
捩リ動力計	1,945

動力實驗室

ウエラン式40馬力蒸氣機關	2,000
カーチス川崎式舶用15馬力蒸氣タービン	3,100
藤村式20馬力吸入瓦斯機關	2,100
淺川式2½馬力木炭瓦斯機關	200
Z型6馬力石油機關	670
フオード自動車用ガソリン機關	310
消火用35馬力ガソリン機關(ポンプ附)	1,730
200馬力ヒ式飛行機用機關	100
230馬力BR2型飛行機用機關	100
新潟空氣噴入式50馬力ディゼル機關	9,950
空氣壓搾機	480
ユンケル式25馬力ディーゼル機關	3,385
ドイツ式馬力豫備燃燒室附ディゼル機關	1,170
アイレンブルガー式20馬力セミディーゼル機關	1,870
ユンケル式ハイドロリツクダイナモメーター	424
ユンケル式液體及瓦斯體燃料熱量計	498
整滑油試驗機	1,091
眞空計試驗機	430
壓力計試驗機	565

內燃機關實驗室

2噸手働式天井走行起重機	1,565

汽罐室

	円
ランカツシヤー汽罐 {ウオーシントンポンプ二臺 / 眞空ポンプ 一臺 附屬}	9,355
池田式水管式汽罐	5,780
モノ式炭素瓦斯分析裝置	950

其他

ドツヂブラザース號自轉車	4,000
フオード箱型自動車(1932年型)	250
フオードツーリング(1926年型)	1,824
スター自動車(1927年型)	250
複寫用寫眞機	600
寫眞引伸器	200

化學教室

引火點試驗器アツベ式 外三點	561
ゲーデ式ロータリポンプ 三點	685
動力萬能式ロータリポンプ	310
デイフユジヨンポンプ	280
白金器具	9,902
精密電壓計	1,552
精密電流計	2,582
リツピツヒ偏光計	895
オゾン發生機	650
ショツパー氏紙試驗器	955
カロリメーター、ユンカー式 外三點	1,435
アソーブ式石炭試驗用カロリメーター	293
吸收及壓縮式ガソリンプラント模型	300
用水精製裝置	2,500

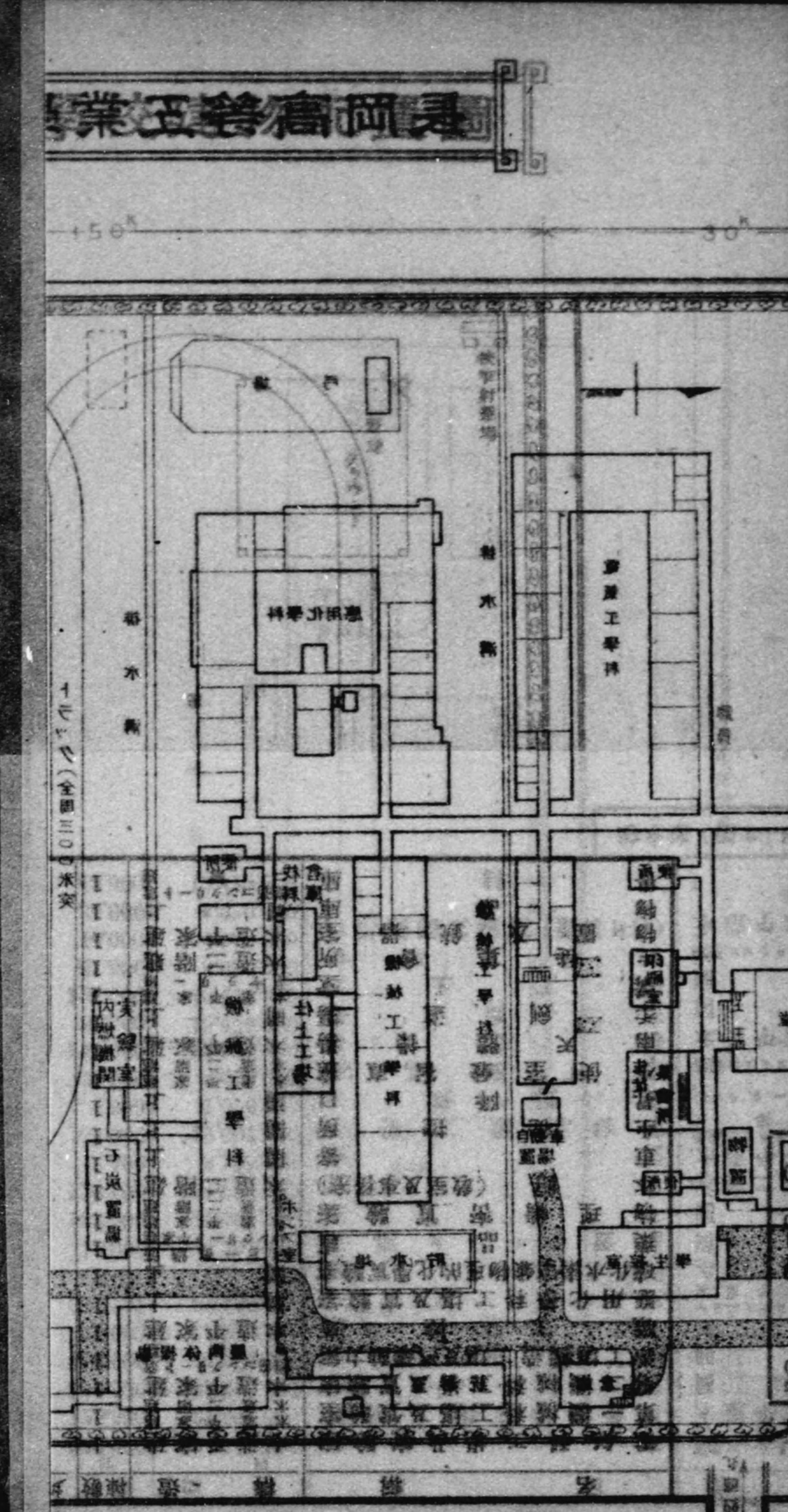
	円
粘度計ドリートル式　外五點	887
燃燒爐電氣用　外6點	665
メルク無機物標本　254種	820
メルク有機物標本　338點	550
アツベ氏レフラクトメーター	635
ブルフリツヒ式レフラクトメーター	1,244
粉　碎　器　鑛石用　外5點	443
スペクトロメーター	720
封　管　爐	233
物質鑑識器	665
高　壓　釜　獨乙製　外三點	1,812
乾燥器眞空乾燥用　外三點	235
高温計ワンナーオブチカルパイロメーター　外四點	1,592
電氣滴定裝置	562
化學分析用精密天秤	7,364
萬能幻燈機械　（スロール型）	933
オストワルド毛管式電位計	210
抵　抗　箱	720
抽　出　裝　置	250
据置蓄電池60個　（充電裝置一式附屬）	4,294
電　氣　爐　各種	2,885
ブフネル式壓搾器　外五點	437
輸率測定裝置	286
人造絹絲製造裝置	630
色素標本　二〇〇種	480
ズボスキー式比色計	230
セメント試驗器	706
選鑛試驗機	235
顯　微　鏡　各種	1,505
水素イオン濃度測定試驗裝置	980

	円
微量天秤　ブレーゲル20瓦$\frac{1}{1000}$粍	460
電氣冷藏器GE5立方尺型	930
シユトフエンフオートメーターカールツアイス製	1,658
ピボツト式　16型温度測定用インヂゲーター	230
電氣迅速蒸發裝置	450
ロヴイボンド式色度計	1,660
本多式　熱天秤	590
大島福田式石英バネ熱天秤	650
恒　溫　槽　各種	2,298
變壓器油冷單式　外三點	802
モーターゼネレーター　二點	425
攪　擾　機	210
旋　盤	579

圖書冊數及購入費調

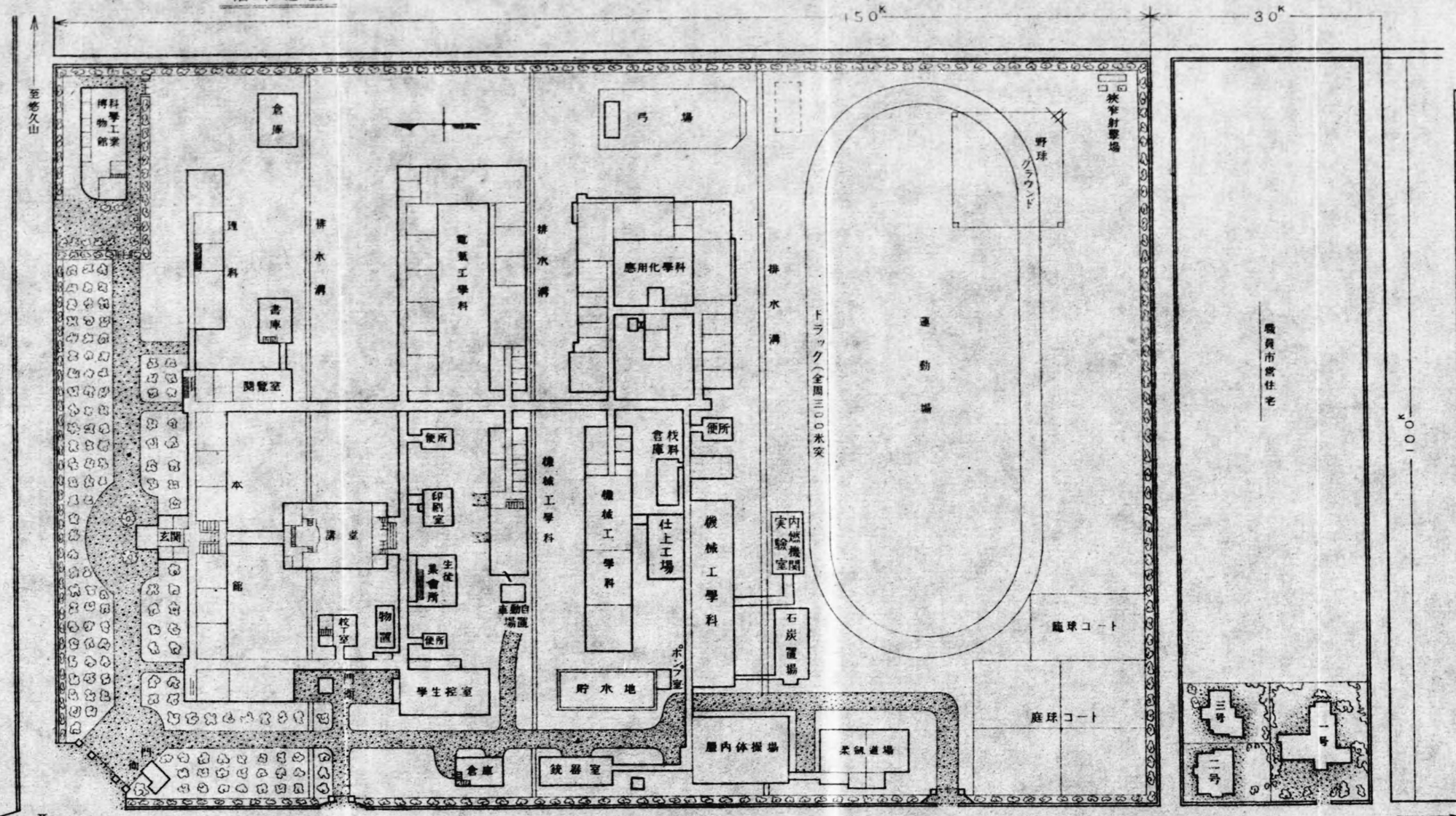
（昭和十年五月一日現在）

類別	數量	價格	
數學	860	4,604	050
物理	931	7,697	780
化學	603	10,624	910
製造化學	394	4,148	190
機械學	520	4,667	530
構造	24	179	950
工場作業	147	1,425	550
熱機關	431	4,379	680
氣學	78	728	550
水力原動機及水力機	108	862	900
機關車及船舶工業	93	852	400
電氣工學	1,268	9,259	650
工藝學	2	18	000
建築學	27	188	450
繪畫技藝	21	82	900
工業一般	200	1,671	540
一般科學	238	1,198	350
法律、政治、經濟、社會	852	2,560	890
哲學、宗教、教育	656	2,242	850
語學及文學	372	824	770
辭書及百科辭典	407	4,808	260
雜書	505	1,325	820
雜誌	481	17,393	220
同（パック）	21	7,418	300
合計	9,239	89,144	810



長岡高等工業學校建物配置圖

階下之圖



敷地

	坪
敷地總坪數	18,000
內譯	
校舍	10,000

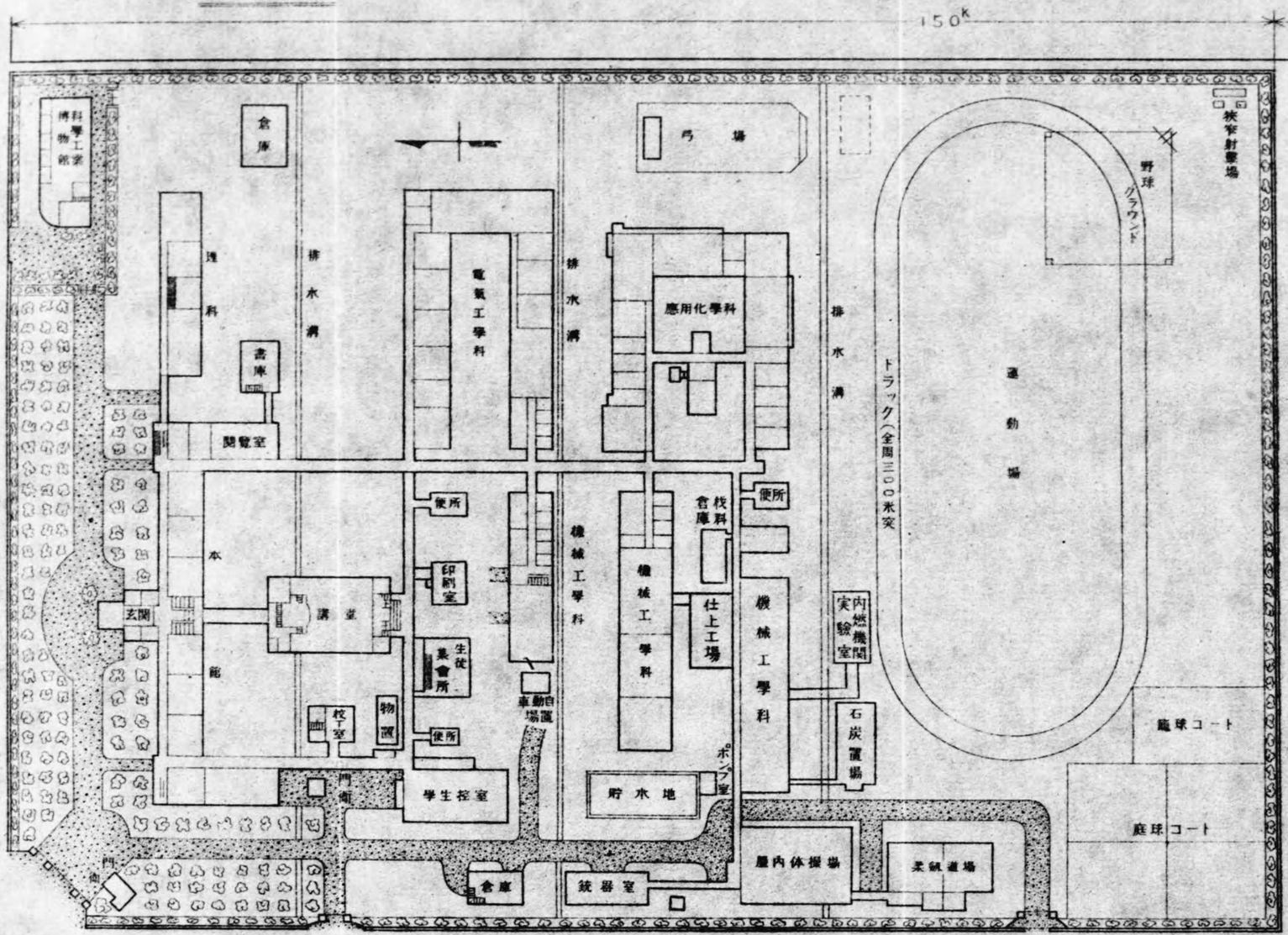
建物

名稱	構造	棟數	坪數	價格
			坪	円
電氣科工場及實驗室	木造平家建	1	335.000	61,715.030
第一機械科工場及實驗室	木造平家建	1	125.500	27,597.520
第二機械科工場及實驗室	木造二階建	1	180.000	32,440.690
鍛工場鑄造工場及汽罐動力室	鐵筋コンクリート造平家建	1	156.000	44,799.000
職工控所	木造平家建	1	18.000	3,249.800
應用化學科工場及實驗室	同上	1	317.737	69,160.410
礦化水素室參物理的化學實驗室	同上一部鐵	1	5.000	1,288.000
		1	18.000	4,492.440

名稱	構造	棟數	坪數	價格
			坪	円
倉庫	鐵筋コンクリート造二階建	1	52.000	11,600.000
機械工學科材料倉庫	木造平家建	1	21.000	2,000.000
物置場所	同上	1	10.000	323.500
自動車置場	同上	1	7.500	541.790
門衛所	同上	2	8.750	2,025.000
ポンプ室	ブロークノックス組立家屋平家建	1	6.000	1,162.400
便所	木造平家建	4	22.500	6,668.000
同	同上	2	1.866	270.250

長岡高等工業學校建物配置圖

階下之圖



敷地

	坪
敷地總坪數	18,000
内譯	
校舍	10,000

建物

名稱	構造	棟數	坪數	價格
			坪	円
電氣科工場及實驗室	木造平家建	1	335.000	61,715.030
第一機械科工場及實驗室	木造二階建	1	125.500	27,597.520
第二機械科工場及實驗室	木造平家建	1	180.000	32,440.690
鍛工場鑄造工場及汽罐動力室	鐵筋コンクリート造二階建	1	156.000	44,799.000
職工控所	木造平家建	1	18.000	3,249.800
應用化學科工場及實驗室	同上	1	317.737	69,160.410
硫化水素室彙物理的化學實驗室	同上一部鐵筋	1	5.000	1,288.000
		1	18.000	4,492.440

名稱	構造	棟數	坪數	價格
			坪	円
倉庫	鐵筋コンクリート造二階建	1	52.000	11,600.000
機械工學科材料倉庫	木造平家建	1	21.000	2,000.000
物置	同上	1	10.000	323.500
自動車置場	同上	1	7.500	541.790
門衛所	同上	2	8.750	2,025.000
ポンプ室	ブローノックス組立家屋平家建	1	6.000	1,162.400
便所	木造平家建	4	22.500	6,668.000
	同上	2	1.866	270.250